令和７年度

年　　報



佐賀県立宇宙科学館
SAGA PREF. SPACE and SCIENCE MUSEUM
ゆめぎんが

佐賀県立宇宙科学館

ご あ い さ つ

令和７（2025）年度における佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》の活動をまとめた年報の刊行にあたり、ご挨拶申し上げます。本年度、《ゆめぎんが》は創立 26 周年を迎えるとともに、開館以来の来館者数が累計 600 万人に達しました。これまで当館を支えてくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

コロナ禍を乗り越え、佐賀県の新たな政策のもと、地域に根ざしながら、日本の科学技術の振興にも資するべく、さまざまな取り組みを進めてまいりました。毎年ご好評をいただいている学芸員による春・夏の企画展に加え、本年度は地元団体や国立科学博物館との連携による大型企画にも力を注ぎました。

６月に実施した有明海の漁協青年部の皆さんとの「海苔の秘密まるごと体験」では、佐賀県が誇る特産の海苔をテーマに、養殖の現場と自然・生き物への理解を結びつける取り組みとして、大きな反響をいただきました。日頃は海苔漁に従事する若者たちが、生成 AI を活用したオリジナルのイラストを制作・披露し、子どもたちの歓声を集めた姿には、時代の新たな息吹を感じました。地域の身近に存在するプロフェッショナルと、科学館の学芸員の知見とが出会うことで、新たな学びや価値が生まれていく可能性を強く感じています。また、秋に開催した「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」では、世界屈指の動物標本が集い、多くの来館者が観察と発見の楽しさに触れる貴重な機会となりました。本巡回展の実現にご尽力いただいた関係の皆さま、そして支えてくださったクラウドファンディングの寄付者の皆さまに深く感謝申し上げます。さらに、国内最大級のシロカジキの魚拓の展示や、地元の川での希少種スナメリの救出など、人と生き物との関わりを改めて実感する一年でもありました。

現代は、多様な人々がつながり、連携し、協力することの価値が問われる時代です。科学技術の進歩もまた、分野や国境を越えた英知の結集によって支えられています。そして命のつながりは、人間同士にとどまらず、身近な生き物へと広がっています。《ゆめぎんが》は、地域に根ざした科学館でありながら、地球と生命、宇宙を見つめる総合科学館として、来館者の皆さまの期待に真摯に向き合い、これからも変化と進歩を重ねてまいります。

令和７年度に当館を訪れてくださった約 28 万人の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、関係の皆さまのご理解とご協力に深く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和８年３月 31 日

佐賀県立宇宙科学館　館長　鈴木 明子

目　　次

ごあいさつ

目　　次

第１章　運営の概要

1. 令和7（2025）年度　佐賀県立宇宙科学館　主な行事・トピックス …… 1 ～ 2
2. 組織、職員 …… 3
　職員構成・組織 …… 3
3. 令和７年度開館日 …… 4
4. 入館者数・プラネタリウム観覧者数の状況 …… 5 ～ 7
　（1）入館者数 …… 5
　（2）プラネタリウム観覧者数 …… 6
　（3）入館料の状況 …… 7
5. 予　算 …… 8

第２章　事業の概要

1. 常設展示の運営 …… 12 ～ 13
　1-1. 宇宙発見ゾーン …… 13
　1-2. 地球発見ゾーン …… 13
　1-3. 佐賀発見ゾーン …… 13
　1-4. サイエンスサロン …… 13
　1-5. こどもの広場 …… 13
2. プラネタリウム …… 14 ～ 19
3. 天文台 …… 20 ～ 21
4. 企画展示の運営 …… 22 ～ 49
　4-1. 特別企画展 …… 22 ～ 46
　4-2. 外部組織との協力イベント …… 47
　4-3. その他の企画展示 …… 48
　4-4. 特別催事 …… 48
　4-5. 巨魚の衝撃　迫力のカジキ魚拓 …… 49
5. 館内教育活動 …… 50 ～ 54
　5-1. ゆめぎんがサイエンス教室 …… 50 ～ 51
　5-2. ワークショップ …… 52 ～ 54
6. アウトリーチ活動 …… 55 ～ 62
　6-1. 支援事業（ゆめぎんがプログラム） …… 55 ～ 56
　6-2. 連携事業 …… 57 ～ 61
　6-3. 教育事業 …… 62
7. 情報提供サービス …… 63
　7-1. デジタルツールによる情報提供 …… 63
　7-2. 図書室 …… 63
8. 友の会活動 …… 64
9. 調査研究 …… 65 ～ 66
　9-1. 宇宙科学館周辺の生物調査 …… 65 ～ 66
　9-2. 普及活動 …… 66
10. 資料の収集調査・保存 …… 67 ～ 69
　10-1. 県立博物館職員との資料収集 …… 67
　10-2. 資料の保存 …… 67 ～ 69
11. 視察・研修及び他団体との交流 …… 70
　11-1. 加入団体 …… 70
　11-2. 参加研修会・総会及び視察 …… 70
12. 広報・誘客事業 …… 71 ～ 97
　12-1. 広報活動 …… 71 ～ 76
　12-2. 訪問による集客活動 …… 77
　12-3. 広聴活動 …… 77 ～ 97
13. SPACE PARK（スペースパーク）管理運営業務 …… 98 ～ 99
　13-1. 管理運営の目的・方針・管理・保全の実施体制 …… 98
　13-2. イベント・展示内容 …… 99

第３章　資　料 …… 102 ～ 109

第1章
運　営　の　概　要

1.　令和７（2025）年度　佐賀県立宇宙科学館　主な行事・トピックス

【3/15 ～ 5/6】　春の企画展「ビーコロ×おもちゃ展」開催
【4/20】　南極昭和基地との LIVE 交流イベント開催
【5/14 ～ 6/6】　ゲンジボタル生息状況調査
【5/18】　レンズ磨き教室～ガリレオ式望遠鏡を作ろう～開催
【5/23 ～ 6/8】　ホタル観賞期間
【5/25】　ほたる祭り開催
【6/7 ～ 29】　水フェスタ開催
【6/7 ～ 7/18】　AR サイエンス・クイズミッション 第 1 期開催
【6/8】　レンズ磨き教室～ガリレオ式望遠鏡を作ろう～開催
【6/12】　佐賀県理科教育振興会 理事会・総会参加
【6/15】　「海苔の秘密まるごと体験」開催
【6/15】　日本プラネタリウム協議会総会全国プラネタリウム大会参加
【7/1 ～ 3】　日本公開天文台協会全国大会参加
【7/6】　レンズ磨き教室～ガリレオ式望遠鏡を作ろう～開催
【7/12 ～ 8/31】　夏の企画展「マグネット　磁石の不思議のサイエンス」開催
【7/19 ～ 8/31】　プチミュージアム「佐賀のセミ」開催
【7/19 ～ 8/31】　AR サイエンス・クイズミッション 第 2 期開催
【7/26】　「南極・昭和基地ライブトーク 2025」開催
【7/28 ～ 29】　教職員体験研修受け入れ（武雄市立御船が丘小学校）
【8/3】　「みんなで描こう宇宙の絵」開催
【8/4 ～ 5】　教職員体験研修受け入れ（武雄市立武雄中学校、武雄市立武雄北中学校）
【8/6 ～ 7】　教職員体験研修受け入れ（伊万里市立伊万里中学校）
【8/28 ～ 29】　中学生職場体験受け入れ（武雄市立川登中学校）
【8/30】　天文教室　中秋の名月～梶の葉に思いをのせて～開催
【9/1 ～ 4】　収蔵庫ガス燻蒸作業
【9/5 ～ 10/10】　AR サイエンス・クイズミッション 第 3 期開催
【9/5 ～ 12/19】　AR サイエンス・クイズミッション 第 4 期開催
【9/6】　西九州新幹線開業３周年記念「GO WEST Ⅲ」無料シャトルバス運行
【9/6 ～ 28】　ソラフェスタ開催
【9/11 ～ 12】　中学生職場体験受け入れ（武雄市立山内中学校）
【9/17 ～ 23】　学芸員実習受け入れ
【9/20】　宇宙の日講演会 2025「プラネタリウムで見る宇宙の姿」開催
（名古屋市科学館　学芸員　野田　学 氏）
【9/23】　ソラフェスタ 特別催事「爆笑！星兄のプラネタリウムショー 2025」開催
【9/23 ～ 10/5】　第 75 回佐賀県児童生徒理科作品展覧会
【9/24 ～ 25】　中学生職場体験受け入れ（神埼市立千代田中学校）

【9/25 ～ 26】　中学生職場体験受け入れ（太良町立多良中学校）
【9/28】　レンズ磨き教室～ガリレオ式望遠鏡を作ろう～開催
【10/4】　佐賀県児童生徒理科作品展覧会表彰式
【10/5】　「音楽のまちづくりプロジェクト 2025」開催
【10/11 ～ 12/14】　巡回展「WHO ARE WE　観察と発見の生物学　国立科学博物館収蔵庫コレクション｜ Vol.01 哺乳類」開催
【10/18 ～ 12/14】　プチミュージアム「佐賀の哺乳類」開催
【10/24】　入館者累計 600 万人達成
【10/30 ～ 31】　中学校職場体験受け入れ（武雄市立武雄中学校）
【11/2 ～ 3】　天文教室～大型熱気球を飛ばそう～開催
【11/8】　第 78 回佐賀県児童生徒理科研究発表会役員研修会参加
【11/16 ～ 18】　日本プラネタリウム協議会全国プラネタリウム研修会参加
【11/17】　武雄温泉保養村　せせらぎプロムナード　小川整備作業実施
【11/19】　佐賀県博物館協会研修会参加
【11/25 ～ 27】　日本ジャイアントスクリーン協会 JGSS フィルムフェスティバル 2025 参加
【11/29】　天文祭 2025 ～ Star　Festival ～開催
【12/4 ～ 3/31】　池ノ内湖のカモ飛来数調査実施
【12/20】　宇宙の日　絵画コンテスト表彰式開催
【12/20 ～ 2/1】　AR サイエンス・クイズミッション 第 5 期開催
【12/20 ～ 2/1】　日本星景写真協会（ASPJ）第 5 回巡回展「星の風景」佐賀展開催
【12/23 ～ 1/25】　プチミュージアム「干支の生き物展」開催
【12/25 ～ 1/12】　コマフェスタ開催
【1/2 ～ 3/31】　カスミサンショウウオ産卵状況調査
【1/18】　ものこわし教室開催
【1/19】　応用生態工学会九州地区事例・研究発表会参加
【1/25】　レンズ磨き教室～ガリレオ式望遠鏡を作ろう～開催
【1/27 ～ 28】　日本プラネタリウム協議会九州沖縄ワーキンググループ研修会参加
【2/4 ～ 28】　AR サイエンス・クイズミッション 第 6 期開催
【2/4 ～ 4/5】　プチミュージアム「よく見るカモ、知らないカモ」開催
【2/22 ～ 23】　全国両生爬虫類研究会第 16 回大会総会参加
【2/26】　全国科学館連携協議会九州ブロック会議参加
【3/14 ～ 5/10】　春の企画展「ビーコロ×ゲーム展」開催
【3/14】　六角川に迷い込んだスナメリ救出
【3/28】　世界自然保護基金ジャパン、久留米市環境部公開講座参加
【3/28】　第 11 回いきものと緑のサポーターミーティング参加

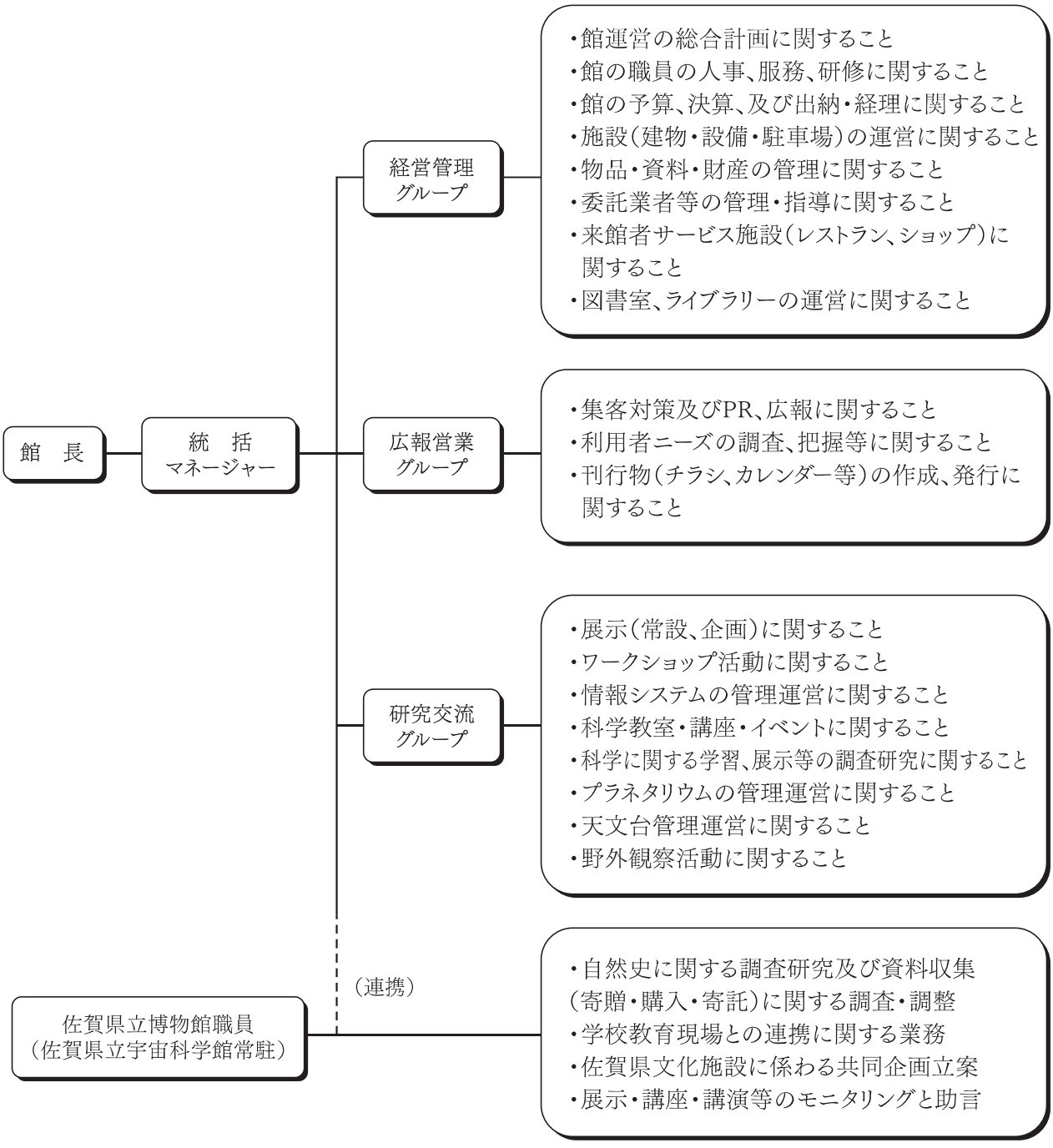
2.　組織、職員

職員構成・組織

令和７年（2025）年４月１日現在

常勤職員	非常勤職　員	計
24 人	1 人	25 人

県職員（佐賀県立宇宙科学館常駐）
2 人



3. 令和７年度開館日

佐賀県立宇宙科学館の開休館日予定は次のとおり。（開館日数　312 日、休館日数　53 日）

令和7(2025)年度

4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	15
23	24	25	26	17	28	29
30						

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026年　1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年　2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2026年　3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□ 開館日　■ 休館日　太字 国民の祝日

開館時間①9:15～17:15(平日)　②9:15～18:00(土・日・祝)　③9:15～18:00(春休み、GW、夏休み)

4. 入館者数・プラネタリウム観覧者数の状況

（1）入館者数　　（単位：人）

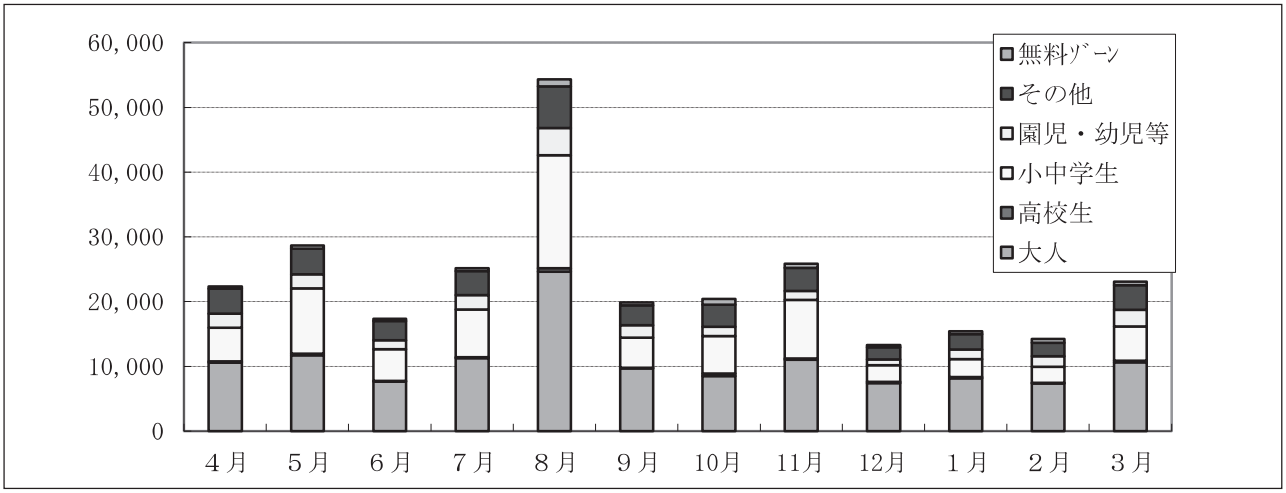
区　分	入館者数						
	大人	高校生	小中学生	園児・幼児等	その他	無料ゾーン	計
12 年度計	131,149	4,897	88,707	19,472	33,255		277,480
13 年度計	94,076	3,654	76,616	14,302	26,723		215,371
14 年度計	96,156	3,035	85,042	19,245	39,339		242,817
15 年度計	88,621	3,062	82,321	17,942	38,243		230,189
16 年度計	84,890	2,048	85,104	18,792	33,591		224,425
17 年度計	79,222	1,606	79,518	16,747	29,522		206,615
18 年度計	78,445	1,300	78,253	16,794	18,556	15,409	208,757
19 年度計	77,792	2,195	77,703	16,305	25,453	10,418	209,866
20 年度計	73,075	1,512	72,662	14,010	22,728	11,685	195,672
21 年度計	71,646	1,370	76,278	13,872	22,172	13,366	198,704
22 年度計	91,668	2,056	87,686	17,553	26,620	25,354	250,937
23 年度計	92,782	1,917	83,681	19,004	30,495	13,693	241,572
24 年度計	85,415	1,804	78,989	16,583	27,595	12,619	223,005
25 年度計	102,275	2,146	82,482	20,498	31,940	17,749	257,090
26 年度計	55,297	1,150	40,566	10,204	15,346	6,735	129,298
27 年度計	104,017	2,059	77,695	20,075	30,898	11,661	246,405
28 年度計	113,680	1,798	83,907	24,122	36,624	10,285	270,416
29 年度計	113,503	2,106	84,213	23,407	35,151	9,803	268,183
30 年度計	119,635	2,145	86,848	24,630	40,276	9,438	282,972
元年度計	108,628	2,485	83,459	21,144	33,075	8,162	256,953
2 年度計	38,797	974	26,961	6,646	11,619	2,385	87,382
3 年度計	52,507	2,279	36,442	9,693	16,142	2,346	119,409
4 年度計	71,070	2,350	53,408	13,797	22,970	2,543	166,138
5 年度計	85,740	1,876	63,701	17,812	30,508	3,803	203,440
6 年度計	118,536	2,332	77,190	24,175	40,356	5,015	267,604
7 年度計	128,521	2,632	77,686	23,436	41,022	6,591	279,888
4 月	10,605	150	5,225	2,176	3,815	384	22,355
5 月	11,677	293	10,036	2,209	3,946	474	28,635
6 月	7,635	92	4,921	1,394	2,957	364	17,363
7 月	11,245	183	7,367	2,210	3,682	466	25,153
8 月	24,613	547	17,461	4,169	6,437	1,079	54,306
9 月	9,670	103	4,646	1,953	3,077	399	19,848
10 月	8,477	415	5,814	1,410	3,410	869	20,395
11 月	10,994	177	9,080	1,385	3,568	629	25,833
12 月	7,416	184	2,579	868	1,906	293	13,246
1 月	8,173	145	2,800	1,464	2,401	428	15,411
2 月	7,374	95	2,479	1,600	2,076	626	14,250
3 月	10,642	248	5,278	2,598	3,747	580	23,093

(2) プラネタリウム観覧者数　　(単位：人)

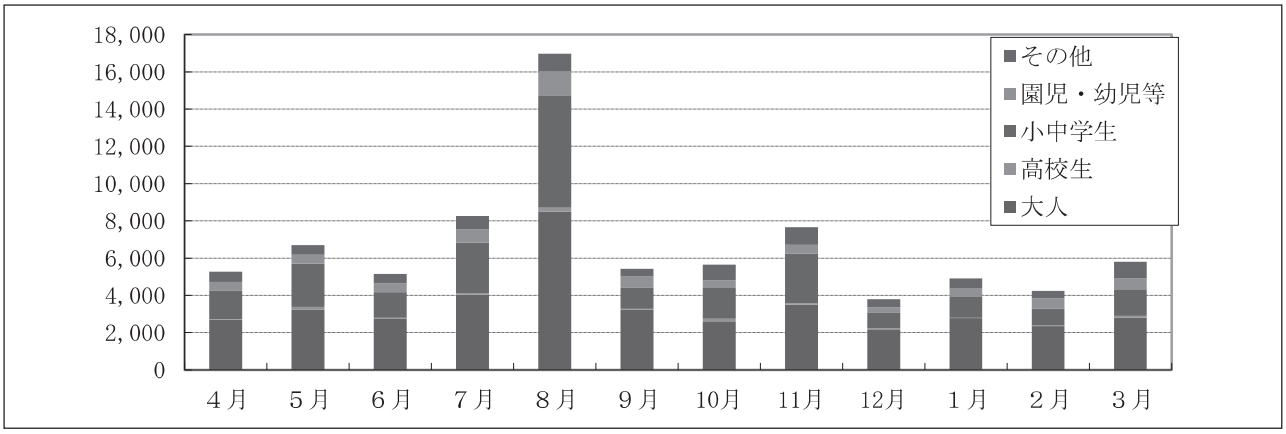
区　分	プラネタリウム観覧者数						
	大人	高校生	小中学生	園児・幼児等	その他	計	(夜間プラネ)
12 年度計	37,789	2,649	35,998	5,647	6,234	88,317	(2,534)
13 年度計	24,842	1,104	27,752	4,704	4,869	63,271	(2,251)
14 年度計	24,990	1,071	29,474	6,213	8,090	69,838	(2,769)
15 年度計	21,132	963	24,610	5,132	5,354	57,191	(2,580)
16 年度計	21,089	529	26,256	5,941	5,905	59,720	(2,468)
17 年度計	24,807	792	28,976	6,928	5,231	66,734	(2,633)
18 年度計	31,446	401	29,439	7,496	6,277	75,059	(2,033)
19 年度計	32,825	740	28,712	7,772	5,458	75,507	(2,205)
20 年度計	29,399	451	25,850	5,873	4,171	65,744	(1,679)
21 年度計	27,307	549	24,356	5,478	5,689	63,379	(1,942)
22 年度計	33,130	708	28,791	7,371	4,384	74,384	(1,804)
23 年度計	30,949	783	27,833	6,248	5,068	70,881	(1,691)
24 年度計	37,653	922	31,245	6,589	6,785	83,194	(2,441)
25 年度計	43,531	1,011	30,770	8,357	6,812	90,481	(2,472)
26 年度計	22,874	565	16,484	4,485	3,163	47,571	(1,271)
27 年度計	39,547	795	29,037	7,676	6,645	83,700	(1,676)
28 年度計	46,550	893	29,493	9,311	6,486	92,733	(1,921)
29 年度計	46,550	874	30,607	9,523	7,005	94,559	(1,767)
30 年度計	43,392	662	29,583	9,056	7,419	90,112	(2,017)
元年度計	36,247	853	25,653	6,752	6,332	75,837	(1,281)
2 年度計	13,732	439	8,187	2,411	2,240	27,009	(673)
3 年度計	17,469	695	12,548	3,085	2,673	36,470	(684)
4 年度計	19,211	866	14,196	3,454	3,316	41,043	(801)
5 年度計	28,848	734	21,615	5,143	5,831	62,171	(745)
6 年度計	38,208	919	25,072	6,497	7,301	77,997	(1,006)
7 年度計	40,654	930	23,733	6,883	7,626	79,826	(1,364)
4 月	2,680	47	1,500	488	543	5,258	(105)
5 月	3,233	158	2,314	482	512	6,699	(66)
6 月	2,763	29	1,387	470	502	5,151	(104)
7 月	4,021	73	2,730	735	716	8,275	(105)
8 月	8,501	203	6,011	1,322	937	16,974	(105)
9 月	3,233	37	1,161	604	393	5,428	(158)
10 月	2,616	124	1,644	413	840	5,637	(122)
11 月	3,508	51	2,681	474	946	7,660	(153)
12 月	2,181	41	863	271	440	3,796	(119)
1 月	2,766	39	1,110	480	523	4,918	(109)
2 月	2,354	34	894	548	394	4,224	(107)
3 月	2,798	94	1,438	596	880	5,806	(111)

(注意) (夜間プラネ) は夜間プラネタリウムの観覧者数で内数

入館者数



プラネタリウム観覧者数



(3) 入館料の状況

(単位：円)

区　分	入館料	プラネ観覧料	《入館料計》	区　分	入館料	プラネ観覧料	《入館料計》
12 年度計	83,694,540	25,163,340	108,857,880	元年度計	70,059,680	21,365,510	91,425,190
13 年度計	60,663,890	16,645,000	77,308,890	2 年度計	24,568,450	7,955,020	32,523,470
14 年度計	65,532,130	17,602,690	83,134,820	3 年度計	33,528,730	10,433,550	43,962,280
15 年度計	61,223,600	14,835,860	76,059,460	4 年度計	46,632,080	11,691,730	58,323,810
16 年度計	59,466,640	15,060,700	74,527,340	5 年度計	55,821,840	17,516,190	73,338,030
17 年度計	55,251,320	17,613,590	72,864,910	6 年度計	75,481,140	22,538,020	98,019,160
18 年度計	52,870,420	19,351,550	72,221,970	7 年度計	80,071,015	23,567,945	103,638,960
19 年度計	50,906,350	19,459,160	70,365,510	4 月	6,598,010	1,569,370	8,167,380
20 年度計	47,522,300	17,914,840	65,437,140	5 月	7,783,130	1,939,710	9,722,840
21 年度計	47,370,654	16,892,966	64,263,620	6 月	4,821,465	1,551,515	6,372,980
22 年度計	59,430,130	20,256,730	79,686,860	7 月	7,175,035	2,405,165	9,580,200
23 年度計	59,605,290	19,110,130	78,715,420	8 月	15,786,490	5,171,690	20,958,180
24 年度計	54,493,990	22,822,140	77,316,130	9 月	5,743,195	1,769,815	7,513,010
25 年度計	63,235,010	25,647,260	88,882,270	10 月	5,303,795	1,502,185	6,805,980
26 年度計	34,366,570	13,724,390	48,090,960	11 月	6,950,090	2,023,960	8,974,050
27 年度計	65,508,690	23,479,160	88,987,850	12 月	4,177,950	1,183,580	5,361,530
28 年度計	70,941,370	27,026,070	97,967,440	1 月	4,749,660	1,536,240	6,285,900
29 年度計	71,549,620	26,983,390	98,533,010	2 月	4,276,665	1,295,215	5,571,880
30 年度計	75,716,070	25,405,610	101,121,680	3 月	6,705,530	1,619,500	8,325,030

5. 予　算

令和７年度 宇宙科学館予算総括表　　（単位：円）

	〈収　入〉	477,894,000	
1	県委託収入	341,154,000	
2	利用料金収入	93,700,000	
3	ミュージアムショップ収入（提案型事業）	38,610,000	
4	レストラン事業収入（提案型事業）	1,800,000	
5	科学教室参加料	2,430,000	
6	協力・協賛金等	0	
7	補助金収入	0	
8	雑収入	200,000	

	〈支　出〉	477,894,000	
1	宇宙科学館人件費	131,138,000	
2	宇宙科学館管理費	128,847,000	
	(1) 賃金等	0	
	(2) 光熱水費	40,250,000	
	(3) 維持管理業務委託費	63,633,000	
	(4) 使用料徴収事務費	2,370,000	
	(5) 管理事務費	22,594,000	
3	宇宙科学館展示事業	130,795,000	
	(1) 常設展示事業	87,062,000	
	(2) 企画展示事業	19,450,000	
	(3) 天文台事業	1,840,000	
	(4) プラネタリウム事業	19,439,000	
	(5) ワークショップ事業	1,944,000	
	(6) 生態展示事業	500,000	
	(7) 調査研究事業	560,000	
4	宇宙科学館教育普及事業	850,000	
	(1) 科学教室講座事業	150,000	
	(2) 科学学習イベント事業	600,000	
	(3) 学校支援事業	100,000	
5	宇宙科学館情報提供事業	5,910,000	
	(1) 情報ネット運営費	5,660,000	
	(2) 図書室運営費	250,000	
6	宇宙科学館広報誘客事業	6,050,000	
	(1) 広報誘客事業	5,010,000	
	(2) リピーター対策費	1,040,000	
7	宇宙科学館サテライトスペース	23,100,000	
	(1) 敷金、賃料・管理料	14,500,000	
	(2) 管理運営業務	8,600,000	
8	提案型事業費（ショップ・レストラン）	33,504,000	
9	乃村・マベック本店経費	17,700,000	

第2章
事　業　の　概　要

1．常設展示の運営

1．常設展示

科学について、総合的かつ横断的な視点から構成したストーリー性のある展示となっている。内容については、普遍的な科学と地域の特色・独自性を融合させ、また年齢による理解度等に考慮して広い年齢層の人々が興味を持てるものとしている。

また、科学に関する理解をより一層深めていただくことを目的としたアテンダントによるガイドツアーを行った。

①展示アイテムの積極的な展開

展示物を積極的に活用し、来館者に満足していただける科学館活動を展開した。科学の面白さを体験していただくことで、子供から大人まで知的好奇心を刺激し、より効果的な科学館活動として展開した。

②プラネタリウムの周知および効果的な活用

プラネタリウム設備および投映番組についての情報を積極的に発信し、スタッフによる生解説を重視して設備を効果的に活用しながら利用者の拡充・拡大に努めた。

具体的には、天文分野において注目される事業を積極的に取り上げ発信し、県民の科学への興味を喚起した。

また、天文・宇宙に関する番組投映だけでなく、講演会などのイベントなどにも広く活用した。

③コミュニケーションによる体験価値の向上

来館者とスタッフとの対話・交流を大切にして、来館者の興味を喚起し、展示体験価値の向上を図った。一方、展示を媒体として科学への理解につなげるため、ガイドツアーを実施し、来館者のサービスの向上を図った。

④安全・安心・快適な空間づくり

来館者の安全を守り、安心して利用していただけるように、保守点検およびメンテナンスを十分に行い、展示設備の維持管理に努めた。

⑤ガイドツアーとギャラリートークによる利用者満足度の向上

常設展示についてもガイドツアーやギャラリートーク等を組み合わせることで展示アイテムを効果的に活用することができる。館のスタッフによる展示に対する解説や説明で来館者満足度は大きく向上する。使い方、活用の方法を工夫することに努めて宇宙科学館の資源をより有効に活用した。

〈アテンダントによるガイドツアーの実施状況〉

期　間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

参加者：42グループ　164人

1-1. 宇宙発見ゾーン

令和 6 年 3 月 23 日にリニューアルオープンした宇宙発見ゾーンのコンセプトは「宇宙へのはるかな旅〜宇宙と人類の壮大なドラマ〜」。

キーワードは「生命」。宇宙とは何か、宇宙のナゾを解明しようとする宇宙科学の視点と人類が宇宙へ挑戦する宇宙活動の視点を「生命」で繋ぎ、わたしたち「生命」がどこからきて、どこへ向かうのか、宇宙とどのように関わっていくのか、来館者が宇宙の新しい見方や宇宙とのつながりを知り、宇宙をより身近に感じられるよう、展示は 5 つのミッションで構成し、来館者の宇宙に対する期待感や知的好奇心を満たす時間と空間を提供している。

1-2. 地球発見ゾーン

ワークショップと一体となった魅力ある体験展示の提供や汎用型展示の活用

汎用型展示「電磁誘導テーブル」「風のテーブル」に設置している体験アイテムの更新を随時行った。

また、2024 年度の夏の企画展で製作・展示した「光の三原色」「ライトテーブル」「変化する絵」などを常設展示化し、企画展終了後も来館者に体験してもらえるようにした。

1-3. 佐賀発見ゾーン

地球の歴史と生命の進化をはじめ、佐賀県の大地の成り立ち、多様な自然環境と生き物について学べるゾーンである。

鉱物や岩石、化石を用いた展示によって地球科学や古生物に対する興味を喚起するとともに、現在の佐賀の自然環境や生物相の特徴を標本や生体を用いて紹介し、私たちの生活の基盤となる生物多様性への理解を促進することを目指している。

佐賀県産出の鉱物や化石、佐賀県の水辺の生き物を展示したゆめぎんがアクアリウムなどを通して、佐賀県の自然の魅力に触れることが可能である。

1-4. サイエンスサロン

椅子やテーブルを設置した来館者の休憩場所として確保されたエリアで、テーブル上では「佐賀人物ファイル」および「くらしの科学」、周囲のパーティションには「佐賀フロンティア」のテーマで科学・技術に関する情報パネルを掲示した。

①佐賀フロンティア

明治維新の頃、日本の近代化に貢献した佐賀発の科学技術を紹介した。

②佐賀七賢人

明治維新で多大な貢献を残した佐賀出身の人物を紹介した。

③佐賀人物ファイル

佐賀ゆかりの人物で日本に貢献した科学者、技術者について紹介した。

1-5. こどもの広場

こどもの広場は小学生未満のお子様とその保護者のみが利用できるゾーンで、室内には対象年齢にあったハンズオン展示物と知育玩具を備えている。また室内奥には、おむつ替えベッドならびに授乳室を備えている。

2. プラネタリウム

スタッフによる生解説を重視し、時間・空間を超えた星空の疑似体験を観覧者に提供した。またCDLのコンテンツは4月1日から投映可能だったが、科学作品、ヒーリング作品、企画展関連映像の3作品を選択し、タイミングを計らって投映を開始した（いずれも2026年3月31日投映期間終了）。また昨年度制作したオリジナル番組を2026年度の大型連休に合わせて投映を開始、さらにライブラリ番組として2025年3月の春休み期間に合わせてキャラクター作品を引き続き投映、2026年3月の春休み期間に合わせてライブラリ番組を一部佐賀県オリジナルとして再編集した番組の投映を開始した。

投映所要時間は引き続き、30分間の生解説投映または10分程度の解説と番組投映の40分間で対応した。土曜日は夜間のプラネタリウム投映「サタデーナイトプラネタリウム」を引き続き実施。30分間から40分間に拡大し、季節の星座や見ごろの天体やそのときどきの天文現象や宇宙の話題を提供。天体観望会で観望予定の天体も紹介した。また、耳が聴こえにくい方等に対応した「字幕つきプラネタリウム」の投映も4回実施。さらに小さな子ども連れの方が気がねなく楽しめるよう、途中退場しても再入場可能な投映プログラム「はじめてのプラネタリウム」は毎週水曜日の1回目投映回（多客期間、団体予約がある場合は中止）に拡大して実施した。

今年度の新しい取り組みとして、解説のない星空と音楽のみの30分間投映「リラックスプラネタリウム」を開始した。星空の癒しの効果をより期待するとともに、外国人の観覧者にも当館のプラネタリウムを楽しんでもらう機会とした。

①プラネタリウム番組

分　類	番　組　名	投映開始日
一般向け番組 （オリジナル番組）	星空を見上げて 【～地球をまもる星～】	2025.04.26 ～投映開始

オリジナル番組「星空を見上げて【～365日の星日記～】」の第2弾番組として制作。前作の設定を引き継ぎながら、「人工衛星」をテーマに展開。前作同様、小学生から大人を対象にした。



あらすじ

お父さんのすすめで、毎日午後9時の星空観測のお散歩を今日は2時間早めに出かけることに。いつもの公園に到着すると、夜空を横切るふしぎな光を発見！

夜空に輝くのは、星だけじゃない?!

（ナレーション）土屋李央 / 武田華 / 平野賢佑
（英語版ナレーション）Kimberly Tierney/Jenny Skidmore/
Peter von Gomm
（監修）国立天文台 縣秀彦
（企画・原案）　佐賀県立宇宙科学館
（制作・配給）　D&Dピクチャーズ

分　類	番　組　名	投映開始日
一般向け番組 （ライブラリ）	忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆NEXT ～宇宙の果てまで宝探し！の段～	2025.03.15 ～ 2026.03.15

幼児から大人まで広い世代で認知され人気のあるキャラクター「忍たま乱太郎」のプラネタリウム最新作を春休みに合わせて投映開始。



© 尼子騒兵衛 /NHK･NEP

あらすじ

星空を眺めながら「あのキラキラを集めて大もうけしたい」と妄想を繰り広げるきり丸。

そんなきり丸が発生させた波動で１台の宇宙船が不時着する。その宇宙船に乗っていたのは、宇宙の銀河や星をコレクションしているという「ユニ姫」。

きり丸のあふれる欲望のエネルギーを利用して、ユニ姫と３人は宇宙の果てを目指すことに！乱太郎たちは宇宙でお宝を見つけることができるのか !?

© 尼子騒兵衛 /NHK・NEP
（制作・配給）　D&D ピクチャーズ

分　類	番　組　名	投映開始日
ヒーリング番組 （CDL）	天の川アイランド・ヒーリング	2025.04.04 ～ 2026.03.31

CDL サブスクリプション３作品のうちの１つで、大人向けのヒーリング番組として、投映開始。



あらすじ

東京 23 区内では、昭和 46 年の練馬区を最後に、天の川を肉眼で見ることはできなくなってしまいました。

しかし、今回の舞台である東京都青ヶ島では、今も天の川が夜空を飾っています。

青ヶ島は、八丈島よりもまだ遠い、本州から 360km も離れた、天の川に出会える場所なのです。

作品では、星空のほかにも青ヶ島の美しい自然や風景、土地の民謡など、島の魅力を紹介していきます。

ナレーションは、人気声優の福山潤さんが担当します。

澄み切った海と空にぴったりの爽やかな声にいざなわれて、リラックスしたひとときをお過ごし下さい。

（ナレーション）福山潤

分　類	番　組　名	投映開始日
一般番組 （CDL）	宇宙の模型～プラネタリウム誕生物語～	2025.05.05 ～ 2026.03.31

CDL サブスクリプション 3 作品のうちの 1 つで、プラネタリウム 100 年記念として制作された番組。科学番組として投映。



あらすじ

昼間も雨の日も、いつでも満天の星空に出会えるプラネタリウムは、ある日突然地上に現れたわけではありません。有史以来、星空に魅了されてきた人類が、様々な「宇宙の模型」作りにチャレンジした末に誕生した、「種も仕掛けもある」不思議な星空です。

古代ギリシャの天球儀や、惑星の動きを再現した天体運行儀など、過去の宇宙の模型はどのような形で、現在のプラネタリウムに反映されたのでしょうか？ 100 年前にプラネタリウムを発明したエンジニアのノートもひも解きながら、開発の秘密に迫ります。プラネタリウムの原点を見つめなおす番組です。

（ナレーション）坂本真綾

分　類	番　組　名	投映開始日
企画展関連番組 （CDL）	プラネタリウム版 生命大躍進	2025.10.11 2025.12. ～

CDL サブスクリプション 3 作品のうちの 1 つで、巡回展「WHO ARE WE」の関連番組として投映。



©NHK

あらすじ

地球最初の生命が誕生したのは 40 億年前。私たち人間に進化するまで、たくさんの困難を乗り越えながら、途切れることなくつながっている生命。どのようなことが地球で起こり、『生命の物語』が続いたのか。私たちの祖先である脊椎動物はどのように進化を遂げたのか。進化の大ジャンプを繰り返した末にたどり着いた生命の歴史、遥かな時を超えた壮大な時間旅行に出かけよう！

分　類	番　組　名	投映開始日
一般向け番組 （オリジナル番組）	マジックアワー　天空が魔法にかかるとき 《佐賀スペシャルエディション》	2026.03.20 ～投映開始

ライブラリ番組「マジックアワー 天空が魔法にかかるとき」の一部を佐賀県内４か所で撮り下ろし、ナレーションを追加収録して、佐賀特別版として佐賀市川副町の麦畑、藤津郡太良町の海中鳥居、東松浦郡肥前町の浜野浦の棚田、御船山を望む武雄市立御船が丘小学校の地元市町、関係者、報道関係者を対象に３月 17 日に試写会を開催、23 人に観覧してもらった。県内の小中学校にチラシ、ポスターを配布した。



©NHK

あらすじ

地平線に太陽が傾き、夜の闇に星々が輝き始めるまでの数十分間、空は、金色からオレンジ、ピンク、ブルー、そして濃紺へと、時々刻々と変化します。光と闇の世界が同居する「マジックアワー」は、一日の中で最も美しい時間帯と言われ、天空は、まさに魔法にかかったような幻想的な光に包まれます。

この極上のマジックアワーの空を、日本各地、そして、オーストラリアの大地で見つめます。忙しい現代人が目にとめるのを忘れてしまっているマジックアワー、このかけがえのないときをゆったりと味わってみませんか？

（ナレーション）和久井映見　　（音楽）川上ミネ　ピアニスト・作曲家
（制作）NHK エデュケーショナル　（配給）株式会社さらい

②夜間プラネタリウム「サタデーナイトプラネタリウム も〜っと星空散歩」

開催日時：毎週土曜日　　18：00 〜 18：40

イベント・天文教室開催日は別プログラムを実施。

月	実　施　日	テ　ー　マ	人　数
4 月	5 日、12 日、19 日、26 日	しし座を見つけよう	120 人
5 月	10 日、17 日、24 日	北斗七星と北極星を見つけよう	73 人
6 月	7 日、14 日、21 日、28 日	雨夜の星を見つけよう	121 人
7 月	5 日、12 日、19 日、26 日	さそり座と天の川を見つけよう	144 人
8 月	9 日、23 日	夏の大三角を見つけよう	105 人
9 月	6 日、13 日、20 日、27 日	夏の大三角と周りの星座を見つけよう	167 人
10 月	4 日、11 日、18 日、25 日	秋の四辺形と秋のひとつ星を見つけよう	134 人
11 月	1 日、 8 日、15 日、22 日	カシオペヤ座を見つけよう	175 人
12 月	6 日、13 日、20 日、27 日	古代エチオピア王家の物語の星座を見つけよう	119 人
1 月	10 日、17 日、24 日、31 日	おうし座、すばるを見つけよう	120 人
2 月	7 日、14 日、21 日、28 日	オリオン座を見つけよう	107 人
3 月	7 日、14 日、21 日、28 日	冬のダイヤモンドを見つけよう	111 人
合　　計			1,496 人

③字幕つきプラネタリウム

平成 23 年度より字幕つきのプラネタリウム投映を行っている。普段のプラネタリウムでは音声による案内しか対応していないが、「字幕つき星空散歩」では音声による星空の解説とともに、解説内容の一部を字幕として投映している。今年度から AI の自動翻訳等を活用して、解説をプロジェクタで投映した。

月	実　施　日	テ　ー　マ	人　数
6月	21 日、22 日	春の星座を楽しもう	275 人
9 月	6 日、 7 日	夏の星座を楽しもう	212 人
11 月	8 日、 9 日	秋の星座を楽しもう	178 人
1 月	17 日、18 日	冬の星座を楽しもう	135 人
合　　計			800 人

④リラックスプラネタリウム

今年度よりリラックスプラネタリウムの投映を開始した。閑散期月の最終金曜日の最終投映回に設定。普段のプラネタリウム解説と違い解説を行わず、日の入りから翌日の夜明けまで、星空と音楽のみの 30 分間の投映。忙しい現代人に癒しの時間を提供する。11 月には「全国一斉 熟睡プラ寝たリウム」にも参加した。

月	実　施　日	人　数
6月	27 日	12 人
9 月	26 日	10 人
10 月	31 日	12 人
11 月	21 日、23 日、24 日	123 人
12 月	26 日	16 人
1 月	30 日	10 人
2 月	27 日	19 人
合　　計		202 人

⑤はじめてのプラネタリウム

途中退場しても再入場可能で、より小さな子ども連れの方が気がねなく楽しめる投映プログラム。2023 年度までは年 4 回の開催だけだったが、今年度から団体予約や多客期間以外の水曜日の第 1 回目の実施と機会を増やして実施。スタッフによる 10 分間の星空解説と幼児向け番組【くるりんぱ＠プラネタリウム～もののみかたはひとつじゃないよ～】の番組投映で対応した。なお、2025 年度の投映は 24 回、126 名の観覧者と 0 ～ 3 歳のチケットを持たない乳幼児 21 名の観覧があった。

3. 天文台

昼夜の星空の魅力を、より多くの利用者に体験してもらう

毎週土曜日の夜に観望会を開催し、武雄市内への宿泊者や近隣住民はじめ多くの方に望遠鏡等で天体を観望していただく機会を提供した。また、天文教室や天文事象にあわせた特別の催事も企画し開催した（Ⅱ−4−3（4）天文祭、Ⅱ−5−1（4）天文教室参照）。当館の望遠鏡や双眼鏡を使って、天文ボランティアスタッフとともに、月、惑星、恒星、星団等それぞれの天体に最適な機材を活用して観望した。当日は 18 時に実施可否を判断し、館内掲示の他、HP や SNS などで告知した。

また天体観望会だけでなく、開館中の来館者に向けて天体を観望していただく機会を提供。WS 活動の「青空天文台」では、金属蒸着フィルターや H α フィルター、CaK 線フィルターを装着した望遠鏡で見たカメラの映像の紹介、遮光板での太陽観察、20㎝屈折望遠鏡を使った 1 等星や月、金星など昼間の観望を展開した（Ⅱ−5−2（2）WS活動 青空天文台参照）。

開催期間：令和 7 年 4 月 5 日～令和 8 年 3 月 28 日 毎週土曜日（晴天時）
時　　間：3 月～ 9 月　20：00 ～ 21：30　10 月～ 2 月　19：00 ～ 20：30
受付は終了時間の 30 分前まで。
会　　場：佐賀県立宇宙科学館　3 階　天文台・展望デッキ
参加者数：621 人

実　施　日	主　な　観　望　天　体	参加者数
令和 7 年 4 月　5 日	天候不良のため中止	—
4 月 12 日	天候不良のため中止	—
4 月 19 日	天候不良のため中止	—
4 月 26 日	火星、木星、M44	29 人
5 月　3 日	GW の混雑回避のため中止	—
5 月 10 日	天候不良のため中止	—
5 月 17 日	天候不良のため中止	—
5 月 24 日	天候不良のため中止	—
6 月　7 日	天候不良のため中止	—
6 月 14 日	天候不良のため中止	—
6 月 21 日	天候不良のため中止	—
6 月 28 日	月、火星、アンタレス	16 人
7 月　5 日	月、アークトゥルス、アルビレオ、ベガ	18 人
7 月 12 日	天候不良のため中止	—
7 月 19 日	天候不良のため中止	—
8 月　2 日	天候に関わらず中止	—
8 月　9 日	天候不良のため中止	—
8 月 16 日	天候に関わらず中止	—
8 月 23 日	アークトゥルス、アルビレオ、ベガ、アルタイル	36 人

実　施　日	主　な　観　望　天　体	参加者数
8月30日	天候に関わらず中止	—
9月　6日	アークトゥルス、アルビレオ、ベガ	43人
9月13日	天候不良のため中止	—
9月20日	天候不良のため中止	—
10月　4日	天候不良のため中止	—
10月11日	土星、アルビレオ、M31	49人
10月18日	天候不良のため中止	—
10月25日	天候不良のため中止	—
11月　1日	月、土星	48人
11月　8日	天候不良のため中止	—
11月15日	土星、アルビレオ、ベガ、M31、M45	64人
11月22日	土星、アルビレオ、M31	34人
12月　6日	天候不良のため中止	—
12月13日	天候不良のため中止	—
12月20日	天候不良のため中止	—
令和8年1月　3日	天候に関わらず中止	—
1月10日	天候不良のため中止	—
1月17日	天候不良のため中止	—
1月24日	月、土星、木星	33人
1月31日	月、土星、木星	45人
2月　7日	天候不良のため中止	—
2月14日	天候不良のため中止	—
2月21日	月、金星、木星、土星	57人
2月28日	月、木星、土星	60人
3月　7日	木星、シリウス、M42	11人
3月14日	木星、天王星、M42	49人
3月21日	木星、M42	29人
合　　計		621人

4. 企画展示の運営

4-1. 特別企画展

令和 7 年度は特別企画展を 3 回（春、夏、秋・冬）開催した。

（1）春の企画展　ビーコロ×おもちゃ展

開催期間：令和 7 年 3 月 15 日（土）～ 5 月 6 日（火・祝）
開催日数：52 日（休館日 6 日含む）
会　　場：佐賀県立宇宙科学館 1 階 企画展示室、エントランスホール、わくわく広場、科学実験室、ガイダンス室
主　　催：佐賀県立宇宙科学館
展示協力：株式会社イーケイジャパン / 日本トイザらス株式会社
イベント協力：タカラトミー / 木のおもちゃ工房「あおむし」湯元桂二 /Have Some Fun!
観覧者数：総入館者数　67,339 人／有料入館者数　66,438 人／企画展観覧者数　65,680 人
概　　要：一般にルーブ・ゴールドバーグマシンやからくり装置等として知られる仕掛けが連動して動いていく装置を、当館ではビー玉が転がって仕掛けが動くビー玉コロコロ装置、通称「ビーコロ装置」として展示した。来館者はビー玉を転がし、ビー玉の転がり方や装置の動きから、身近にひそむ物理の法則や現象を体感してもらった。10 回目以降他のテーマとコラボレーションさせた企画展とした。第 3 弾として、おもちゃをテーマに展示物を製作した。



展示構成：ビーコロボックス（8 点）

箱型のビーコロ装置。穴からビー玉を入れると、ゴールまで転がる。仕掛けのセットが不要なため、来館者は代わる代わる体験ができる。ビーコロボックスは「B-coro1 GP」「カラフルランド」「ビーコロスロープ」「ヘキサゴン」「ビー玉タウン」「叡ある月面旅行」「巳年」「がたんごとん」の 新作 8 点を展示した。

○ビーコロボックス・ミニ（8 点）

ビーコロボックスよりひと回り小さい箱型ビーコロ装置。おもちゃをテーマに「ボール転がしブロック」「スリンキー」「ビー玉ハンマー」「ビー玉野球盤」「ドールハウス」「立体迷路」「なりきりグッズ」「トランプ」 の新作 8 点を展示した。

○ビーコロハイスクール（3 点）

県内の高校生にビーコロ装置を製作してもらい展示した。今回は佐賀西高等学校「おはなしのくに」、鳥栖高等学校「夢のラスベガス」、武雄高等学校「Animal Of the year with ビーコロ」 の 3 校 3 点を展示した。

○大型コロコロ装置

全長 20 mを超える大型装置の展示・実演を行った。今回は「おもちゃの世界」をテーマに装置を製作した。また、最後の仕掛けでは垂れ幕が登場し、夏の企画展「マグネット」 の宣伝を行った。

実演回数：279 回

参加人数：29,805 人

○木のおもちゃコーナー

「カラコロツリー」「かいだんチロリン」「三丁目交差点」「ビー玉かくれんぼ」「ビー玉でんでん虫」「集中力ゲーム」「ムゲン」「SlowP（3 段）」「SlowP（6 m）」「回転迷路」 などビー玉を転がして体験できる木製のおもちゃを展示した。

○ボール転がしおもちゃ「おもちゃ広場」

「ラビリンスゲーム」「プラネットメイズ」「アスレチックランドゲーム（各種）」「くみくみスロープ」 など鉄球やビー玉などを転がして体験できるおもちゃを展示した。また、時間をかけてじっくり体験できるように科学実験室を「コロコロおもちゃの部屋」として開放し、複数のおもちゃを展示した。

○エレキットコーナー

株式会社イーケイジャパンに展示協力いただき、「エレキット大集合」と題して現行のロボット工作（完成品）すべてを展示した。また、動くように工夫した製品数点も展示した。

○コロピコ虫コーナー

薬用セルロースカプセルに鉄球を入れ、傾斜を転がすと虫のような奇妙な動きをする「コロピコ虫」 のカプセルトイによる販売コーナーを設けた。

材　料　費：100 円

材料の内容：セルロースカプセル（ホワイト）2 個、（透明）1 個、鉄球 2 個売上　個　数：2,814 個

関連イベント

○エアフリスビー（配布）

日本トイザらス株式会社より提供いただいた「エアフリスビー」を 3/15（土）から先着 500 名のお子様（4 歳～小学生）に配布した。

○ロボット工作教室

エレキット商品をイーケイジャパンの講師がサポートしながら製作できる教室を実施した。

① 3/22（土）「エアロレーサー作り教室」 12 組 34 名（15 キット）

② 3/23（日）「キット製作サポート」 16 組 48 名（21 キット）

○ SORA-Q 操作体験会

2024 年 1 月に月面着陸に成功し、小型月面着陸実証機 SLIM を撮影した世界最小月面ロボットを操作体験した。

3/29（土）、3/30（日）

○おもちゃ広場

木のおもちゃ工房「あおむし」湯元桂二氏が製作した木のおもちゃ約 40 点で遊べるイベントを実施した。

4/5（土）～ 4/13（日） * 4/7（月）は休館日

○光るビー玉転がし

Have Some Fun! の SlowP とブラックライトで発光するビー玉を使って、光るビー玉転がしのイベントを実施した。

4/19（土）～ 4/27（日） * 4/21（月）は休館日



ビーコロ×おもちゃ展エントランス



企画展示室



ビーコロ BOX ミニ



ビーコロハイスクール



大型コロコロ装置



コロコロおもちゃの部屋



コロピコ虫コーナー



エレキットのロボット大集合



ロボット工作教室



SORA-Q 操作体験会



おもちゃ広場



光るビー玉転がし

（2）マグネット　磁石の不思議のサイエンス

開　催　期　間：令和 7 年 7 月 12 日（土）～ 8 月 31 日（日）
開　館　時　間：平日 9：15 ～ 17：15　土日祝 9：15 ～ 18：00
　　7/19 ～ 8/31　9：15 ～ 18：00
期間中の休館日：7 月 14 日（月）

協　力　機　関：公益財団法人佐賀県産業振興機構
九州シンクロトロン光研究センター・
チタン工業株式会社・株式会社プロ
スパイン・室蘭民報みんなの水族館
（市立室蘭水族館）（順不同）
観　覧　料：常設展示観覧料のみ
入 館 者 実 績：総入館者数：71,983 名



イベント

7 月 13 日（日）① 10：00 ～ 13：00 、② 14：00 ～ 15：30
エレキット教室　①金属探知機を作ろう！
　　②ロボビットを作ろう！
対　　象：小学生以上、定員　各 15 名、参加費：① 3,500 円　② 2,200 円
実施場所：1 階ガイダンス室、要予約
講　　師：藤田祥大朗 氏
実　　績：① 11 組 13 個 27 名　② 10 組 14 個 27 名

7 月 19 日（土）・20 日（日）① 11：30 ～ 12：30、② 14：00 ～ 15：00
ハンディクリーナーづくり
対　　象：小学生以上、定員　各 20 組、参加費：500 円
実施場所：1 階ガイダンス室、当日券売機
実　　績：7 月 19 日（土）　18 個 38 名　7 月 20 日（日）　39 個 80 名

7 月 21 日（月）① 11：00 ～ 11：30、② 14：00 ～ 14：30
方位磁針づくり
対　　象：小学生以上、定員　各 15 名、参加費：400 円、
実施場所：1 階ガイダンス室、要予約
実　　績：① 11 組 13 個 27 名　② 10 組 14 個 27 名

7 月 27 日（日）① 11：00 ～ 12：00　② 14：00 ～ 15：00
マグネット・モビールづくり
対　　象：小学生以上、定員　各 8 組、参加費：1,200 円、
実施場所：1 階ガイダンス室、要予約
実　　績：10 組 32 名

8 月 23 日（土）　8 月 24 日（日）
① 11：00 ～ 11：30、② 14：00 ～ 14：30
砂鉄万華鏡づくり
対　　象：小学生以上、定員　各 20 組、参加費：400 円
実施場所：1 階ガイダンス室、当日券売機
実　　績：8 月 23 日（土）18 組 29 個
　　24 日（日）16 組 32 個

期間中毎日　① 11：00 ～　② 11：15 ～　③ 13：00 ～
　　④ 13：15 ～　⑤ 15：00 ～　⑥ 15：15 ～
磁性スライムづくり
対　　象：定員　各 8 名、参加費：100 円、
実施場所：1 階ケミカルラボ、当日券売機
実　　績：2,151 個

7 月 26 日（土）15：00 ～ 16：00
南極・昭和基地ライブトーク　～国立極地研究所連携機関へ生中継 2025 ～
対　　象：小学生以上、定員　50 名、参加費：無料、要予約
主　　催：国立極地研究所
共　　催：稚内市青少年科学館、愛媛県総合科学博物館、
　　立山カルデラ砂防博物館、名古屋市科学館、佐賀県立宇宙科学館
実施場所：1 階ガイダンス室
実　　績：32 名

8 月 2 日（土）① 11：00 ～ 、② 14：00 ～ 、③ 17：00 ～
中垣哲也 オーロラ上映＆トークライブ 2025
～太陽極大期の贈りもの～ 『磁気嵐が魅せた祝福のオーロラ』
対　　象：11：00 ～、14：00 ～：小学校 5・6 年生以上対象、 17：00 ～：一般向け
　　定員　各 180 名、参加費：プラネタリウム観覧料
実施場所：3 階プラネタリウム
講　　師：中垣哲也氏
実　　績：① 34 名　　② 38 名　　③ 26 名　　計 98 名



会場 1（エントランスホール）



会場 2（企画展示室）



会場 3（企画展示室 2）



会場 4（わくわく広場）



エレキット教室



ハンディクリーナー作り



方位磁針作り



マグネットモビール



砂鉄万華鏡作り



磁性スライム



南極・昭和基地ライブトーク



オーロラ上映&トークライブ

（3）巡回展「WHO ARE WE　観察と発見の生物学
国立科学博物館収蔵庫コレクション｜Vol.01 哺乳類」

開　催　期　間：令和 7 年 10 月 11 日（土）～令和 7 年 12 月 14 日（日）
開　館　時　間：平日 9：15 ～ 17：15
土日祝 9：15 ～ 18：00
期間中の休館日：10 月 14 日（火）、20 日（月）、27 日（月）、
11 月 4 日（火）、10 日（月）、17 日（月）、
25 日（火）、12 月 1 日（月）、8 日（月）
主　　催：佐賀県立宇宙科学館・
国立科学博物館
観　覧　料：常設展示観覧料のみ
入 館 者 実 績：総入館者数：45,880 名



イベント

オープニングイベント　10 月 11 日（土）
オープニングセレモニー（9：30 ～ 9：45）
ギャラリートーク（展示解説）（10：00 ～ 10：30）
参加者：26 名

講演会（10：45 ～ 12：30）
「われわれは　どこから来て　どこへ行くのか
～ノーベル賞に輝く古代 DNA 研究を通じ人類の過去と未来の常識が変わる～」
国立科学博物館館長　篠田謙一氏

クロストーク
篠田謙一氏、宇宙科学館館長・鈴木明子、MC あまり（ファシリテーター）
定員 180 名　対象：中学生以上、会場：3 階プラネタリウム
参加者：127 名

WoW キツネザル（環境系エンターテイナー）トークライブ（14：00 ～ 15：00）
定員 80 名　対象：幼児以上　会場：1 階わくわく広場
参加者：82 名

ギャラリートーク　12 月 6 日、12 月 14 日　13：30 ～ 14：00
参加者：12 月 6 日　40 名、12 月 14 日　15 名



会場入り口



会場１（ガイダンス室）



会場２（企画展示室）



講演会



クロストーク



トークライブ

（4）私たちの地球環境を考えよう！
水がテーマの科学の祭典「水フェスタ」開催報告

期　　間：令和７年６月７日（土）～令和７年６月29日（日）
会　　場：佐賀県立宇宙科学館
　　１階ガイダンス室、ケミカルラボ、佐賀発見プラザ
　　２階サイエンスサロン、３階プラネタリウム
主　　催：佐賀県立宇宙科学館
協　　力：佐賀県有明海漁協大託間支所青年部、
　　佐賀県有明海水産振興センター
企画制作：佐賀県立宇宙科学館
概　　要：　急激に変動する現代社会において環境問題は地球規模で深刻化している。この問題は気候変動や食糧危機、生態系の破壊など私たちの生活に直結している。この全ての問題に深く結びついているのが「水」である。

　６月は「水」をテーマに開催した。水は私たちの生活の中で最も身近で必要不可欠な物質でありながら、その特異性にはあまり目を向けられていない。本イベントでは体験を通して水に興味を持ち、さらに環境に大きく関わる水について関心を高めていくきっかけとなるようなイベント・ワークショップを展開した。



1）イベント・ワークショップ

○「バイカラーボトルを作ろう」（期間中の土、日に1階ケミカルラボにて開催）
　水とオイルの比重の違いを利用し、水とオイルにそれぞれ色を付け２色（バイカラー）のボトルを作る。
・実績：期間中の土、日　計８日×１日３回　期間中合計174個

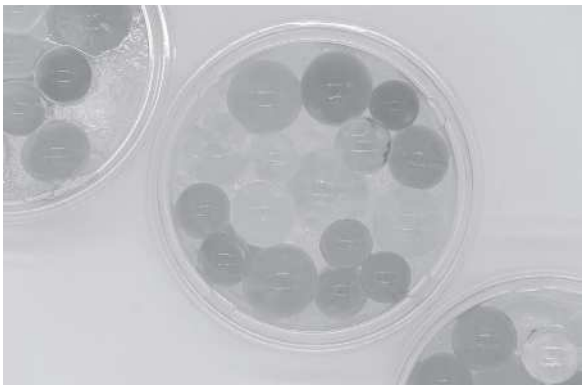




○「ぷよぷよ芳香剤を作ろう」（期間中の土、日に2階サイエンスサロンにて開催）

高分子吸水樹脂（SAP）を利用し、たくさんの水を吸収した樹脂に匂いをつけて水の利用方法を紹介する。

・実績：期間中の土、日　計 8 日× 1 日 3 回　期間中合計 283 個





○シャボン玉実験ショー

（期間中の土、日に 1 階わくわく広場にて開催）

大きなシャボン玉や落ちないシャボン玉、様々なシャボン玉を演示し、楽しみながら水の表面張力などに触れる機会にする。

・実績：期間中の土、日　計 8 日× 1 日 1 回　観覧者カウント数 1,493 人







○水辺の生き物トーク（１階ガイダンス室にて期間中の土、日に開催）

身近な水辺の生き物の魅力を紹介した。サンショウウオやホタル、ムツゴロウ、川の魚の婚姻色などをテーマとした。

・実績：期間中の土、日　計７日×１日１回　聴講者数 のべ 113 人





○水辺の生き物を観察しよう

小学生以上を対象に、6 月 14 日（土）に事前申し込み制で、科学館周辺の小川で実施する計画だったが、当日雨天予報だったため、前日に参加者には中止の連絡をして実施を見送った。

○スペシャルイベント「海苔の秘密まるごと体験」

佐賀県有明海漁協大詫間支所青年部、佐賀県有明海水産振興センターにご協力いただき、佐賀が誇る「海苔や有明海の生物について学べる特別なイベントを開催。

①海苔ができるまで（１階ガイダンス室）





海苔の取れる時期や有明海クイズ、海苔を食べる県 No1 などを紹介。山、川、海はつながっていてそれぞれが影響し合う環境を考えるきっかけにした。

・実績：聴講者数のべ　226 人

②カキ殻についた海苔の胞子の顕微鏡観察



③有明海の生物に触れるタッチプール



タッチプールでは、ムツゴロウやワラスボ、ウナギ、タイラギ、アゲマキ、ワタリガニなどに触る体験を実施した。

④焼きのり体験



等級がちがう板ノリを焼いて、等級や焼き具合よって違いがあることを体験した。
（＊②～④の場所は１階佐賀発見プラザ）
・実績：②～③の参加人数のべ　538 人

○プラネタリウムを見てノベルティグッズをもらおう

水フェスタ期間中、プラネタリウム番組「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆ NEXT ～宇宙の果てまで宝探し！の段～」を観覧した方に、番組ノベルティグッズの「じゆうちょう」をプレゼントした。当該番組の投映終了後、３階プラネタリウム出口ロビーにてその回の観覧チケットと引き換えて配布した。

忍たま乱太郎ノベルティ配布実績			
投映日	配布数	観覧者数	配布率
6月　7 日（土）	46	49	94%
6月　8 日（日）	139	177	79%
6月 11 日（水）	61	62	98%
6月 14 日（土）	116	155	75%
6月 15 日（日）	128	172	74%
6月 20 日（金）	68	68	100%
6月 22 日（日）	172	175	98%
6月 27 日（金）	49	49	100%
6月 28 日（土）	119	143	83%
6月 29 日（日）	149	181	82%
10 回	1,047	1,231	85%

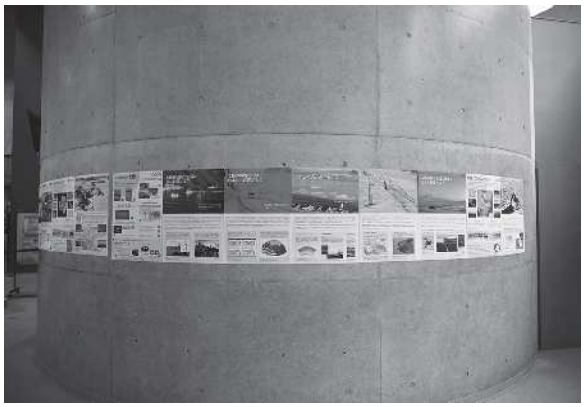




○国立極地研究所 南極観測および北極研究活動に関するパネル展示

水フェスタ開催に合わせて、国立極地研究所が制作した南極観測に関するパネルおよび北極での研究活動に関するパネルを１階地球発見ゾーン「−20℃の世界」に展示した。





（5）ソラフェスタ 特別催事

「爆笑！星兄のプラネタリウムショー 2025」開催報告

今年活動 40 周年を迎える「星兄」こと田端英樹氏（プラネタリウム解説者・シンガーソングライター）を招いてプラネタリウムショーを開催。今年は記念の年ということで、精力的に全国のプラネタリウムを巡っているとのこと。当館でも毎年恒例になりつつある。タイトルの通り、田端氏の軽快で面白い星空解説は大人から子どもまで来場者の笑いを誘い、いつもの静かなプラネタリウムと違って、笑い声と笑顔の絶えない楽しいイベントとなった。投映後、プラネタリウム出口ロビーにて DVD と書籍の物販もあり、サインや写真撮影を求める来場者で列ができ、田端氏もそれに応えていた。





開催日時：令和 7 年 9 月 23 日（火・祝）
①11：00 ～ 11：50　②14：30 ～ 15：25

会　　場：3 階プラネタリウム

出　　演：STAR BRO. 星兄こと 田端 英樹氏

構　　成：各回 10 分前開場
当館スタッフがステージで星兄紹介
星兄コンソールへ移動し投映
終演後 物販会場にてサインおよび写真撮影対応

参 加 者：計 367 名
内訳
①一般 182 名、スタッフ 2名
②一般 179 名、スタッフ 4名
（学芸員実習生 2 名含む）









(6) ソラフェスタ　ワークショップ

期　間：9 月 6 日～ 21 日の土日祝（9/23 追加実施）
時　間：① 10：00 ～ 12：00　② 13：00 ～ 15：00

○「スーパーボールロケット」
スーパーボール 2 個を組み合わせた発射台を使って、ストローのロケットが飛ぶおもちゃを作ります。
料金　100 円
・実績：期間中合計 1,517 個

西九州新幹線開業 3 周年記念イベント

期　間：9 月 6・7 日
時　間：① 10：00 ～ 12：00　② 13：00 ～ 15：00

○「GO WEST すれすれスライダー」
表面効果を利用して地面から少し浮いて走るおもちゃを作ります。
料金　50 円
・実績：期間中合計 161 個

（7）宇宙の日講演会 2025
「プラネタリウムで見る宇宙の姿」開催報告





当館では、9 月 12 日の宇宙の日を記念して、毎年講演会を開催している。今年度は、2023 年～ 2025 年の近代プラネタリウム誕生 100 年にも絡め、日本一のプラネタリウム観覧者数（年間 50 万人）を誇る名古屋市科学館の野田学氏を招き講演会を行った。野田氏は長年名古屋市科学館のプラネタリウム解説員として、天文学や天文教育、科学リテラシーの普及に尽力されている。そこで本講演はいつもと異なり、コンソールで話をされ、当館のプラネタリウムの光学式投映機、デジタル式投映機の機能を用いた演出や当館スタッフとの掛け合いを話の間に挟んで展開した。

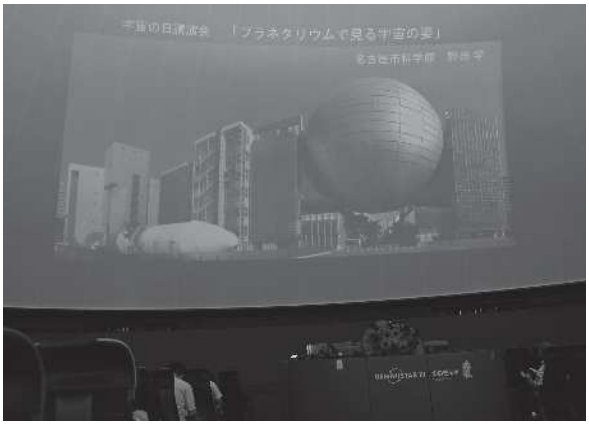
導入は名古屋市科学館の沿革、世界一のドーム径 35 メートルの開発秘話では水平ドームにこだわった理由を二至二分の太陽を投映して説明され、星の見え方の説明では光学式の星空と周囲灯で都会と郊外の星空の見え方を紹介された。星空を再現する歴史についても触れられ、光学式投映機の仕組みや近年急速に普及したデジタル投映機に至るまで紹介された。デジタル投映機では最近の観測データが 3 次元的に再現できるようになったことも紹介され、事前準備していた地球から宇宙の果てまでそして名古屋市科学館のプラネタリウムへ戻る 6 分間のプログラムを投映して終了した。

盛りだくさんの内容で、90 分間の枠の中で 85 分間もお話をされたので、質疑応答は閉会後直接どうぞということにした。講演会終了後に、小学生男児（のちに JAXAGASCHOOL 受講生と判明）が保護者とコンソールにきて、「名古屋市科学館のプラネタリウムの星は何個見えますか?」と質問をしていた。「野田さんは目で見える 6 等星までの 9000 個」と回答され、当館のプラネタリウムの恒星も 9000 個であることを伝えると男児はびっくりしていた。

アンケート調査は学芸員実習の一環として、実習生が内容を作成、QRコードの読み取り方式と直接記入方式で調査を行い、集計やまとめも学芸員実習生が行った。好意的な評価が多数得られ、本講演会が参加者にとって意義のあるものであったことが伺えた。

開催日時：令和 7 年 9 月 20 日（土） 14：00 ～ 15：30
会　　場：3階プラネタリウム
講　　師：名古屋市科学館　学芸員　野田　学 氏
構　　成：13：50　開場
14：00　開会
14：05 ～ 15：25　ご講演
15：30　閉会　閉会後 プラネタリウム内で参加者直接質問対応、写真撮影対応
参 加 者：計 43 名　内訳 一般 37 名、スタッフ 6 名（学芸員実習生 2 名含む）

記録写真：



会場の様子



講師紹介



講演中の講師



アンケート調査


宇宙の日講演会 2025

プラネタリウムで見る宇宙の姿

2025.09.20【SAT】14:00 ～ 15:30（開場 13:50）

会場 / 佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》プラネタリウム
定員 / 先着 180 名　　入場無料　※ただし常設展示観覧料が必要です。レジカウンターで講演会参加の旨お申しおください。
対象 / 小学生 ～ 一般

今年は名古屋市科学館 学芸員 野田学さんをお招きします。野田さんは 2011 年の名古屋市科学館プラネタリウム大規模リニューアルの際にプロジェクトリーダーを務め、世界一 35m ドーム径プラネタリウムにおいて限りなく本物に近い星空の再現に尽力しました。長年携わってきたプラネタリウムについてたっぷり語っていただきます。

講師紹介　野田　学（のだ　まなぶ）
名古屋市科学館・学芸員　元天文主幹

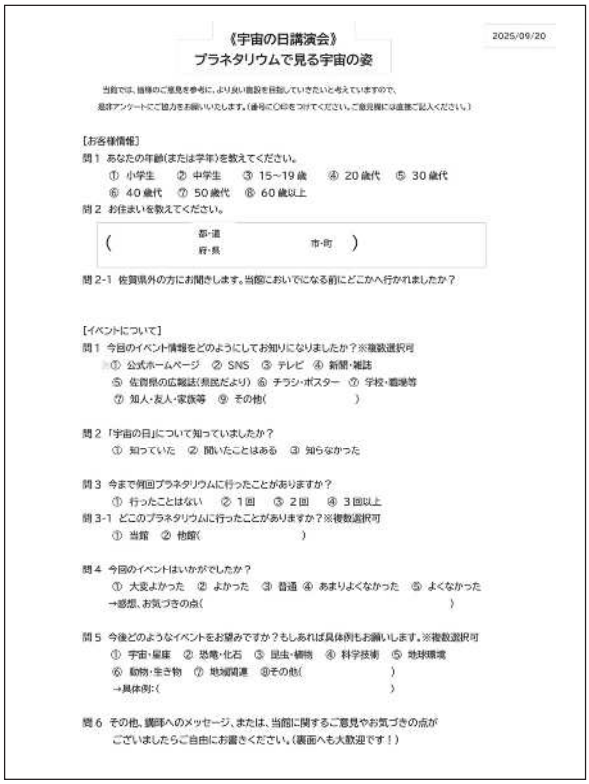
名古屋市生まれ。
京都大学理学部物理学科卒、
名古屋大学大学院修了、博士（理学）。
研究職を経て 1997 年から名古屋市科学館の学芸員に。
天文学や天文教育ほか科学リテラシーの普及にも尽力。
2025 年度 NHK 文化センター（名古屋教室）で講座開催。

当館では、皆様のご意見を参考に より良い施設を目指しています。
本日の講演会についてのアンケート調査にご協力をお願いいたします。

QR コードをお手持ちのスマートフォンで読み取るとアンケートのサイトが表示されます。設問にしたがってご回答ください。（所要時間 5 分程度）

※このアンケートは 2025 年度学芸員実習の実習生が実習の一環として作成しました。調査結果は実習生が集計したのち実習成果としてまとめます。

佐賀県立 宇宙科学館
SAGA PREF. SPACE and SCIENCE MUSEUM
ゆめぎんが


《宇宙の日講演会》
プラネタリウムで見る宇宙の姿

2025/09/20

当館では、皆様のご意見を参考に、より良い施設を目指していきたいと考えていますので、
是非アンケートにご協力をお願いいたします。（番号に○印をつけてください。ご意見欄には直接ご記入ください。）

【お客様情報】
問 1　あなたの年齢（または学年）を教えてください。
① 小学生　② 中学生　③ 15～19 歳　④ 20 歳代　⑤ 30 歳代
⑥ 40 歳代　⑦ 50 歳代　⑧ 60 歳以上
問 2　お住まいを教えてください。
（　都・道 府・県　　市・町　）
問 2-1　佐賀県外の方にお聞きします。当館においでになる前にどこかへ行かれましたか？

【イベントについて】
問 1　今回のイベント情報をどのようにしてお知りになりましたか？※複数選択可
① 公式ホームページ　② SNS　③ テレビ　④ 新聞・雑誌
⑤ 佐賀県の広報誌（県民だより）　⑥ チラシ・ポスター　⑦ 学校・職場等
⑦ 知人・友人・家族等　⑨ その他（　）
問 2　「宇宙の日」について知っていましたか？
① 知っていた　② 聞いたことはある　③ 知らなかった
問 3　今まで何回プラネタリウムに行ったことがありますか？
① 行ったことはない　② 1 回　③ 2 回　④ 3 回以上
問 3-1　どこのプラネタリウムに行ったことがありますか？※複数選択可
① 当館　② 他館（　）
問 4　今回のイベントはいかがでしたか？
① 大変よかった　② よかった　③ 普通　④ あまりよくなかった　⑤ よくなかった
→感想、お気づきの点（　）
問 5　今後どのようなイベントをお望みですか？もしあれば具体例もお願いします。※複数選択可
① 宇宙・星座　② 恐竜・化石　③ 昆虫・植物　④ 科学技術　⑤ 地球環境
⑥ 動物・生き物　⑦ 地域関連　⑧その他（　）
→具体例：（　）
問 6　その他、講師へのメッセージ、または、当館に関するご意見やお気づきの点がございましたらご自由にお書きください。（裏面へも大歓迎です！）

アンケート調査は QR コードと記述式で実施（学芸員実習の一環として）

(8) 天文祭 2025　～ Star　Festival ～

「天文祭～ Star Festival ～」は県民との連携・協働を深め、天文ファンの裾野を広げ、観望会等の館内活動の周知にもつながる活動として取り組んでいる。平成 21 年から継続して実施している地元の天文ファンと来館者をつなぐ、交流イベントである。コロナ禍は夜の大観望会をメインに開催していたが、昨年は望遠鏡体験を、今年からは 6 年ぶりに昼の天文工作（今年はスーパーボールロケット）を復活させ、コロナ禍前のイベント数に戻した。

実施日時：令和 7 年 11 月 29 日（土）14：30 ～ 21：00
会　　場：1 階わくわく広場、3 階プラネタリウム、第 2 駐車場
主　　催：佐賀県立宇宙科学館
協　　力：一般社団法人 佐賀天文協会、「スターパーティ in 白木峰」実行委員会、
星の文化館天文クラブ「ティコ」、ふくおか天文クラブ「星ミンネ」、
大将陣スタードーム（飯塚）、九州大学地学研究部　他　（順不同）
参加者数：約 300 名
構　　成：

■「星座早見をつくろう」（小学 3 年生以下は保護者同伴）
・14：30 ～ 16：00　　34 個　15 組　53 名

■「スーパーボールロケット」
・14：45 ～ 16：00　46 個　84 名　定員 50 個　100 円 / 個
※混雑緩和のため 14：30 から 20 分おきに 6 回（8 名 / 回）にわけて整理券発行

■「小型望遠鏡を使ってみよう」（小学 3 年生以下は保護者同伴）
定員 4 組／回（事前予約、空きがあれば当日受付可）
① 14：30 ～ 15：15　1 組 2 名
② 15：30 ～ 16：15　2 組 5 名（1組当日受付）

■「マイ望遠鏡を使いこなそう」（小学 3 年生以下は保護者同伴）
定員 3 組／回（事前予約、空きがあれば当日持ち込み可）
① 14：45 ～ 15：30　2 組 6 名（国立天文台望遠鏡キット、CELESTRON　C8）
② 15：45 ～ 16：30　1 組 2 名（VISIONKING、口径 60㎜）

■プラネタリウム天文祭特別投映「今夜の星空散歩」
・17：00 ～ 17：40　　69 名（天文ボランティア 26 名含む）
会場：3 階プラネタリウム

■あつまれ！望遠鏡　～大・観望会～
・18：45 ～ 21：00（準備状況を見て、19 時開始予定を 15 分繰り上げて開催）
会場：科学館正面　第 2 駐車場
参加者：83 名（35 組、うち県外は 14 組）
持ち込み機材：30 台程度（事前登録は 23 台）

記録写真：



望遠鏡体験エリア



マイ望遠鏡使い方講座（セレストロンφ 200㎜）



スーパーボールロケット会場全体



スーパーボールロケット工作



星座早見工作



参加団体ポスター発表（3 階 PL ロビー）



大観望会①



大観望会②

（9）日本星景写真協会　第５回全国巡回写真展
「星の風景 2025 佐賀展」

開催期間：令和 7 年 12 月 20 日（土）～令和 8 年 2 月 1 日（日）
開催日数：44 日間、うち開館日は 35 日
会　　場：佐賀県立宇宙科学館　1 階企画展示室
主　　催：佐賀県立宇宙科学館、
　　日本星景写真協会
料　　金：無料（別途、要常設観覧料）
観覧者数：21,688 人



概　　要：

第 5 回巡回写真展「星の風景」では、日本星景写真協会（ASPJ）に所属する 30 名が国内外で撮影した写真、52 点を展示した。第 5 回巡回写真展は令和 6 年 1 月の倉敷展を皮切りに、全国 10 館を巡り、当館が最終地となった。当写真展は当館では第 2 回（平成 24 年）、第 3 回（平成 28 年）に引き続き 3 回目の開催である。（令和 2 年第 4 回はコロナ禍のため当館では中止、他館では実施）

展示物一覧：

①写真パネル 全紙サイズ 52 点（会期中展示入れ替えなし）
②協会あいさつパネル（A1 縦 1 枚）
③星景写真の撮り方解説パネル（A1 横 1 枚）
④ 70 インチ大型モニタ
　（出展写真 52 点、星景写真の紹介、ギャラリートーク告知のスライドショー上映）
⑤写真展看板（1,800㎜× 2,100㎜）

関連イベント：

特別イベントとして、長崎市在住の講師によるギャラリートークを開催した。
開催日時：令和 8 年 1 月 3 日（土）14：00 ～ 14：50
講師：竹之内貴裕氏（日本星景写真協会理事）
参加者数：45 人（予約不要）
参加者との距離も近く質問など会話をしながら会場内を巡り、予定していた 30 分間を超えて盛り上がっていた。一旦終了後も講師は在廊され、個別の質問や感想なども受けていただいた。

また、1 月 18 日（日）と 25 日（日）には、出展者である日本星景写真協会の榎本正和氏に在廊頂き、観覧者の対応や運営についてのアドバイスなどいただいた。

HP アドレス：https://www.yumeginga.jp/event/old/2025/sp_exhibition_aspj5.html

記録写真：



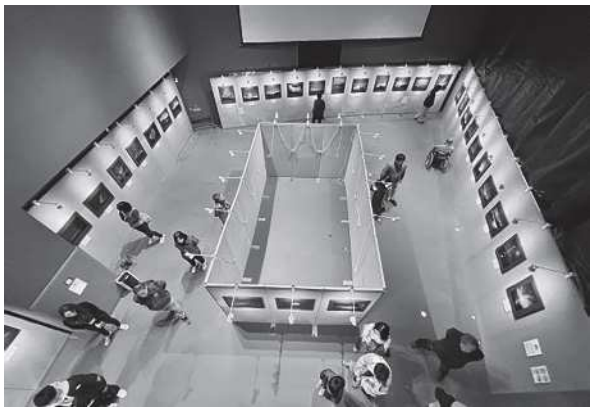
写真展入口看板



入口



展示室



来館者①



来館者②



ギャラリートーク①



ギャラリートーク②



ギャラリートーク③

（10） コマがテーマの科学の祭典「コマフェスタ」

期　　間：令和 7 年 12 月 25 日（木）～令和 8 年 1 月 12 日（月・祝）
会　　場：１階わくわく広場
主　　催：佐賀県立宇宙科学館
企画制作：佐賀県立宇宙科学館
概　　要：お正月にちなんだ「コマ」をテーマにした科学の祭典を開催した。
生活の中を見回すとさまざまなところにある「回る」という運動。回って動くものには、どのような力が働くのか等、ワークショップで「コマ」を作って・遊びながら学べる科学館ならではのフェスタである。親子で「遊びながら考える」を存分に楽しむことができる内容とした。



ワークショップ
期　間：12 月 25 日～ 28 日、1 月 2 日～ 4 日、1 月 10 日～ 12 日
時　間：① 10：00 ～ 11：30　② 13：00 ～ 14：30

○「マクスウェルのコマ」
ななめに傾いたまま回る不思議なコマを作った。
料金：100 円
・実績：期間中合計 622 個

○「ゆめぎんがゴマ」
回すと地球の周りを満ち欠けして見えるコマを作った。
料　金：50 円
・実績：期間中合計 653 個

（11）AR サイエンス・クイズミッション
Ｇバスターズ ゆめぎんがと暗黒の科学者

昨年度実施していた AR フォトクイズラリーは館内イベントに合わせた単発のイベントであった。今年度は年間を通した施策として行った。スマートフォンを用いたクイズラリーになっており、すべてのクイズ挑戦者には、オリジナル缶バッジをプレゼントした。

開催期間：令和７年６月７日（土）～令和８年２月 28 日（土）

第１期　ワラスボーン（ワラスボ）
令和７年 ６ 月 ７ 日（土）～令和７年 ７ 月 18 日（金）

第２期　ナイトロジン（窒素）
令和７年 ７ 月 19 日（土）～令和７年 ８ 月 31 日（日）

第３期　メテオライトン（流れ星）
令和７年 ９ 月 ５ 日（金）～令和７年 10 月 10 日（金）

第４期　キャプテン・ノーチラス（オウムガイ）
令和７年 ９ 月 ５ 日（金）～令和７年 12 月 19 日（金）

第５期　ダーク☆ウーたん
令和７年 12 月 20 日（土）～令和８年 ２ 月 １ 日（日）

第６期　ダークマター（暗黒物質）
令和８年 ２ 月 ４ 日（水）～令和８年 ２ 月 28 日（土）

会　　場：佐賀県立宇宙科学館　各ゾーン

参 加 者：総参加者　2,072 名

第１期　311 名
第２期　591 名
第３期　297 名
第４期　453 名
第５期　288 名
第６期　132 名



4-2. 外部組織との協力イベント

第 75 回佐賀県児童生徒理科作品展覧会

理科教育の振興と充実を図り、小・中・高等学校児童生徒の科学に対する創造性、研究能力の育成と向上を目指し、同時に保護者や一般の人々の観覧を願い、理科教育に対する理解を深めるために、広く県下の優れた理科作品の展覧会が開催された。

開催期間：令和7年 9 月 23 日（火・祝）～ 10 月 5 日（日）
9 月 22 日　設営・作品搬入・審査会　役員・理事・審査員等
10 月　4 日　表彰式　役員・特選受賞者
10 月　6 日　作品撤去　役員・理科主任等

開催日数：13 日（休館日を含めた日数）

会場：佐賀県立宇宙科学館 1 階　企画展示室、エントランスホール、わくわくひろば

主催：佐賀県理科教育振興会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀県立宇宙科学館、佐賀大学、佐賀新聞社、読売新聞西部本社、学研ホールディングス、（公財）市村清新技術開発財団、佐賀県発明協会

展示内容：研究物・創作物・製作品・標本

展示数：101 点（特選 53 点・入選 48 点）
＊審査対象は支部審査での作品 183 点の中から特選・入賞作品の 101 点を科学館に展示

展示会場：〈小学校の部〉エントランスホール、企画展示室
〈中学校の部〉わくわくひろば
〈高等学校の部〉エントランスホール

観覧者数：総入館者数：9,751 人



小学校 3 ～ 6 年生の部　展示


中学生の部　展示

4-3. その他の企画展示

ゆめぎんが プチ ミュージアム

No.	タ イ ト ル	展 示 期 間	場 所
1	夏の風物詩、セミの魅力に迫る!	7 月 19 日～ 8 月 31 日	佐賀発見プラザ
2	巨魚の衝撃　迫力のカジキ魚拓	9 月 23 日～ 10 月 5 日	佐賀発見プラザ
3	佐賀の哺乳類	10 月 18 日～ 12 月 14 日	佐賀発見プラザ
4	干支の生き物展 海馬（タツノオトシゴ）の不思議	12 月 23 日～ 1 月 25 日	佐賀発見プラザ
5	よく見るカモ、知らないカモ	2 月 4 日～ 4 月 5 日	佐賀発見プラザ

4-4. 特別催事

イベント　◯磁石で自由研究道場

毎年恒例のイベントとして実施していた自由研究道場を、実施した。今回は夏の企画展「マグネット」に合わせて、展示物に関連する工作 8 種類から選んで製作できるようにした。

実施日時：令和 7 年 7 月 19 日（土）～ 8 月 24 日（日）
① 10：00 ～ 11：30　② 12：30 ～ 14：00　③ 14：30 ～ 16：00
会　　場：1階地球発見ゾーン　ものづくり工房
材 料 費：50 円～ 300 円
参加者数：7,357 名　4,978 個
工作内容：①ガウス加速シューター　②紙コップ迷路　③クリップモーター　④スピンマグネット
⑤ドラミングきつつき　⑥電磁石つりざお　⑦へんしんマグネット　⑧電磁石トンネル

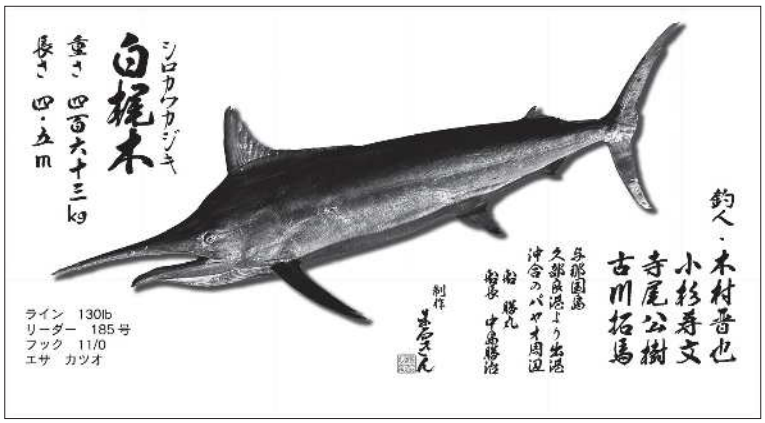




4-5. 巨魚の衝撃　迫力のカジキ魚拓

期間：令和 7 年 9 月 23 日（火・祝）～ 10 月 5 日（日）
場所：1 階 佐賀発見プラザ

プチ・ミュージアムの特別枠として、佐賀大学医学部の木村晋也教授らが所属する「釣り部」のメンバーが釣上げた巨大シロカジキ（体長 4.5m、体重 463kg）のデジタル魚拓を展示した。魚拓は原寸大で、展示パネルは、5m × 2.5m であった。



5. 館内教育活動

5-1. ゆめぎんがサイエンス教室

（1）科学教室

実施なし

（2）レンズ磨き教室

はるか彼方の星空や目に見えないほど小さな世界を知りたいという科学者の探究心を満たすため、レンズは科学及び科学技術の発展に大きく貢献してきた。そこで、レンズを自作するという経験を通じて、自分で何かを作ることの面白さを体感し、何かに挑戦してみようという気持ちを触発するきっかけになればと考え、自作したレンズで屈折式の 6.2 倍望遠鏡を製作するものである。

時　間：10：00 ～ 10：45
定　員：4 組
対　象：小学生以上の親子
材料費：500 円

実　施　日	参　加　人　数（人）	製　作　数（個）
5 月 18 日	4 組 12	8
6 月　8 日	4 組 16	9
7 月　6 日	4 組 14	7
9 月 28 日	4 組 10	6
1 月 25 日	4 組 15	8
合　計	20 組 67	38

（3）ものこわし教室

科学の進歩によって私たちの身の周りには便利なものがたくさんあふれており、今ではボタン 1 つで色々なことができる。これらの便利なものがどんな仕組みで動いているのか、多くの子どもたちに「構造や中身」について興味を持ってもらいたいと考え、コンパクトカメラをまるごと分解する【ものこわし教室】を開催した。なお、この教室は～親子プログラム～とし、親子での参加を条件とした。事前申し込み受付で親子 8 組を募集した。

時　間：10：00 ～ 12：00
定　員：8 組
対　象：小学生以上の親子
材料費：100 円

実　施　日	参　加　人　数（人）	製　作　数（個）
1 月 18 日	7 組 25	10

（4）天文教室

天文教室では普段興味のない方にも、広く天文・宇宙について興味関心を持っていただけるよう、天文や宇宙に関する開かれた教室を企画している。

タイトル：中秋の名月　～梶の葉に思いをのせて～
実施日：令和 7 年 8 月 30 日（土）
時　間：18：30 ～ 19：45
参加者：9 組 20 人

タイトル：大型熱気球を飛ばそう
実施日：令和 7 年 11 月 2 日（日）、3 日（月・祝）
時　間：① 10：15 ～ 11：00　② 14：45 ～ 16：00
参加者：11/2　① 3 組 13 人、② 8 組 30 人
11/3　① 3 組 10 人、② 6 組 14 人　　計　67 人


中秋の名月・茶会の様子①


中秋の名月・茶会の様子②


大型熱気球・機体製作の様子


大型熱気球・機体打ち上げの様子

5-2. ワークショップ

（1）わくわく広場

自由に参加しながら科学を体験出来るイベントを土日祝に行った。

実　施　日	テ　ー　マ	内　　容	参加人数（人）
6月　7日～ 6月29日	≪水フェスタ≫ シャボン玉実験ショー	身近な道具や材料を使ったいろいろなシャボン玉や、巨大シャボン玉の作り方をショーの中で紹介した。	1,493
9月　6日～ 9月　7日	≪ソラフェスタ≫ すれすれスライダー	表面効果を利用して地面から少し浮いて走るおもちゃを作った。	161
9月　6日～ 9月21日	≪ソラフェスタ≫ スーパーボールロケット	スーパーボール2個を組み合わせた発射台を使って、ストローのロケットが飛ぶおもちゃを作った。	1,656
11月30日～ 12月21日	カタコトゆきだるま	輪ゴムの力で四角いタイヤを回し、カタコトと左右に揺れながら進むゆきだるまを作った。	336
12月25日～28日、 1月　2日～　4日、 1月10日～12日	≪コマフェスタ≫ ゆめぎんがゴマ	回すと地球の周りを月が満ち欠けして動いているように見えるコマを作った。	653
12月25日～28日、 1月　2日～　4日、 1月10日～12日	≪コマフェスタ≫ マクスウェルのコマ	ななめに傾いたまま回り、棒の先の針金の形に添って動く不思議なコマを作った。	622

（2）青空天文台

天文台の日中の有効活用及び県民が星空を体験する機会の充実を図るため、20cm 屈折望遠鏡等を使って、太陽や月、惑星や1等星など昼間に見ることができる天体の観察を行った。休日・祝日は、雨天や曇天時も天文台を公開し、望遠鏡や太陽、昼間の星についての解説を実施した。10 月 24 日ゾンビランドサガ劇場版公開後は平日の天候不良時も天文台を公開した。

【実施状況の表記】

開催期間：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

開催時間：午前 太陽観察、午後 太陽観察、昼間の星

会　　場：《ゆめぎんが》天文台

概　　要：昼間に見ることができる天体の観察。

構　　成：
- ● 4 月　太陽、月、火星、木星、シリウス、ベテルギウス
- ● 5 月　太陽、月、木星、シリウス
- ● 6 月　太陽、月、火星、アークトゥルス、シリウス
- ● 7 月　太陽、月、火星、アークトゥルス
- ● 8 月　太陽、アークトゥルス、ベガ
- ● 9 月　太陽、アークトゥルス、アンタレス、ベガ
- ● 10 月　太陽、月、アークトゥルス、アルタイル、ベガ

● 11 月　太陽、月、土星、アークトゥルス、アルタイル、ベガ
● 12 月　太陽、月、土星、アルタイル、ベガ
● 1 月　太陽、月、土星、アルタイル、ベガ、
● 2 月　太陽、月、土星、木星、カペラ、ベガ
● 3 月　太陽、月、木星、カペラ





(3) ものづくり工房

仕組みや原理のわかる簡単工作を工作ワークショップとして行った。
期間中の土日祝日に 1 日 1 回実施した。

実　施　日	テ　ー　マ	内　　容	参加人数（人）
5 月 10 日～ 6 月　1 日	パックン☆へび	磁石の力で、へびがえさにくいつくようなおもちゃを作った。	128
合　　計			128

(4) ケミカルラボ

身近なもので楽しい科学実験を実験ワークショップとして行った。
期間中の土日祝日に 1 日 2 回実施した。
「スライムをつくろう!」と「化石キーホルダーづくり」は、1 日 4 回実施した。
「バイカラーボトル」は、6 月 14 日より 1 日 3 回実施した。
「磁性スライム」は夏休み期間毎日、1 日 6 回実施した。

実　施　日	テ　ー　マ	内　　容	参加人数（人）
5 月 10 日～ 6 月　1 日	スライムを つくろう！	固体でも液体でもない不思議な物体のスライムをつくった。	248
6 月　7 日～ 6 月 29 日	≪水フェスタ≫ バイカラーボトル	二つの色が分離するバイカラーボトルをつくった。	174
7 月 12 日～ 8 月 31 日	磁性スライム	磁石にひきよせられる不思議なスライムをつくった。	2,151
10 月 18 日～ 11 月 24 日	化石キーホルダー	お湯に入れるとやわらかくなるプラスチックで、アンモナイト化石のレプリカキーホルダーをつくった。	442
合　　計			3,015

（5）佐賀発見ゾーン

実　施　日	タイトル	内　　容
毎日２回	エサやり体験	展示している魚にエサを与える体験コーナー。
土日祝２回	佐賀発見ゾーン いきものトーク	科学館スタッフが得意とする分野をテーマに、佐賀の自然の魅力を紹介する。自然観察ルームでの講義形式。

6. アウトリーチ活動

6-1. 支援事業（ゆめぎんがプログラム）

（1）出張教室

出張教室は、アウトリーチ活動の一環として学校や地域・団体からの要請により、館内での活動を基にプログラムを作成して館外で実施する活動で、当館の目的を広く地域へ展開していくことを目的として実施した。

受付No	実施日	団体名	学　年	内　容	参加人数	実施場所
1	5月28日	たかきせこども園	幼児	シャボン玉 実験ショー	76	体育館
2	6月　5日	伊万里市立 東山代小学校	6年生	燃焼・爆発 実験ショー	64	
3	6月13日	佐賀市立 西川副小学校	5年生	超低温 実験ショー	41	体育館
4	6月26日	伊万里市立 伊万里小学校	4年生	超低温 実験ショー	85	体育館
5	9月17日	佐賀市立 巨勢小学校	3年生	超低温 実験ショー	58	音楽室
6	9月25日	唐津市立 高峰小学校	3年生	超低温 実験ショー	19	多目的室
22	9月27日	武雄小学校 一年生学年部会	1年生		70	
7	10月　1日	嬉野りすの森 保育園	幼児	シャボン玉 実験ショー	37	
8	11月　7日	佐賀市立 富士小学校	4年生	燃焼・爆発 実験ショー	11	理科室
9	11月20日	鳥栖市立 基里小学校	4年生	超低温 実験ショー	55	体育館
10	11月27日	佐賀市立 日新小学校	5年生	超低温 実験ショー	58	体育館
11	11月28日	龍谷こども園	幼児	シャボン玉 実験ショー	170	
12	12月　3日	佐賀市立 赤松小学校	2年生	シャボン玉 実験ショー	86	体育館
24	12月12日	エミールこども園	幼児	シャボン玉 実験ショー	120	
13	12月16日	鹿島小学校	5年生	燃焼・爆発 実験ショー	100	体育館
14	12月17日	佐賀女子短期大学付属 ふたばこども園	1～6歳	シャボン玉 実験ショー	250	ホール
15	1月28日	海童保育園	幼児	シャボン玉 実験ショー	46	

(2) 館内プログラム

館内プログラムは、特に時間や人数の制限のため一般のワークショップ等へ参加しにくい団体向けの専用プログラムとして企画し、来館実施ではあるが、出張教室と同様に当館の目的を広く展開していくアウトリーチ活動の一環として実施した。

受付No	実施日	団体名	学　年	カリキュラム名	希望内容	参加人数	備　考
2	5月31日	相知小学校	2年生		エアシューター（材料）		
1	6月20日	誠櫻幼愛園	年長	園外保育	シャボン玉実験ショー	27	幼稚園・保育園
4	10月10日	南波多郷学館	5・6年生	理科の校外学習	燃焼爆発実験ショー	37	
3	10月17日	塩田小学校	1・2年生		シャボン玉実験ショー	34	
5	12月20日	ZLS募集型ツアー	一般		天文台、プラネタリウム見学	24	
6	1月17日	ZLS募集型ツアー	一般		天文台、プラネタリウム見学	40	
7	1月24日	ZLS募集型ツアー	一般		天文台、プラネタリウム見学	45	
8	1月31日	ZLS募集型ツアー	一般		天文台、プラネタリウム見学	52	
9	2月　6日	塩田小学校	6年生		化石レプリカづくり	20	

6-2. 連携事業

（1）南極・昭和基地から国立極地研究所連携機関へ同時生中継イベント「南極・昭和基地ライブトーク 2025」



当館は平成 23（2011）年 10 月より、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（以下、極地研）と広報普及を目的とした連携協定を締結している。極地研主催で国内の科学館・博物館等の機関と南極・昭和基地をオンラインで繋ぎ、第 66 次南極地域観測隊の越冬隊員と参加機関の来館者に活動を紹介する、双方向型イベント第 2 部の 7 月 26 日（土）実施分に応募し、開催した。昨年は初めてということもあり当日受付のみとしたが、今回はホームページから参加者の事前申し込みを行い、申し込み時に南極隊員への質問をコメント欄に記入してもらった。7 月 14 日（月）の接続テストを経て、当日を迎えたが、事前に質問内容と質問者を決めることができたので、極地研広報室にお伝えし、昭和基地の隊員と共有していただくことができた。また、質問者には当日受付でお願いし、快諾いただいた。

ライブトークでは昭和基地側の接続トラブルがあったものの、つながった後は順調で、最初に第 66 次隊がどのような道のりで昭和基地までたどり着いたか紹介する動画を視聴、そのあと調理担当の横田隊員から昭和基地での食事事情などスライドを交えて説明があり、1人当たり1トンの食事を南極に持ちこんでいること、葉物野菜は基地内の工場で栽培していることなどご紹介いただき、参加者からは驚きの声が上がっていた。質問コーナーでは各館3問ずつ質問があり、主に共催館のある地域出身の越冬隊員が交代で回答した。参加者からはお帰りの際に「南極昭和基地の様子がよく分かった」、「楽しかった」など、好意的なコメントをいただいた。またイベントに先立ち、極地研から南極観測のパンフレット 2 種類各 200 部および南極の氷の提供があった。パンフレットは参加者に配布したのち、図書室で配架している。南極の氷は、夏の企画展「マグネット 磁石のふしぎなサイエンス」期間中、−20℃の部屋で展示している。今後も機会があれば応募し、来館者に南極・昭和基地との中継体験を提供したい。

開催日時：令和 7 年 7 月 26 日（土）　15：00 ～ 16：00
会　　場：1 階　ガイダンス室
主　　催：国立極地研究所
共　　催：佐賀県立宇宙科学館、愛媛県総合科学博物館、立山カルデラ砂防博物館、
　　名古屋市科学館、稚内市青少年科学館
構　　成：14：50　事前申し込み参加者受付、当日参加者受付
　　15：00　館よりイベントのスケジュールなどの紹介
　　15：10　極地研よりイベントの紹介、参加機関と接続確認を兼ねたやりとり
　　15：15　昭和基地との中継、参加機関の来館者からの質疑応答
　　16：00　中継終了、極地研よりイベント終了コメント、接続終了
　　16：05　館より−20℃の世界の南極氷、昭和基地ライブ映像の紹介
　　8 月 2 日中垣氏オーロライベントの紹介
参 加 者：一般参加者（事前申し込み）　30 名、（当日受付）2 名、スタッフ　8 名　　計 40 名





会場の様子

質問者1：南極で初めて星を見たときの感想を教えてください。
回 答 者：東海林隊員

カメラで星空を撮影したら流れ星が偶然撮影出来た…など星空の思い出をお話しいただいた。





質問者2：南極に温泉があるって本当ですか？
回 答 者：臼田隊員

昭和基地の近くではありませんが、天然の温泉があると回答いただいた。





手を振ってお別れ

質問者3：南極に方位磁石をもっていくとどうなりますか？
回 答 者：藤田越冬隊長

西に 50 度くらいずれること、極では下の方を向くこと、船の上では磁針がぐるぐる回るのが見られることもある…など回答いただいた。

（2）地域団体等との連携

①武雄温泉保養村会

武雄温泉保養村会の会員として、地区内の活性化、地域振興を目的に行事やイベント等の活動を積極的に行った。今年度も宇宙科学館正面のせせらぎプロムナード一帯で令和７年５月23（金）～６月８日（日）までをホタルの観賞期間とし、５月25日（日）にはほたる祭りイベントを開催した。

また、冬期はせせらぎプロムナード周辺の生態系保護、自然環境保全のため、同年11月17日（月）に小川の整備作業を実施した。



ほたる祭り



ほたる祭りでワークショップを開催

②西九州新幹線開業３周年記念「GO WEST Ⅲ」無料シャトルバス運行」

西九州新幹線開業記念イベントの開催に合わせ、JR武雄温泉駅南口と武雄市図書館前、当館（武雄温泉保養村）を結ぶ無料シャトルバスを運行し、利便性向上等を図った。

運　行　日：令和７年９月６日（土）
共　　催：一般財団法人武雄市観光協会、佐賀県立宇宙科学館
協　　力：JR九州株式会社、朝日I&Rホールディングス株式会社
運行台数･本数：貸切バス２台（貸切車両、路線転用）・18本
運 行 委 託：JR九州バス株式会社





乗 車 実 績：武雄温泉駅→当館223名、武雄市図書館→当館12名
当館→武雄温泉駅203名、当館→武雄市図書館25名

③音楽のまちづくりプロジェクト 2025

武雄市と武雄市文化協会による文化のまちづくり構想具現化事業として武雄市内各所で行われている「音楽のまちづくりプロジェクト 2025」が当館で開催された。

開催日時：令和 7 年 10 月 5 日（日）17：00 ～ 17：45
会　　場：3階プラネタリウム
主　　催：武雄市文化協会
※会場のプラネタリウムを武雄市、武雄文化協会へ貸切使用として提供
タイトル：プラネタリウムコンサート ～星たちが奏でる音色～
料　　金：大人 1,000 円　高校生 500 円　中学生以下 無料
出 演 者：長崎 OMURA 室内合奏団 木管五重奏
観 覧 者：大人 113 名　高校生 2 名　中学生以下 27 名





(3) 館長講演

No	実施日	内　　容	依頼者	実施場所	氏　名
1	11 月 11 日	日本の宇宙開発、 過去・現在・未来	武雄市 商工会議所	佐賀県立 宇宙科学館	鈴木明子
2	10 月 11 日	巡回展 「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」 オープニング特別イベント、 クロストーク 「われわれはどこから来て、どこへ行くのか」	佐賀県立 宇宙科学館	佐賀県立 宇宙科学館	鈴木明子
3	11 月 11 日	宇宙開発、 過去・現在・未来	武雄市 商工会議所	佐賀県立 宇宙科学館	国立科学博物館館長 篠田謙一 氏 MC あまり 氏 鈴木明子
4	11 月 12 日	佐賀県理系人材育成事業 キミノミチ発見ラボ 「宇宙開発という仕事」	佐賀県 産業労働部 ものづくり 産業課	唐津市立 浜玉中学校	鈴木明子

(4) 講師派遣

No	実施日	内　　容	依頼者	実施場所	氏　名
1	10 月 31 日	季節の星を観察しよう	弥生が丘 まちづくり 推進センター	弥生が丘 まちづくり 推進センター	鍵山未明 木村朱里
2	11 月 9 日	ひらめき☆ときめきサイエンス 「25' ムツゴロウってどんな魚？ 科学の視点で見てみよう！」	佐賀大学 教育学部	佐賀大学	山下岳雄
3	12 月 12 日	季節の星を観察しよう	鳥栖 まちづくり 推進センター	鳥栖 まちづくり 推進センター	鍵山未明 木村朱里

6-3. 教育事業

(1) 学芸員実習

毎年、学芸員資格取得を希望する大学生に対して、科学館の概要や学芸員の役割等について理解を深めてもらうとともに、展示や普及活動等の実習をとおして、必要な知識技能の習得を目的に学芸員実習を実施している。

No	実施日	日　数	学校名	学　年	参加者
1	9月17日～23日	7日間	福岡大学	4年	2名

(2) 職場体験

学校教育の支援・連携及び科学館業務への理解促進のため、各学校からの依頼に応じて中学生の職場体験学習を受け入れた。

No	実習期間	日　数	学校名	学　年	参加者（人）
1	8月28日～29日	2日間	武雄市立 川登中学校	2	2
2	9月11日～12日	2日間	武雄市立 山内中学校	2	4
3	9月24日～25日	2日間	神埼市立 千代田中学校	2	1
4	9月25日～26日	2日間	太良町立 多良中学校	2	4
5	10月30日～31日	2日間	武雄市立 武雄中学校	2	3

(3) 教職員体験研修

教職員の資質及び指導力の向上のために佐賀県教職員3年経験者の体験研修を受け入れた。

No	実習期間	日　数	学校名	学　年	参加者（人）
1	7月28日～29日	2日間	武雄市立 御船が丘小学校	企画展示の 運営補助 館内教育活動	1
2	8月　4日～　5日	2日間	武雄市立 武雄中学校		1
3			武雄市立 武雄北中学校		1
4	8月　6日～　7日	2日間	伊万里市立 伊万里中学校		1

7. 情報提供サービス

7-1. デジタルツールによる情報提供

情報提供のツールとして公式ホームページや、X（旧ツイッター）、YouTube、Instagram などに積極的に発信を行った。SNS とホームページにリンクを張るなど、公式ホームページに SNS の発信情報を統合する機能を持たせるよう目指した。

YouTube にはビーコロ展や企画展の準備の様子を動画で紹介したほか、劇場版「ゾンビランドサガゆめぎんがパラダイス」の聖地紹介 11 本を配信し、アクセスを増やした。毎週土曜日の天体観望会はホームページと X で開催か中止かを告知、駐車場の混雑状況もお知らせするなど速報用にデジタルツールとして活用した。



7-2. 図書室

図書室では、宇宙・科学・自然の分野を中心に図書や雑誌を取り揃え、宇宙科学館の各ゾーンでの来館者の疑問や更なる探求心に応えるため、閲覧ができるようにしている。

図書　6,773 冊（内寄贈：867 冊）
令和 8 年 3 月末日現在

小さなお子様にも本に親しんでもらえるよう絵本コーナーを整え、館内の企画展やイベントに関する本を紹介した。今後も利用者の要望に応えられるよう図書等の充実を図るとともに、館内のイベントに対応するコーナーを設けるなど利用者の便宜を図っていく。





8. 友の会活動

平成 13 年 6 月に、「科学に対する興味と関心を高めると共に、科学する心を養う」ことを目的に発足した友の会「ゆめぎんがクラブ」は 23 年を迎えた。

令和 8 年 3 月末現在、358 グループ、834 名の方が加入されている。令和 7 年度は昨年に引き続き、活動を実施することができた。

令和 7 年度の活動内容は下記の通りである。

項　　目	内　　容
発行物・郵送物	友の会通信（3 回） 入会キャンペーン（1 回） 企画展、イベント・特別教室チラシ（開催毎）
（会員 先行案内） イベント	○みんなで描こう宇宙の絵 2025/8/3（金）13：00 ～ 15：30 内　　容：1.「宇宙の日絵画コンテスト」の簡単な紹介 2. 館長挨拶 3. 審査員先生、武雄高校ボランティア生徒の紹介 4. 当日のスケジュールの案内 5. 宇宙発見ゾーンの見学 6. 絵画の作成 参 加 者：19 名（会員の参加者 9 名） ま と め：今回、会員先行予約をおこない実施しました。 審査員の先生からアドバイスをもらえるため、福岡県や長崎県からも参加してくださいました。また、武雄高校美術部の生徒さんがボランティアでお手伝いをしていただき、温かな雰囲気の中、イベントが開催できました。 ま と め：絵画を返却した際、また来年もスケッチ会を希望される声もいただきました。 今後も多くの会員の方に参加していただける内容のイベントを、実施していきたいと思います。

記録写真：







みんなで描こう宇宙の絵

9. 調査研究

9-1. 宇宙科学館周辺の生物調査

（1）カスミサンショウウオの産卵状況調査

平成14年度から継続しているカスミサンショウウオの産卵状況調査を、令和7年度も実施した。当館南東側の山すその湿地がカスミサンショウウオの産卵地となっており、令和8年1月2日から3月31日までに合計83卵塊を確認した。1月は雨量が少なく、調査地の水量が少なかったので、幾度となく水を補充した。その後、2月下旬より雨が続き、水の濁りが多く水位が高いまま3月下旬まで産卵が継続された。

年　　度	産卵開始確認日	総卵塊数	年　　度	産卵開始確認日	総卵塊数
平成14年度	1月　9日	115	平成26年度	1月10日	182
平成15年度	1月19日	102	平成27年度	12月24日	155
平成16年度	1月　6日	111	平成28年度	12月23日	144
平成17年度	1月18日	124	平成29年度	1月14日	116
平成18年度	1月20日	134	平成30年度	1月16日	168
平成19年度	1月14日	127	令和元年度	12月26日	110
平成20年度	12月24日	130	令和2年度	1月　4日	94
平成21年度	12月17日	149	令和3年度	1月26日	142
平成22年度	2月12日	120	令和4年度	1月17日	183
平成23年度	1月22日	137	令和5年度	1月17日	163
平成24年度	12月20日	152	令和6年度	2月　5日	126
平成25年度	1月11日	135	令和7年度	1月　2日	83

（2）武雄市保養村周辺のゲンジボタルの生息状況調査

佐賀県立宇宙科学館が位置する武雄温泉保養村は佐賀県武雄市に滞在・体験型の保養型観光地として整備された区域である。この保養村内には農業用にため池をつなぐ水路があり、初夏にはゲンジボタルが飛び交うため、ホタル観賞地として多くの観光客が訪れる。

令和7年度の調査は、令和7年5月14日から6月6日にかけて計9回行い、成虫の発光数をカウントした。発光数は最大で318、累計で1,889であった。

（3）武雄市保養村池ノ内湖のカモ飛来数調査

今年度より、佐賀県立宇宙科学館と同じく保養村内に位置する池ノ内湖にて、令和 7 年 12 月 4 日から令和 8 年 3 月 31 日までカモの飛来数調査を行った。

池ノ内湖では、貯水量 580 千㎥、現在では一級河川である六角川の農地 156 ヘクタールにおよぶ水田や畑の灌漑を支える役割を果たしている。また、冬期は水鳥が訪れ、休息や採餌等を行っている。

令和 7 年度の調査では、マガモ：1,486、ヒドリガモ：4,291、ヨシガモ：1,628、ホシハジロ：861、キンクロハジロ：631、コガモ：75、ハシビロガモ：27、オカヨシガモ：18、トモエガモ：3 の累計 9,020 羽がカウントされた。

（4）六角川に迷い込むスナメリの救出活動

日時：令和 8 年 3 月 14 日（土） 午後 1 時頃

武雄市の農業男性から同市高橋排水機場の樋門近くに、動けなくなっている海洋生物がいるとの連絡を受けた。当館のスタッフ 3 人が現場に行ったところ、背びれがないイルカであったことから、スナメリが迷い込んだとみて、救出に当たった。

胴長姿のスタッフが腰までつかりながら潟の浅瀬に乗り上げているスナメリを持ち上げ、水深のある場所まで連れて行くものの、すぐに河床の石などに引っかかるなどしたため、約 500 メートル先まで同作業を繰り返し、深くなったところで放流した。



9-2. 普及活動

調査研究書の作成

前年度の年間を通した活動の中で調査研究した事柄について取りまとめ、調査研究書として作成し、県内の小中高校及び関係機関へ配布した。

10. 資料の収集調査・保存

10-1. 県立博物館職員との資料収集

（1）寄贈

複数の佐賀県産資料が新たに寄贈された。いずれも県内外の愛好家らによって調査研究に用いられた。

- ハイイロイボサシガメ　　1点
- 武雄市産水生昆虫類　17点
- オオアカホシカメムシ　　1点
- アリアケシラウオ　　1点（2個体）

（2）購入

令和7年度の購入なし

（3）その他

- 新佐賀県植物目録（仮）に関する植物標本の収蔵資料化に向けての整理

  佐賀植物友の会と調整を図りながら分類群ごとに整理・資料化（台紙貼り）を行っている。

- 故市場氏昆虫標本の収蔵資料化に向けての整理

  約20,000点の資料を分類群ごとに同定・整理を行っている。

- 唐津市海岸に漂着オサガメ個体の資料調査

  令和4年9月に唐津市海岸に漂着・埋設されたオサガメについて調査をするため水産庁に届出を行った。漂着発見から約1年半後の令和6年3月に掘出し作業を行い、骨を採集した。今後、骨格標本として活用を行うため保存および標本化（脂抜き他）の作業を進めている。

- 佐賀県内における収集調査

  県内各地での魚類の展示用生体の採集・標本化を行っている。また、ホタル類の調査・標本化を行っている。

10-2. 資料の保存

（1）資料の保存（害虫駆除等実績）

ア　収蔵庫ガス燻蒸処理

収蔵資料（標本および図書など）を良好な状態で保管するため、薬剤による燻蒸処理を行った。

施工期間：令和7年9月1日（月）～9月4日（木）（4日間）
場　　所：地下1階生物収蔵庫、地学収蔵庫、特別収蔵庫、液浸庫
使用薬品：ヴァイケーン（フッ化スルフリル）24時間密閉燻蒸
備　　考：テストサンプル（成虫、蛹、幼虫、卵）を使用した燻蒸処理の効果判定を実施

イ　その他

・温湿度のモニタリング

・文化財害虫の定期調査（毎月）

・標本資料の館共通ラベル添付

館収蔵標本の所在を確認しながら、館共通のコレクションラベルを添付している。

今年度はこのうち昆虫類の標本（約 35,000 点）についてラベル添付を進めている。

・収蔵資料の整理

収蔵庫のスペース確保の為、散逸した資料の集約・分類を進めている。

（2）資料の活用

ア　館内利用

・企画展示室「マグネット　磁石の不思議のサイエンス」鉱物標本 9 点

・プチ・ミュージアム

「佐賀のセミ」令和 7 年 7 月 19 日～ 8 月 31 日　昆虫標本 44 点

「佐賀の哺乳類」令和 7 年 10 月 18 日～ 12 月 14 日　哺乳類剝製 11 点

「干支の生き物展」令和 7 年 12 月 23 日～令和 8 年 1 月 25 日　植物標本 2 点、昆虫標本 8 点

「よく見るカモ、知らないカモ」令和 8 年 2 月 4 日～令和 8 年 4 月 5 日　鳥類剝製 5 点

イ　資料の貸出

・佐賀県立博物館常設展「佐賀の歴史と文化」

玄武岩等標本類　115 点（地学標本 74 点、生物標本 41 点）

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

・学校法人　成城学園　学内施設「恐竜・化石ギャラリー」

プリオサウルス頭骨標本（レプリカ）1 点

令和 3 年 3 月 1 日～（現在）

・早稲田大学国際教養学部　研究目的　化石標本 1 点

令和 3 年 1 月 25 日～（現在）

・佐賀県立博物館「先生のための博物館・美術館講座」、「博物館実習」

植物標本　15 点

令和 7 年 7 月 23 日～令和 7 年 9 月 5 日

・国立科学博物館　企画展「昆虫　MANIAC（マニアック）」

昆虫標本　4 点

令和 7 年 6 月 21 日～令和 8 年 2 月 17 日

・東京大学綜合研究博物館　研究目的　化石標本 1 点

令和 7 年 8 月 1 日～（令和 9 年 3 月 31 日）

・佐賀県立博物館テーマ展「自然遺産」

植物標本　24 点、昆虫標本　10 点

令和 8 年 1 月 5 日～令和 8 年 3 月 9 日

・長崎市恐竜博物館　研究目的　化石標本　3 点

令和 7 年 11 月 16 日～令和 8 年 1 月 3 日

・福井県立大学恐竜学研究所　研究目的　化石標本　1点
令和8年1月30日～（令和8年6月30日）
・九十九島水族館　企画展「THE サメ展」　化石標本　4点
令和8年3月5日～（令和8年5月19日）
・佐賀県立博物館　テーマ展　「常設逸品展」
植物標本、植物画、昆虫標本　計29点
令和8年3月2日～令和8年6月22日

ウ　館外利用

・県民カレッジの集い　佐賀県立生涯学習センター　化石標本　16点
令和7年12月7日

エ　その他

・佐賀県事業「指定文化財管理費補助事業」文化財パトロール
唐津市加部島における暖地性植物群落に関する植物標本情報の提供・現地調査

11. 視察・研修及び他団体との交流

11-1. 加入団体

全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、日本プラネタリウム協議会（JPA）、公開天文台ネットワーク（JAPOS）、佐賀県博物館協会、佐賀県理科教育振興会、日本ミュージアム・マネージメント学会、KU-MA 子ども・宇宙・未来の会、日本サイエンスコミュニケーション協会

11-2. 参加研修会・総会及び視察

○佐賀県理科教育振興会 理事会・総会　令和 7 年 6 月 12 日
佐賀県教育センター　参加：児玉　尚之

○日本プラネタリウム協議会総会全国プラネタリウム大会　令和 7 年 6 月 16 日～ 18 日
大阪市科学館・大阪中之島美術館　参加：鈴木　明子館長、堤　紀子

○日本公開天文台協会全国大会　令和 7 年 7 月 1 日～ 3 日　徳島市　参加：鍵山　未明

○第 78 回佐賀県児童生徒理科研究発表会役員研修会　令和 7 年 11 月 8 日
塩田中学校　参加：児玉　尚之

○日本プラネタリウム協議会全国プラネタリウム研修会　令和 7 年 11 月 16 日～ 18 日
仙台市天文台　参加：岸田　竜

○日本ジャイアントスクリーン協会 JGSS フィルムフェスティバル　千葉市科学館
令和 7 年 11 月 25 日～ 27 日　参加：鈴木　明子館長、堤　紀子

○佐賀県博物館協会研修会　佐賀県立博物館・美術館
令和 7 年 11 月 19 日　参加：萩原　宙

○応用生態工学会九州地区事例・研究発表会　九州大学
令和 8 年 1 月 19 日　参加：伊藤　辰徳、山下　岳雄

○日本プラネタリウム協議会九州沖縄ワーキンググループ研修会　鹿児島市
令和 7 年 1 月 27 日～ 28 日　参加：鍵山　未明

○全国両生爬虫類研究会第 16 回大会総会　唐津市民交流プラザ
令和 8 年 2 月 22 日～ 23 日　参加：伊藤　辰徳

○全国科学館連携協議会九州ブロック会議　大分県国東市
令和 8 年 2 月 26 日　参加：木村　朱里

○ドームクリエーションワークショップ成果発表・Immersive Dark Night vol.9　プラネタリア YOKOHAMA
令和 8 年 2 月 25 日～ 26 日　参加：堤　紀子

○第 11 回いきものと緑のサポーターミーティング　佐賀市ほほえみ館
令和 8 年 3 月 28 日　参加：伊藤　辰徳

○世界自然保護基金ジャパン、久留米市環境部公開講座　久留米市
令和 8 年 3 月 18 日　参加：中村　安弘

12. 広報・誘客事業

当館の活動を県内外に広く紹介し、利用の拡大につなげるため、県内はもとより近隣県へ各種広報活動・情報発信を行った。

12-1. 広報活動

科学館認知度向上と来館者数増加を目的として、館内の企画展やイベントの開催情報を県内外のメディア、新聞や雑誌、WEB 媒体等へ積極的に情報提供を行った。また、2025 年 1 月にリニューアルしたホームページでは、イベント情報に加えて活動紹介の発信や多言語対応機能を追加する等、利用者の活用幅を広げた。閲覧者の増加にも取組み、SNS の配信からホームページへ誘導するよう工夫した。広報資料としては、各企画展等のチラシ・ポスターを作成し、県内教育委員会を通じて県内の児童生徒等への配布や県外施設への送付による案内依頼を行った。

県や近隣市町の観光関連団体や企業と連携が積極的な活動につながり、地元観光を含めた誘客にも努めた。

また、アニメ劇場版の舞台となったことで、「聖地巡礼」として初めて当館へ来館するファンが科学館全体を巡る仕組みを提供する等、科学館の魅力を知ってもらう工夫をした。

オリジナルキャラクター（ゆめぎんが★ウーたん）を活用した広報活動は、館内や県内のみならず、県外イベントにも活動域を拡大して参加したことによる認知度の広がりが、ミュージアムショップのぬいぐるみ売上の増大する成果にもつながった。

その他にも、宇宙食体験イベントやビーコロワークショップの開催など、幅広い顧客層に対応する活動を館内外問わず活発に行い、科学館の活動紹介に努めた。







（左上）劇場版アニメの舞台となり、館内展示やPR 用の T シャツでお出迎え
（左下）園児とコーラスグループで七夕飾りつけ
（上）館内でのゆめぎんが★ウーたんとのふれあい

①誘客広報

項　　目	内　　容
県広報等の活用及び県観光課との連携	・県広報紙（県民だより、さがすき等）へのイベント情報掲載 ・テレビ・ラジオ広報（佐賀県広報広聴課との連携　他） ・商業施設内での広報広聴課枠でのポスター掲示 ・県観光連盟ウェブサイトあそぼーさが、佐賀県親子向けウェブサイト、冊子等掲載 ・ショッピングセンター等へのポスター掲示（県広報広聴課） ・修学旅行ガイドブック、佐賀県観光素材集等掲載（県観光課、県観光連盟） ・佐賀インターナショナルバルーンフェスタ ブース出店（県観光課）
市広報等の活用	・市広報誌（武雄市報等） ・武雄市観光協会ウェブサイト、デジタルサイネージ、チラシ等掲載
新聞取材への協力・情報提供	【4月掲載】 ・ゆめぎんが通信（「ゆめぎんが通信」の意義について） ・武雄朝メシ会 ・春の企画展　ビーコロ×おもちゃ展 【5月掲載】 ・ゆめぎんが通信（JAXAGA SCHOOL 活動）（分野横断の企画「水フェスタ」） ・SORA-Q 体験会（スペースパーク） 【6月掲載】 ・海苔の秘密まるごと体験会（特別イベント　有明海漁協大詫間支所連携） ・水フェスタ ・ゆめぎんが通信（「見えないチカラに迫る～「マグネット」開幕」） 【7月掲載】 ・夏の企画展 マグネット ・ゆめぎんが通信（「わたしたちの豊かな暮らしを支えている「磁石」」） ・2025 お出かけ特集記事 【8月掲載】 ・何でもランキング「大人もいきたい科学館ランキング」 ・ゆめぎんが通信（「プラネタリウム誕生 100 年」） 【9月掲載】 ・こども記者の科学館取材記事 ・ゆめぎんが通信（JAXAGA SCHOOL「宇宙飛行士らの専門的な授業も」） ・理科作品展審査会開催 【10 月掲載】 ・国立科学博物館 巡回展「WHO ARE WE」 ・国立科学博物館 巡回展 オープニングセレモニー・科博篠田謙一館長講演会開催 ・ゆめぎんが通信（「標本たちの神秘に触れて」科博巡回展） ・劇場版「ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス」聖地紹介等関連記事 ・来館者 600 万人達成セレモニー開催 【11 月掲載】 ・国立科学博物館 巡回展「WHO ARE WE」 ・劇場版「ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス」聖地紹介等関連記事 ・ゆめぎんが通信（「秋の夜長 星空を見上げてみませんか」～天文祭）

項　　目	内　　容
	【12 月掲載】 ・星景写真展開催 ・宇宙の日絵画コンテスト表彰式 ・まちかどカレンダー記事掲載 ・ゆめぎんが通信（「新しい知識に触れ目輝く」～いきものトーク） 【1 月掲載】 ・プチミュージアム「干支の生きもの」 ・ゆめぎんが通信（「自ら聖地紹介動画を制作」～ゾンビランドサガファン向けに） 【2 月掲載】 ・ゆめぎんが通信（「よく見るカモ、よく知らないカモ」） 【3 月掲載】 ・ビーコロ×ゲーム展 ・がばいキャラまつり ・日本本土で初発見のカメムシ ・美術館・博物館一覧
テレビ・ラジオの 取材協力	・4/ 3　ぶんぶんテレビ　ぶんぶんワイド（ビーコロ×おもちゃ展） ・4/10　多久ケーブルメディア　松竹梅（ビーコロ×おもちゃ展） ・4/11　ケーブルワン　サプライフ（ビーコロ×おもちゃ展）～ 4/13 まで ・4/18　NHK 佐賀　いまさが（ビーコロ×おもちゃ展） ・4/23　サガテレビ　Live News days（ビーコロ×おもちゃ展） ・5/ 1　FBS 福岡放送 「こどもの未来」（ビーコロ×おもちゃ展） ・5/ 2　サガテレビ　かちかち LIVE（GW 行楽地情報：ビーコロ展） ・5/ 2　ケーブルワン　サプライフ（GW の賑わい：ビーコロ展） ・6/11　ケーブルワン　サプライフ（水フェスタ） ・6/13　KBC 九州朝日 ぎゅっと「土日どうする？雨でも楽しめる博物館」 ・6/13　NHK 佐賀　いまさが（海苔の秘密まるごと体験） ・6/27　サガテレビ　かちかち LIVE（七夕かざりつけ） ・6/27　ケーブルワン　サプライフ（七夕かざりつけ） ・7/ 4　ケーブルワン サプライフ（マグネット：磁性スライムつくり体験） ・7/ 5　日本テレビ　シューイチ★セブン（ペンデュラムウェーブ） ・7/18　サガテレビ　かちかち LIVE　生中継（企画展「マグネット」） ・7/23　NHK 佐賀　ニュース（企画展「マグネット」） ・8/10　KBC 九州朝日　ぎゅっと「土日どうする？」（再編集放送） ・8/19　有田ケーブルネットワーク　NEWS11（企画展 5 万人達成） ・8/28　多久ケーブルメディア （企画展「マグネット」） ・8/28　BS よしもと　ジモトノチカラ（館内紹介） ・9/ 4　LOVE FM　さがの小部屋（ソラフェスタ） ・9/12　NHK 佐賀　週末情報（ソラフェスタ） ・9/13　NHK 佐賀　いまさが（日本記録級シロカジキ魚拓展示） ・9/15　サガテレビ　かちかち LIVE（JAXAGA 金井宇宙飛行士 特別授業） ・9/16　NHK 佐賀　いまさが（日本記録級シロカジキ魚拓展示） ・9/17　ケーブルワン　サプライフ（JAXAGA 金井宇宙飛行士 特別授業） ・9/20　NHK 福岡 九州各地のニュース（日本記録級シロカジキ魚拓展示） ・9/26　サガテレビ　ニュース（理科作品展開催）

項　　目	内　　容
	・9 /26　サガテレビ　かちかち LIVE（理科作品展開催） ・9 /29　KBC 九州朝日　ぎゅっと（JAXAGA 金井宇宙飛行士 特別授業） ・10/ 9　NBC ラジオ佐賀　スキッピー「さがすき」生中継（科博 巡回展） ・10/10　RKB 毎日 タダイマ「基くんとバズーさんのぶらり旅」（館内） ・10/13　テレQ　特番「SAGA してゾンビランドサガ」（聖地クイズ） ・10/14　有田ケーブルネットワーク　NEWS11（巡回展オープニングセレモニー） ・10/17　KBC 九州朝日　アサデス（ゾンビランドサガ聖地めぐり） ・10/23　NHK 佐賀　ニュース（国立科学博物館 巡回展） ・10/23　NHK 福岡　ニュース（国立科学博物館 巡回展） ・10/24　サガテレビ ニュース（来館者 600 万人達成セレモニー） ・10/26　RKB 毎日　チャギハ×ゾンビランドサガ（聖地紹介） ・10/27　ケーブルワン　サプライフ（来館者 600 万人達成セレモニー） ・10/28　NHK 佐賀　いまさが（国立科学博物館 巡回展） ・10/28　ケーブルワン サプライフ（巡回展オープニングセレモニー・科博館長講演） ・10/29　テレビ九州　（来館者 600 万人達成セレモニー） ・11/ 2　NHK 佐賀　いまさが（コズミックカレッジ「大型熱気球を飛ばそう」） ・11/11　ケーブルワン　サプライフ（巡回展 科博館長講演会） ・11/18　サガテレビ　ニュース（巡回展オープニングセレモニー・科博館長講演会）」 ・11/20　NHK 佐賀　いまさが（地方創生「ゾンビランドサガ効果」） ・12/ 2　ケーブルワン　サプライフ（クリスマス飾りつけ） ・12/ 2　サガテレビ　かちかち LIVE（クリスマス飾りつけ） ・12/ 2　KBC 九州朝日 ふるさと Wish 生中継（科博巡回展・宇宙ゾーン） ・12/ 5　KBC ラジオ　ふるさと Wish 生中継（科博 巡回展「WHO ARE WE」） ・12/ 5　KBC 九州朝日　地元応援 live wish ＋「こぼれ話」 ・12/31　FM 佐賀　CHANGE「勝手にフランシュシュ ザ・ベストテン」（生出演） ・1 / 5　ケーブルワン　サプライフ（干支の生きもの・コマフェスタ WS） ・1 / 8　サガテレビ　かちかち LIVE（コマフェスタ） ・1 /23　KBS 京都ラジオ 笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ（各地の科学館） ・1 /23　NHK 佐賀　ニュース（干支の生きもの） ・2 / 4　NHK 佐賀　いまさが（佐賀工業高校生制作 科学館建物模型寄贈） ・2 / 6　ケーブルワン　サプライフ（タイムカプセル in カプセル） ・2 / 6　有田ケーブルネットワーク NEWS11（タイムカプセル in カプセル） ・2 /15　KBC テレビ朝日 ニュース（JAXAGA SCHOOL 高学年コース卒業式） ・3 /13　サガテレビ　かちかち LIVE　生中継（ビーコロ×ゲーム展） ・3 /13　NHK 佐賀　いまさが「週末情報」（ビーコロ×ゲーム展） ・3 /16　ケーブルワン　サプライフ（ビーコロ×ゲーム展） ・3 /18　サガテレビ　ニュース（スナメリ救出活動） ・3 /19　NHK 佐賀　佐賀ニュース・全国ニュース（スナメリ救出活動） ・3 /19　NBC ラジオ　スキッピー　生中継（ビーコロ×ゲーム展） ・3 /20　KBC テレビ　ニュース（スナメリ救出活動） ・3 /20　ケーブルワン　サプライフ（スナメリ救出活動） ・3 /23　FM 佐賀　（ビーコロ×ゲーム展） ・3 /31　有田ケーブルネットワーク　NEWS11（「コップ DE 工作」ＷＳ）

項　　目	内　　容
雑誌等の情報提供先	・旅行誌　るるぶ情報版「こどもとあそぼ！九州」 ・旅行誌　パパママ Walker ・情報誌　ワイヤーさが ・情報誌　福岡小学生新聞「We can ！」 ・情報誌　ながさきプレス ・情報誌　フォルモサ九州（台湾語版） ・情報誌　月刊プラザ「佐賀で身近なワクワク学び体験に出かけよう！」 ・情報誌　パパママ walker ・情報誌　コミコミプレス ・情報誌　muchu! ・月刊誌　星ナビ ・月刊誌　Newton 別冊「感動する物理（中国語簡体字翻訳版）」 ・その他　NEXCO 西日本九州「HIGHWAY PLUS」 ・その他　読売新聞購読者向け月刊誌「よみうり家庭版」 ・その他　プレミアム・アウトレットタイムス ・その他　県民カレッジ「夢パレット」 ・その他　博物館ガイド ・その他　小糸九州（株）社内報（表紙） ・その他　コープ佐賀生協　季刊誌 9 月号 ・その他　健康保険組合 ・その他　全国ミュージアムガイド（朝日新聞社発行） ・その他　小学館図鑑「NEO POCKET ＜鉱物・宝石＞」 ・WEB　あそぼーさが ・WEB　ミュージアムピック ・WEB　ウォーカープラス ・WEB　じゃらんニュース ・WEB　JR 西日本「おでかけガイド」 ・WEB　じゃらん net ・WEB　多言語情報サイト GOOD LUCK TRIP ・WEB　ふくおかサポートねっと ・WEB　九州サイト ・WEB　アクロス福岡　「おでかけナビ」 ・WEB　いこーよ ・WEB　イベントバンク ・WEB　ながさきプレス WEB マガジン ・WEB　スマートニュース ・WEB　PR Times ・WEB　ベネフィット・ワン ・WEB　科学技術週間ウェブサイト（文部科学省科学技術・学術政策局） ・WEB　九州旅ネット ・WEB　SAKANA BOOKS「全国水族館リスト」 ・WEB　オートポリス大分 ・WEB　ABEMA TV 特番（電話出演） ・SNS　地域情報サイト「MIEL」 ・SNS　西九州新幹線 PR 動画（JR 九州エージェンシー・長崎県）

項　　目	内　　容
近隣施設における広報	・商業・宿泊施設、観光案内所等にチラシ・優待券等を設置し、観光客誘致 ・多言語リーフレットを近隣の宿泊施設に設置し、インバウンド誘客 ・オリジナルキャラクターの観光列車お見送りによる科学館の認知活動 ・産業・商業・駅・宿泊施設等との各コラボプランによる相互誘客
郵送による広報	・県外施設にチラシを送付し、イベントの紹介を依頼 【主な送付先】図書館、博物館、科学館、レジャー施設、大学　他
ポスター掲示及びチラシ等の配布	・県内小中学校、公民館へ、県庁や教育事務所の文書発信棚を利用して配布 ・県内観光案内所や駅、道の駅、図書館、近隣の宿泊施設等に持参して設置 ・県内外商業施設にてレジに優待券とチラシ・リーフレット設置により誘客 ・県内サービスエリアへの設置
館内での広報イベント開催	・「みんなで描こう宇宙の絵」（「宇宙の日絵画コンテスト」の関連イベント） ・「本物の宇宙食を体験してみよう！」（4 月～ 9 月体験装置設置）

②プラネタリウム広報

項　　目	内　　容
報道機関への情報提供	・県政記者室、武雄市政記者クラブへプレスリリースによる新番組、イベント情報提供
旅行会社への広報	・「プラネタリウム観覧ツアー」の提案 ・「宇宙食体験ツアー」とのセットプランの提案
県広報の活用	・県広報紙、テレビ・ラジオ等での広報

③企画展・イベント

項　　目	内　　容
メディアの活用	・テレビ、新聞のみならず、県内外の WEB 配信媒体へ早期情報提供 ・ターゲット層を選定した有料広告の出稿
報道機関への情報提供	・県政記者室、武雄市政記者クラブへプレスリリースによる情報提供 ・プレス向け内覧会の実施 ・PR TIMES による広域なイベント情報提供 ・メディア担当者への直接情報提供

12-2. 訪問による集客活動

県内の観光連盟や観光協会との連携が活動につながり、広域に集客活動を行った。

館外イベントには、オリジナルキャラクター（ゆめぎんが★ウーたん）を同伴し、幅広い層へ施設および科学館活動の周知に努めた。

その他、教育関係機関やメディア、旅行会社等へ訪問し、活動紹介を含めたＰＲを実施。

都　道　府　県	訪　　問　　先
佐賀県	・テレビ局、ラジオ局、新聞社 ・大型商業施設、道の駅、サービスエリア等の観光情報コーナー ・近隣の保育園、観光施設、図書館、書店、市民ホール、商工会議所　他 ・佐賀インターナショナルバルーンフェスタ（ビーコロ体験、WS、グッズ販売） ・みやき町マルシェ（宇宙食体験イベント、ビーコロ体験、ワークショップ等） ・JR 九州 GO WEST（ビーコロ体験ブース出店） ・「ものスゴフェスタ」「ふたつ星（観光列車）お見送り」「がばいキャラまつり」「ゆるキャラ＆パラスポ＆キッズスポーツフェスティバル 2026」他
福岡県	・テレビ局、ラジオ局　・旅行代理店（福岡市内）　・エージェント向け商談会
長崎県	・テレビ局、ラジオ局、新聞社　・旅行会社（長崎市）
大分県	・全国的オートレース集客イベント



みやきマルシェでのビーコロワークショップの様子


武雄温泉駅で観光列車のお見送りにウーたんも参加

12-3. 広聴活動

恒常的に来館者へのアンケート調査を実施し、来場者から当館への意見要望等を収集し、日常業務の見直し及び改善を行うとともに、広報活動の参考とした。

企画展の企画運営の参考とするために、企画展毎の来館者アンケート調査も行った。

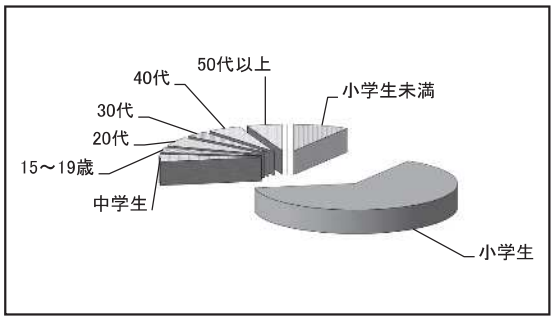
また、広報イベントでもアンケートを実施し、イベント運営および企画の参考とした。

企画展来館者アンケート結果

企画展名：2025 春の企画展 ビーコロ×おもちゃ展
調査期間：令和７年３月15日～令和７年５月６日
回答者数：290 件
調査方法：配票調査法

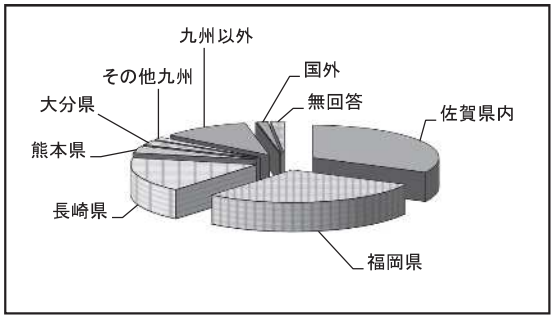
1. 年齢

	人数（人）	（割合）
小学生未満	25	（8.6%）
小学生	182	（62.8%）
中学生	13	（4.5%）
15～19歳	9	（3.1%）
20代	16	（5.5%）
30代	10	（3.4%）
40代	15	（5.2%）
50代	5	（1.7%）
60代	8	（2.8%）
70歳以上	3	（1.0%）
無回答	4	（1.4%）



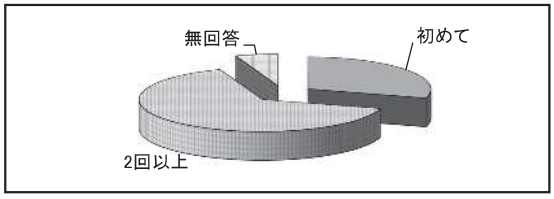
2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	94	（32.4%）
福岡県	83	（28.6%）
長崎県	50	（17.2%）
熊本県	10	（3.4%）
大分県	7	（2.4%）
宮崎県	3	（1.0%）
鹿児島県	1	（0.3%）
沖縄県	0	（0.0%）
九州以外（国内）	33	（11.4%）
国外	4	（1.4%）
無回答	5	（1.7%）



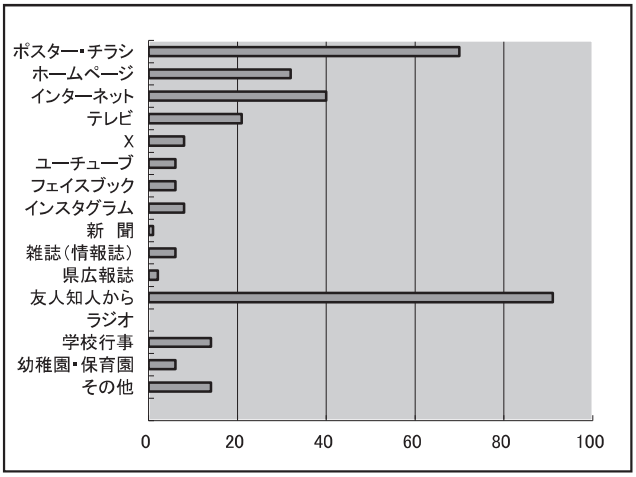
3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	85	（29.3%）
2回以上	186	（64.1%）
無回答	16	（5.5%）



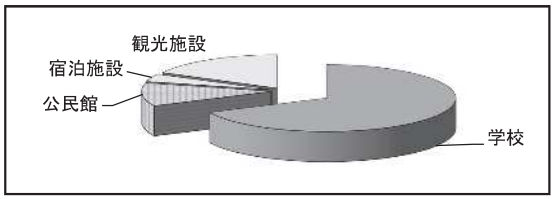
4. 情報入手先

	人数（人）	（割合）
ポスター・チラシ	70	（24.1%）
ホームページ	32	（11.0%）
インターネット	40	（13.8%）
テレビ	21	（7.2%）
X	8	（2.8%）
ユーチューブ	6	（2.1%）
フェイスブック	6	（2.1%）
インスタグラム	8	（2.8%）
新聞	1	（0.3%）
雑誌（情報誌）	6	（2.1%）
県広報誌	2	（0.7%）
友人知人から	91	（31.4%）
ラジオ	0	（0.0%）
学校行事	14	（4.8%）
幼稚園・保育園	6	（2.1%）
その他	14	（4.8%）



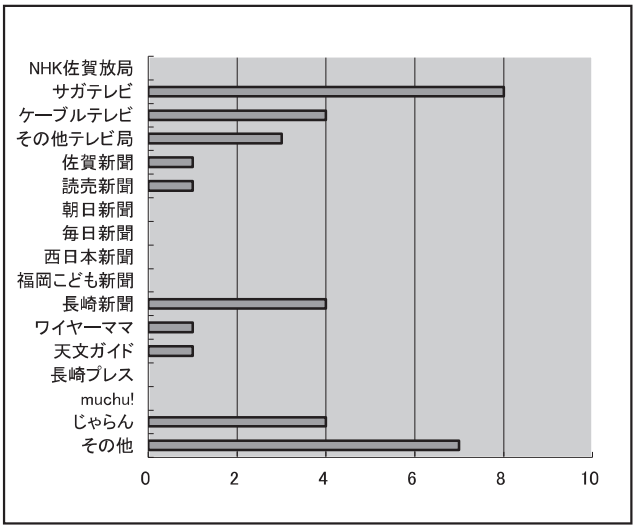
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	55	（19.0%）
公民館	9	（3.1%）
宿泊施設	3	（1.0%）
観光施設	14	（4.8%）



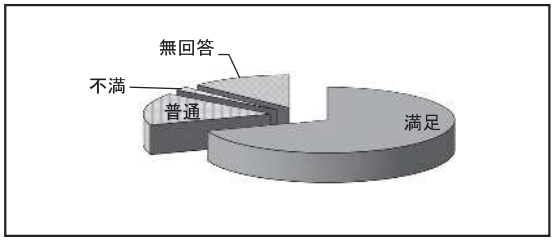
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数（人）	（割合）
NHK佐賀放送局	0	（0.0%）
サガテレビ	8	（2.8%）
ケーブルテレビ	4	（1.4%）
その他テレビ局	3	（1.0%）
佐賀新聞	1	（0.3%）
読売新聞	1	（0.3%）
朝日新聞	0	（0.0%）
毎日新聞	0	（0.0%）
西日本新聞	0	（0.0%）
福岡こども新聞	0	（0.0%）
長崎新聞	4	（1.4%）
ワイヤーママ	1	（0.3%）
天文ガイド	1	（0.3%）
長崎プレス	0	（0.0%）
muchu!	0	（0.0%）
じゃらん	4	（1.4%）
その他	7	（2.4%）



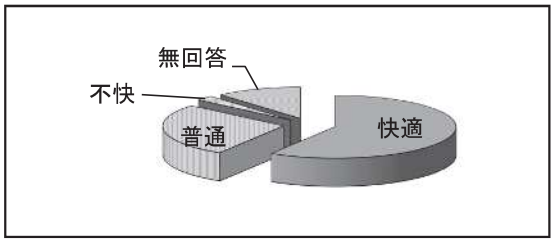
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
満足	201	（69.3%）
普通	46	（15.9%）
不満	5	（1.7%）
無回答	37	（12.8%）



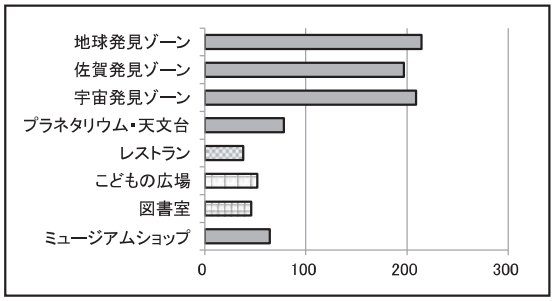
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
快適	170	（58.6%）
普通	79	（27.2%）
不快	7	（2.4%）
無回答	33	（11.4%）



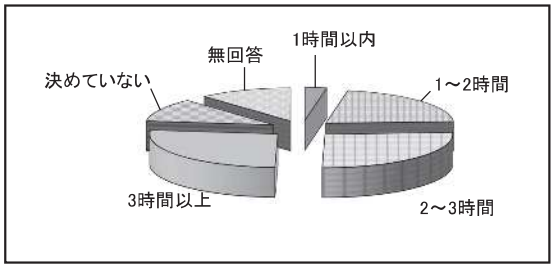
7. 当館での利用した施設について

	人数（人）	（割合）
地球発見ゾーン	214	（18.0%）
佐賀発見ゾーン	197	（16.6%）
宇宙発見ゾーン	209	（17.6%）
プラネタリウム・天文台	78	（6.6%）
レストラン	38	（5.2%）
こどもの広場	52	（7.1%）
図書室	46	（6.3%）
ミュージアムショップ	64	（8.7%）



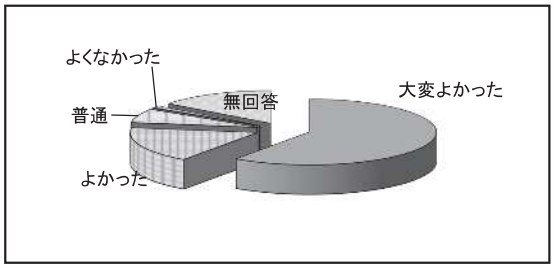
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1時間以内	8	(2.8%)
1～2時間	62	(21.4%)
2～3時間	76	(26.2%)
3時間以上	77	(26.6%)
決めていない	33	(11.4%)
無回答	34	(11.7%)



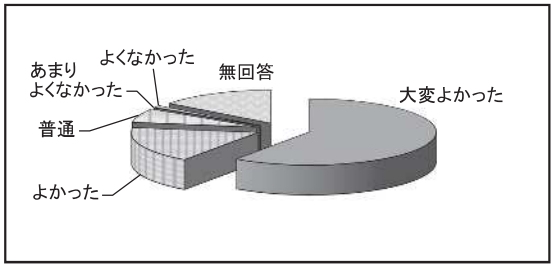
9. 今回の企画展はいかがでしたか？

	人数（人）	（割合）
大変よかった	174	(60.0%)
よかった	51	(17.6%)
普通	20	(6.9%)
あまりよくなかった	0	(0.0%)
よくなかった	3	(1.0%)
無回答	43	(14.8%)



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大変よかった	149	(51.4%)
よかった	60	(20.7%)
普通	22	(7.6%)
あまりよくなかった	3	(1.0%)
よくなかった	2	(0.7%)
無回答	54	(18.6%)

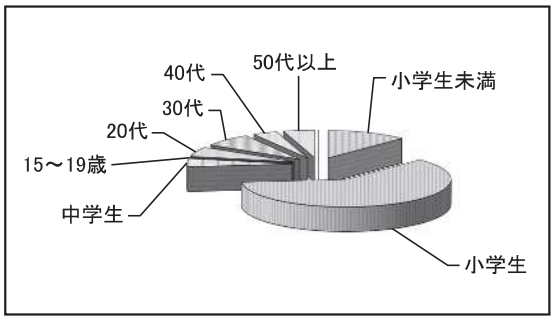


フェスタ来館者アンケート結果

企画展名：水フェスタ
調査期間：令和７年６月７日～令和７年６月29日
回答者数：108件
調査方法：配票調査法

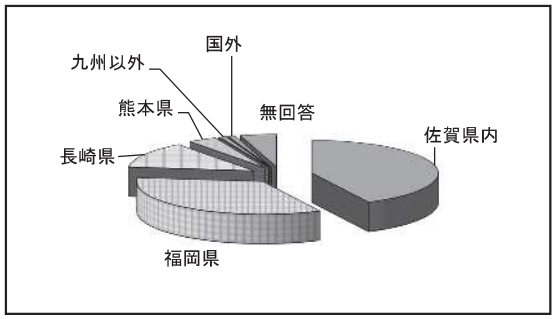
1. 年齢

	人数（人）	（割合）
小学生未満	13	(12.0%)
小学生	64	(59.3%)
中学生	5	(4.6%)
15～19歳	0	(0.0%)
20代	6	(5.6%)
30代	8	(7.4%)
40代	4	(3.7%)
50代	2	(1.9%)
60代	2	(1.9%)
70歳以上	1	(0.9%)
無回答	3	(2.8%)



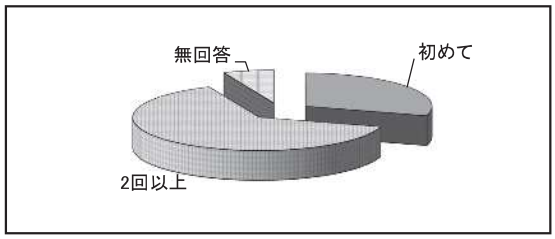
2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	46	（42.6%）
福岡県	37	（34.3%）
長崎県	14	（13.0%）
熊本県	4	（3.7%）
大分県	0	（0.0%）
宮崎県	0	（0.0%）
鹿児島県	0	（0.0%）
沖縄県	0	（0.0%）
九州以外（国内）	1	（0.9%）
国外	1	（0.9%）
無回答	5	（4.6%）



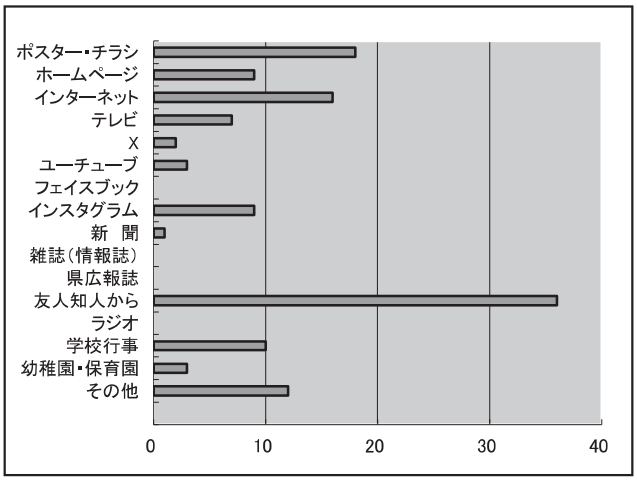
3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	32	（29.6%）
2回以上	69	（63.9%）
無回答	7	（6.5%）



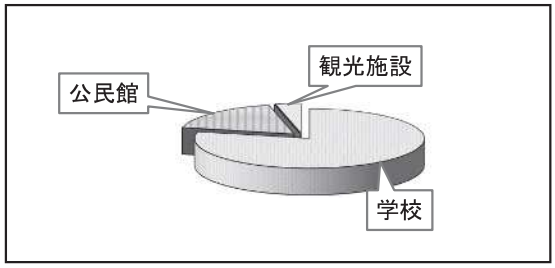
4. 情報入手先

	人数（人）	（割合）
ポスター・チラシ	18	（16.7%）
ホームページ	9	（8.3%）
インターネット	16	（14.8%）
テレビ	7	（6.5%）
X	2	（1.9%）
ユーチューブ	3	（2.8%）
フェイスブック	0	（0.0%）
インスタグラム	9	（8.3%）
新聞	1	（0.9%）
雑誌（情報誌）	0	（0.0%）
県広報誌	0	（0.0%）
友人知人から	36	（33.3%）
ラジオ	0	（0.0%）
学校行事	10	（9.3%）
幼稚園・保育園	3	（2.8%）
その他	12	（11.1%）



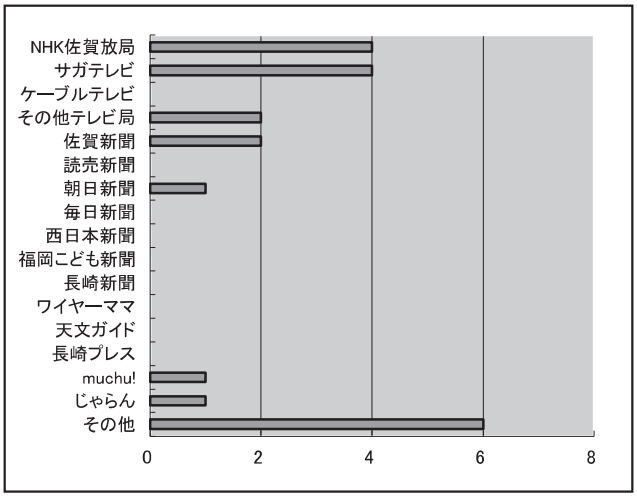
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	22	（20.4%）
公民館	5	（4.6%）
宿泊施設	0	（0.0%）
観光施設	1	（0.9%）



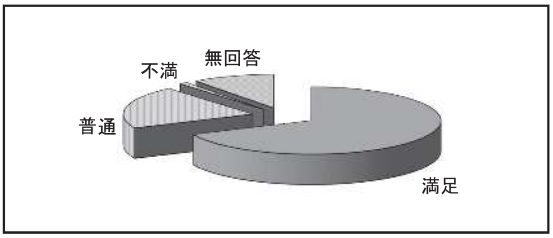
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数（人）	（割合）
NHK佐賀放送局	4	(3.7%)
サガテレビ	4	(3.7%)
ケーブルテレビ	0	(0.0%)
その他テレビ局	2	(1.9%)
佐賀新聞	2	(1.9%)
読売新聞	0	(0.0%)
朝日新聞	1	(0.9%)
毎日新聞	0	(0.0%)
西日本新聞	0	(0.0%)
福岡こども新聞	0	(0.0%)
長崎新聞	0	(0.0%)
ワイヤーママ	0	(0.0%)
天文ガイド	0	(0.0%)
長崎プレス	0	(0.0%)
muchu!	1	(0.9%)
じゃらん	1	(0.9%)
その他	6	(5.6%)



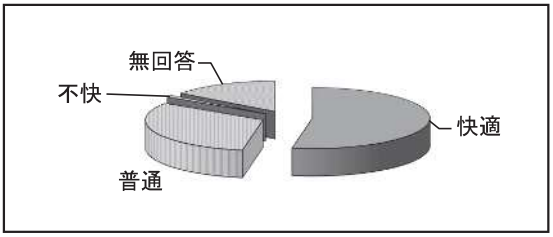
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
満足	73	(67.6%)
普通	22	(20.4%)
不満	1	(0.9%)
無回答	11	(10.2%)



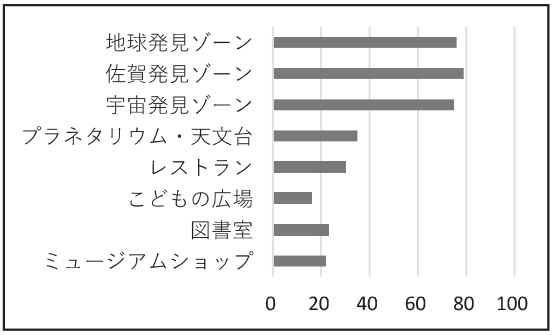
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
快適	57	(52.8%)
普通	34	(31.5%)
不快	1	(0.9%)
無回答	16	(14.8%)



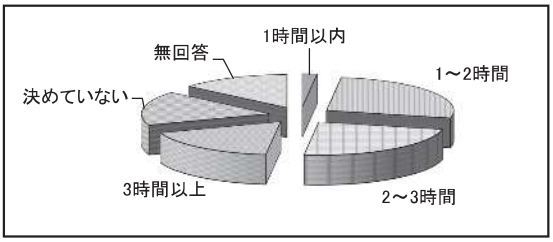
7. 当館での利用した施設について

	人数（人）	（割合）
地球発見ゾーン	76	(16.4%)
佐賀発見ゾーン	79	(17.0%)
宇宙発見ゾーン	75	(16.2%)
プラネタリウム・天文台	35	(7.5%)
レストラン	30	(11.6%)
こどもの広場	16	(6.2%)
図書室	23	(8.9%)
ミュージアムショップ	22	(8.5%)



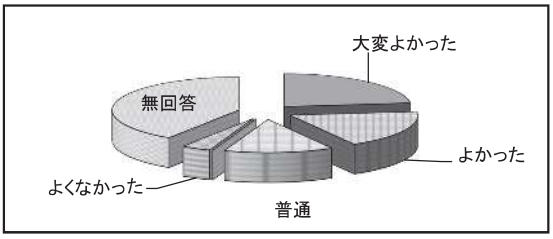
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1時間以内	2	(1.9%)
1～2時間	29	(26.9%)
2～3時間	25	(23.1%)
3時間以上	19	(17.6%)
決めていない	18	(16.7%)
無回答	15	(13.9%)



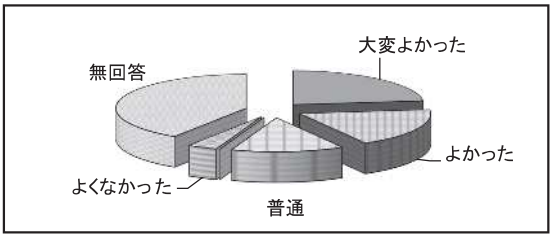
9. 「水フェスタ」はいかがでしたか？

	人数（人）	（割合）
大変よかった	25	（23.1%）
よかった	20	（18.5%）
普通	15	（13.9%）
あまりよくなかった	0	（0.0%）
よくなかった	4	（3.7%）
無回答	44	（40.7%）



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大変よかった	55	（50.9%）
よかった	20	（18.5%）
普通	6	（5.6%）
あまりよくなかった	0	（0.0%）
よくなかった	1	（0.9%）
無回答	26	（24.1%）

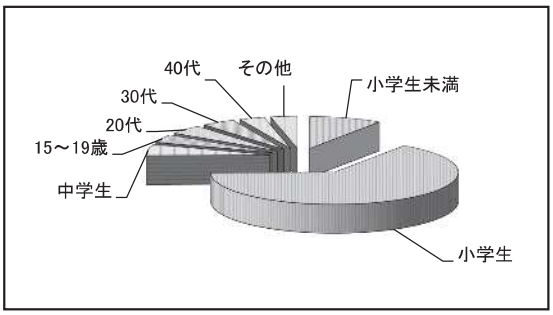


企画展来館者アンケート結果

企画展名：2025 夏の企画展 マグネット
調査期間：令和 7 年 7 月 12 日～令和 7 年 8 月 31 日
回答者数：547 件
調査方法：配票調査法

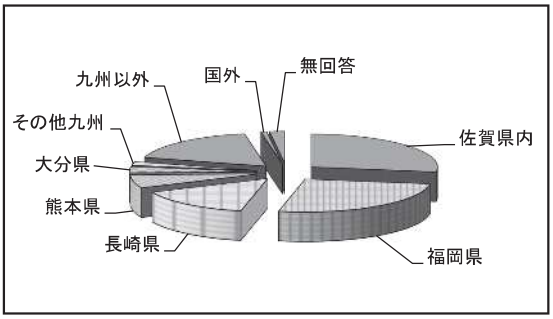
1. 年齢

	人数（人）	（割合）
小学生未満	52	（9.5%）
小学生	356	（65.1%）
中学生	31	（5.7%）
15～19歳	22	（4.0%）
20代	25	（4.6%）
30代	24	（4.4%）
40代	18	（3.3%）
50代	2	（0.4%）
60代	5	（0.9%）
70歳以上	5	（0.9%）
無回答	7	（1.3%）



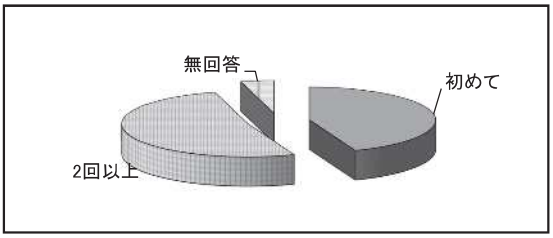
2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	150	（27.4%）
福岡県	142	（26.0%）
長崎県	81	（14.8%）
熊本県	35	（6.4%）
大分県	16	（2.9%）
宮崎県	3	（0.5%）
鹿児島県	4	（0.7%）
沖縄県	3	（0.5%）
九州以外（国内）	98	（17.9%）
国外	4	（0.7%）
無回答	11	（2.0%）



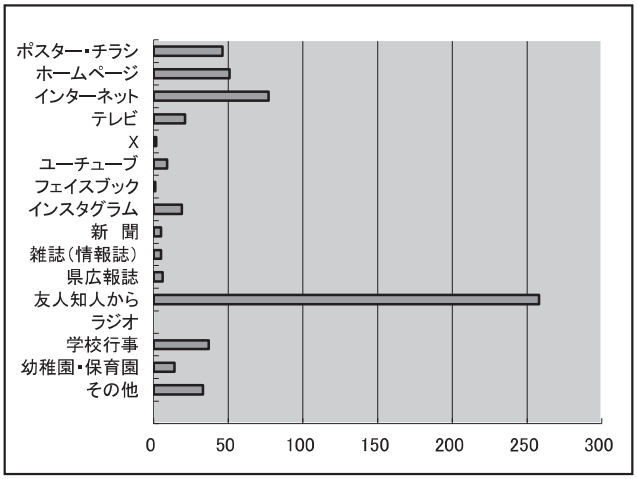
3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	239	(43.7%)
2回以上	280	(51.2%)
無回答	23	(4.2%)



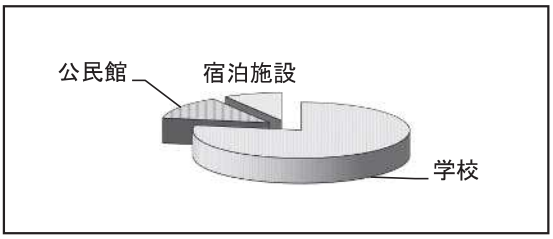
4. 情報入手先

	人数（人）	（割合）
ポスター・チラシ	46	(8.4%)
ホームページ	51	(9.3%)
インターネット	77	(14.1%)
テレビ	21	(3.8%)
X	2	(0.4%)
ユーチューブ	9	(1.6%)
フェイスブック	1	(0.2%)
インスタグラム	19	(3.5%)
新聞	5	(0.9%)
雑誌（情報誌）	5	(0.9%)
県広報誌	6	(1.1%)
友人知人から	258	(47.2%)
ラジオ	0	(0.0%)
学校行事	37	(6.8%)
幼稚園・保育園	14	(2.6%)
その他	33	(6.0%)



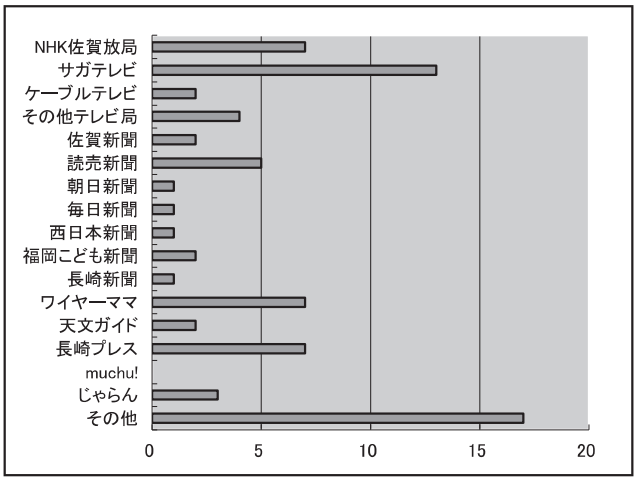
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	63	(11.5%)
公民館	11	(2.0%)
宿泊施設	7	(1.3%)
観光施設	4	(0.7%)



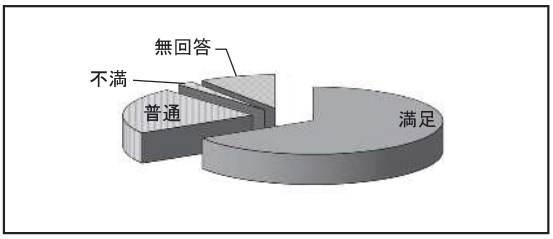
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数（人）	（割合）
NHK佐賀放送局	7	(1.3%)
サガテレビ	13	(2.4%)
ケーブルテレビ	2	(0.4%)
その他テレビ局	4	(0.7%)
佐賀新聞	2	(0.4%)
読売新聞	5	(0.9%)
朝日新聞	1	(0.2%)
毎日新聞	1	(0.2%)
西日本新聞	1	(0.2%)
福岡こども新聞	2	(0.4%)
長崎新聞	1	(0.2%)
ワイヤーママ	7	(1.3%)
天文ガイド	2	(0.4%)
長崎プレス	7	(1.3%)
muchu!	0	(0.0%)
じゃらん	3	(0.5%)
その他	17	(3.1%)



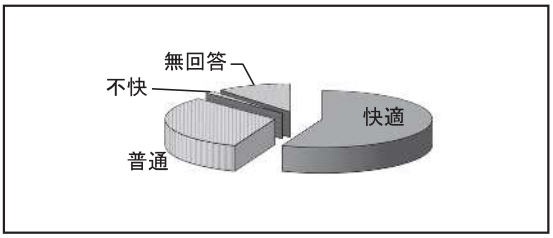
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
満足	362	（66.2%）
普通	122	（22.3%）
不満	11	（2.0%）
無回答	52	（9.5%）



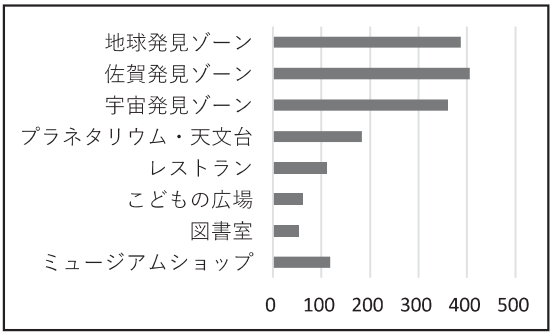
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
快適	306	（55.9%）
普通	174	（31.8%）
不快	7	（1.3%）
無回答	60	（11.0%）



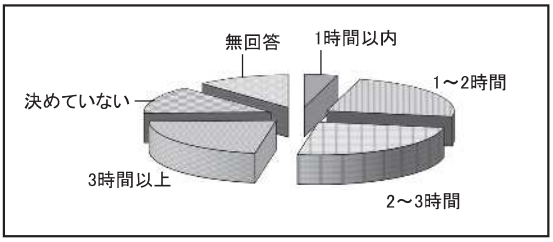
7. 当館での利用した施設について

	人数（人）	（割合）
地球発見ゾーン	387	（17.0%）
佐賀発見ゾーン	406	（17.8%）
宇宙発見ゾーン	361	（15.8%）
プラネタリウム・天文台	183	（8.0%）
レストラン	111	（8.1%）
こどもの広場	62	（4.5%）
図書室	54	（3.9%）
ミュージアムショップ	118	（8.6%）
無回答	50	（3.9%）



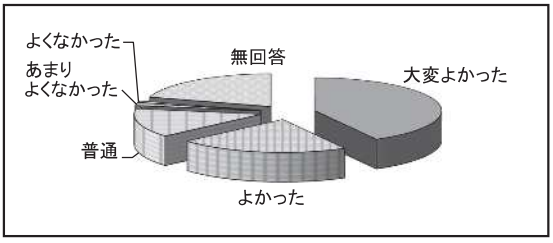
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1時間以内	23	（4.2%）
1～2時間	129	（23.6%）
2～3時間	136	（24.9%）
3時間以上	120	（21.9%）
決めていない	74	（13.5%）
無回答	65	（11.9%）



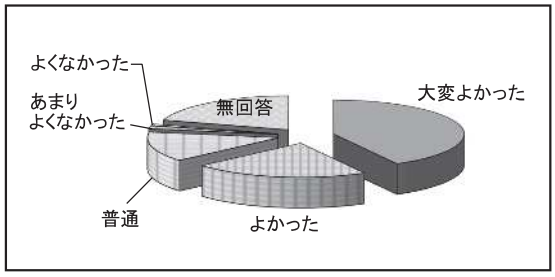
9. 企画展「マグネット」はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
大変よかった	229	（41.9%）
よかった	118	（21.6%）
普通	77	（14.1%）
あまりよくなかった	7	（1.3%）
よくなかった	4	（0.7%）
無回答	111	（20.3%）



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大変よかった	257	（47.0%）
よかった	128	（23.4%）
普通	53	（9.7%）
あまりよくなかった	2	（0.4%）
よくなかった	3	（0.5%）
無回答	104	（19.0%）

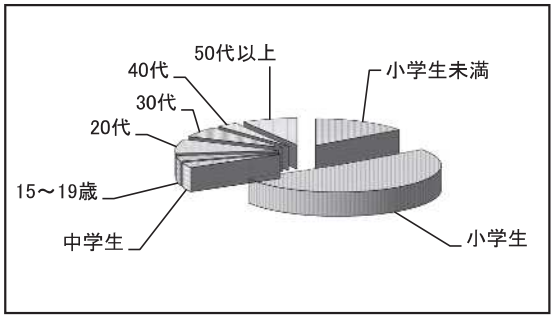


フェスタ来館者アンケート結果

企画展名：ソラフェスタ
調査期間：令和７年９月６日～令和７年９月28日
回答者数：93件
調査方法：配票調査法

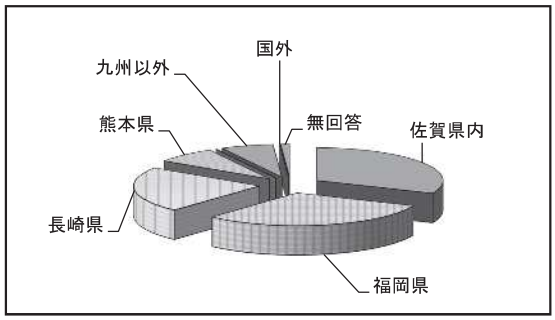
1. 年齢

	人数（人）	（割合）
小学生未満	14	（15.1%）
小学生	48	（51.6%）
中学生	3	（3.2%）
15～19歳	3	（3.2%）
20代	8	（8.6%）
30代	6	（6.5%）
40代	3	（3.2%）
50代	2	（2.2%）
60代	3	（3.2%）
70歳以上	3	（3.2%）
無回答	0	（0.0%）



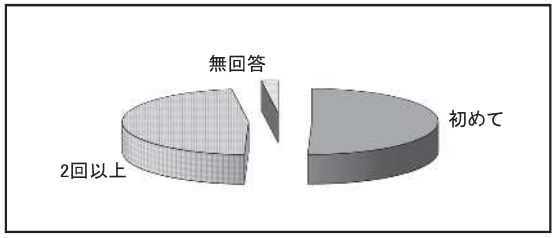
2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	28	（30.1%）
福岡県	27	（29.0%）
長崎県	20	（21.5%）
熊本県	7	（7.5%）
大分県	4	（4.3%）
宮崎県	0	（0.0%）
鹿児島県	0	（0.0%）
沖縄県	0	（0.0%）
九州以外（国内）	6	（6.5%）
国外	0	（0.0%）
無回答	1	（1.1%）



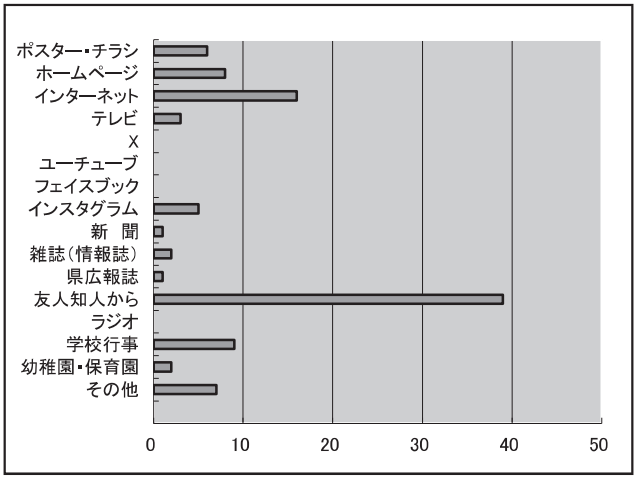
3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	47	（50.5%）
2回以上	44	（47.3%）
無回答	2	（2.2%）



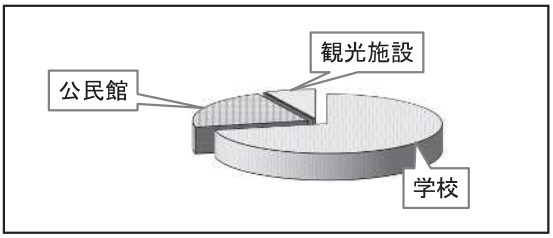
4. 情報入手先

	人数（人）	（割合）
ポスター・チラシ	6	(6.5%)
ホームページ	8	(8.6%)
インターネット	16	(17.2%)
テレビ	3	(3.2%)
X	0	(0.0%)
ユーチューブ	0	(0.0%)
フェイスブック	0	(0.0%)
インスタグラム	5	(5.4%)
新聞	1	(1.1%)
雑誌（情報誌）	2	(2.2%)
県広報誌	1	(1.1%)
友人知人から	39	(41.9%)
ラジオ	0	(0.0%)
学校行事	9	(9.7%)
幼稚園・保育園	2	(2.2%)
その他	7	(7.5%)



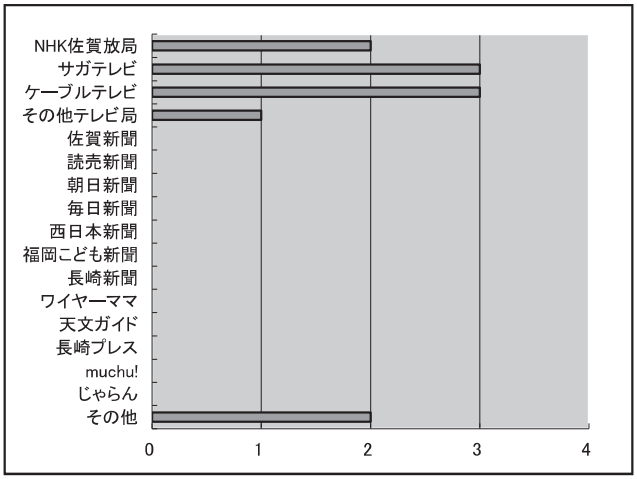
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	10	(10.8%)
公民館	3	(3.2%)
宿泊施設	0	(0.0%)
観光施設	1	(1.1%)



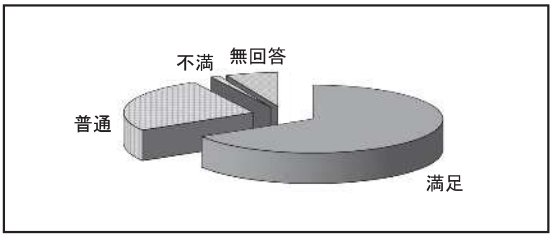
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数（人）	（割合）
NHK佐賀放送局	2	(2.2%)
サガテレビ	3	(3.2%)
ケーブルテレビ	3	(3.2%)
その他テレビ局	1	(1.1%)
佐賀新聞	0	(0.0%)
読売新聞	0	(0.0%)
朝日新聞	0	(0.0%)
毎日新聞	0	(0.0%)
西日本新聞	0	(0.0%)
福岡こども新聞	0	(0.0%)
長崎新聞	0	(0.0%)
ワイヤーママ	0	(0.0%)
天文ガイド	0	(0.0%)
長崎プレス	0	(0.0%)
muchu!	0	(0.0%)
じゃらん	0	(0.0%)
その他	2	(2.2%)



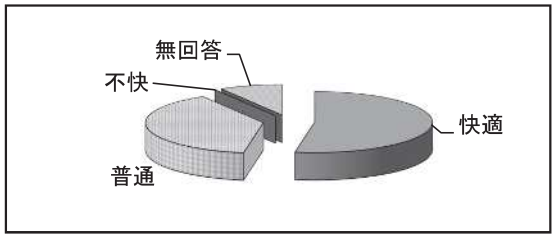
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
満足	61	(65.6%)
普通	24	(25.8%)
不満	1	(1.1%)
無回答	6	(6.5%)



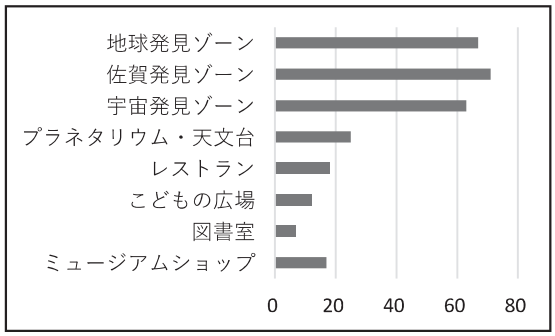
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
快適	49	（52.7%）
普通	36	（38.7%）
不快	0	（0.0%）
無回答	8	（8.6%）



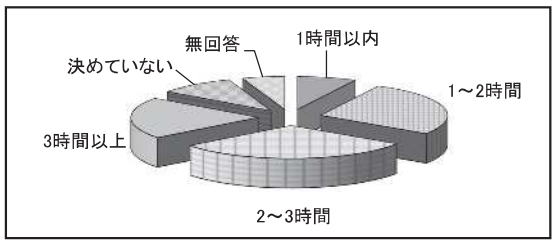
7. 当館での利用した施設について

	人数（人）	（割合）
地球発見ゾーン	67	（18.0%）
佐賀発見ゾーン	71	（19.0%）
宇宙発見ゾーン	63	（16.9%）
プラネタリウム・天文台	25	（6.7%）
レストラン	18	（8.9%）
こどもの広場	12	（5.9%）
図書室	7	（3.5%）
ミュージアムショップ	17	（8.4%）



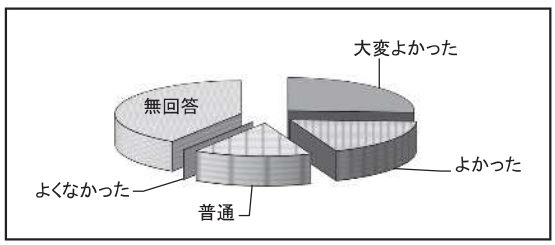
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1時間以内	7	（7.5%）
1～2時間	25	（26.9%）
2～3時間	28	（30.1%）
3時間以上	19	（20.4%）
決めていない	9	（9.7%）
無回答	5	（5.4%）



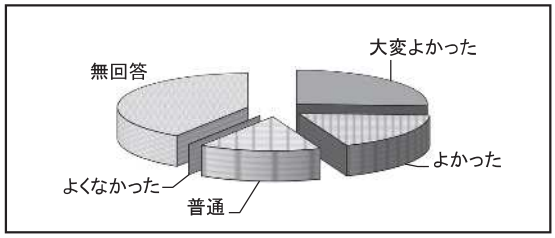
9. 「ソラフェスタ」はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
大変よかった	24	（25.8%）
よかった	17	（18.3%）
普通	14	（15.1%）
あまりよくなかった	0	（0.0%）
よくなかった	0	（0.0%）
無回答	38	（40.9%）



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大変よかった	52	（55.9%）
よかった	16	（17.2%）
普通	7	（7.5%）
あまりよくなかった	0	（0.0%）
よくなかった	1	（1.1%）
無回答	17	（18.3%）

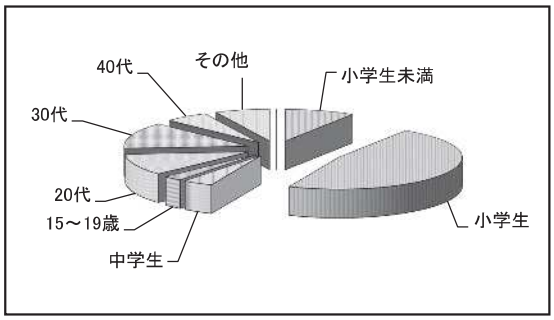


企画展来館者アンケート結果

企画展名：国立科学博物館巡回展「WHO ARE WE」
調査期間：令和７年10月11日～令和７年12月14日
回答者数：405件
調査方法：配票調査法

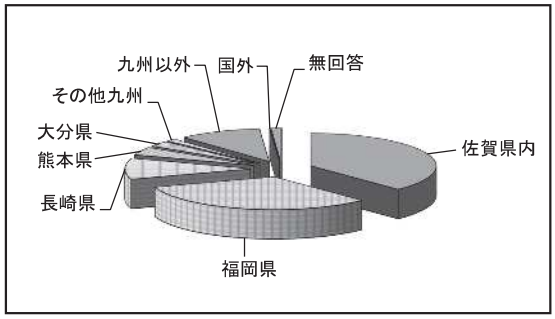
1. 年齢

	人数（人）	（割合）
小学生未満	37	(9.1%)
小学生	192	(47.4%)
中学生	16	(4.0%)
15～19歳	10	(2.5%)
20代	44	(10.9%)
30代	54	(13.3%)
40代	23	(5.7%)
50代	9	(2.2%)
60代	9	(2.2%)
70歳以上	8	(2.0%)
無回答	3	(0.7%)



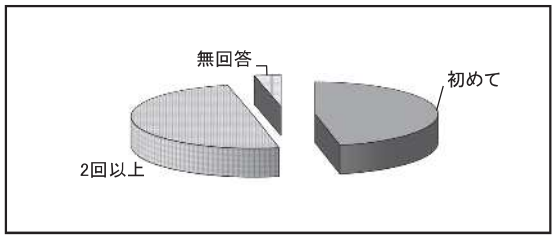
2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	153	(37.8%)
福岡県	130	(32.1%)
長崎県	42	(10.4%)
熊本県	16	(4.0%)
大分県	11	(2.7%)
宮崎県	1	(0.2%)
鹿児島県	3	(0.7%)
沖縄県	1	(0.2%)
九州以外（国内）	43	(10.6%)
国外	0	(0.0%)
無回答	5	(1.2%)



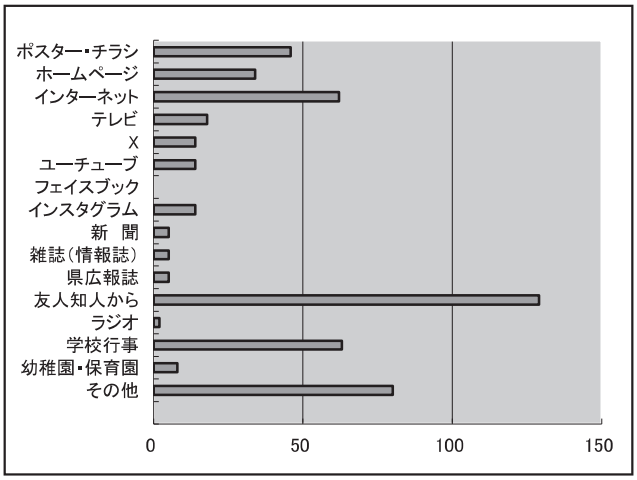
3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	188	(46.4%)
2回以上	200	(49.4%)
無回答	14	(3.5%)



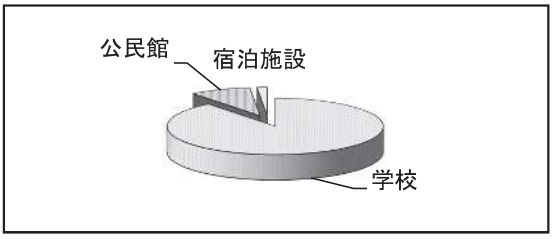
4. 情報入手先

	人数（人）	（割合）
ポスター・チラシ	46	(11.4%)
ホームページ	34	(8.4%)
インターネット	62	(15.3%)
テレビ	18	(4.4%)
X	14	(3.5%)
ユーチューブ	14	(3.5%)
フェイスブック	0	(0.0%)
インスタグラム	14	(3.5%)
新聞	5	(1.2%)
雑誌（情報誌）	5	(1.2%)
県広報誌	5	(1.2%)
友人知人から	129	(31.9%)
ラジオ	2	(0.5%)
学校行事	63	(15.6%)
幼稚園・保育園	8	(2.0%)
その他	80	(19.8%)



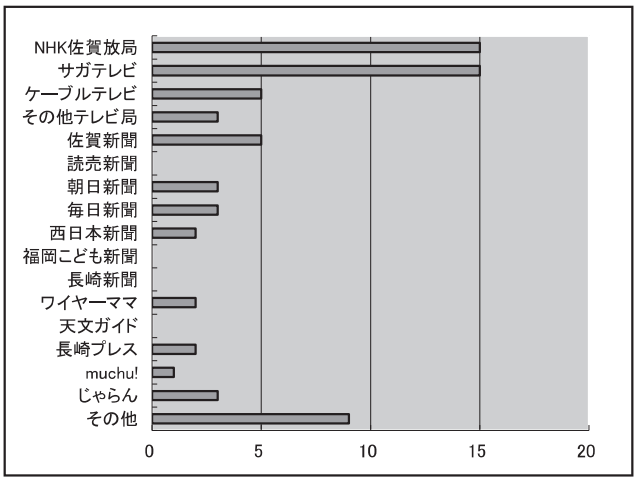
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	59	(14.6%)
公民館	6	(1.5%)
宿泊施設	1	(0.2%)
観光施設	7	(1.7%)



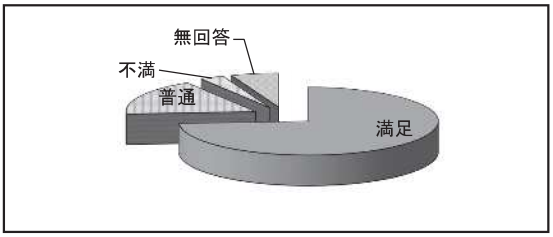
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数（人）	（割合）
NHK佐賀放送局	15	(3.7%)
サガテレビ	15	(3.7%)
ケーブルテレビ	5	(1.2%)
その他テレビ局	3	(0.7%)
佐賀新聞	5	(1.2%)
読売新聞	0	(0.0%)
朝日新聞	3	(0.7%)
毎日新聞	3	(0.7%)
西日本新聞	2	(0.5%)
福岡こども新聞	0	(0.0%)
長崎新聞	0	(0.0%)
ワイヤーママ	2	(0.5%)
天文ガイド	0	(0.0%)
長崎プレス	2	(0.5%)
muchu!	1	(0.2%)
じゃらん	3	(0.7%)
その他	9	(2.2%)



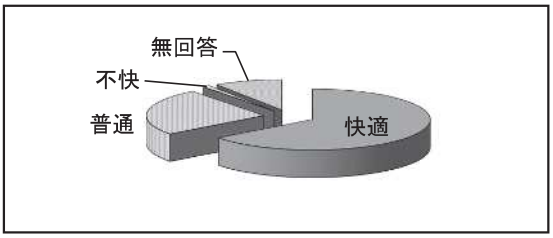
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
満足	299	(64.7%)
普通	70	(24.9%)
不満	12	(1.0%)
無回答	24	(9.4%)



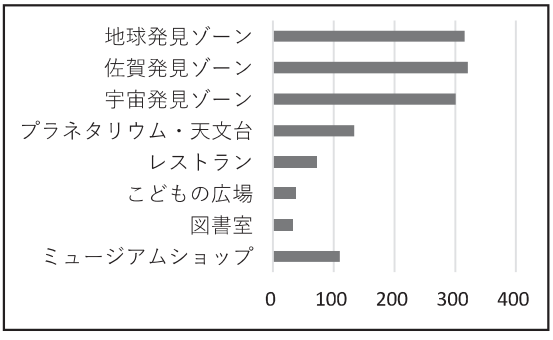
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
快適	262	(64.7%)
普通	101	(24.9%)
不快	4	(1.0%)
無回答	38	(9.4%)



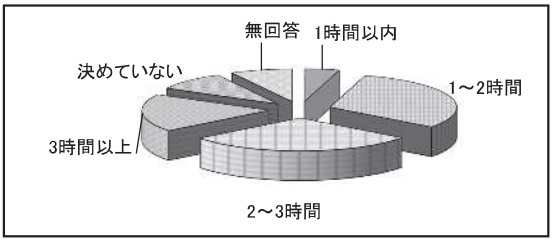
7. 当館での利用した施設について

	人数（人）	（割合）
地球発見ゾーン	316	(18.0%)
佐賀発見ゾーン	321	(18.3%)
宇宙発見ゾーン	301	(17.2%)
プラネタリウム・天文台	134	(7.6%)
レストラン	72	(7.4%)
こどもの広場	37	(3.8%)
図書室	32	(3.3%)
ミュージアムショップ	110	(11.2%)
無回答	26	(2.9%)



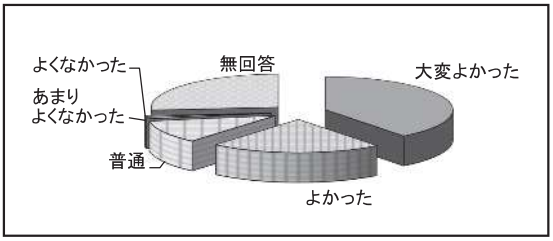
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1時間以内	18	(4.4%)
1～2時間	125	(30.9%)
2～3時間	118	(29.1%)
3時間以上	75	(18.5%)
決めていない	37	(9.1%)
無回答	32	(7.9%)



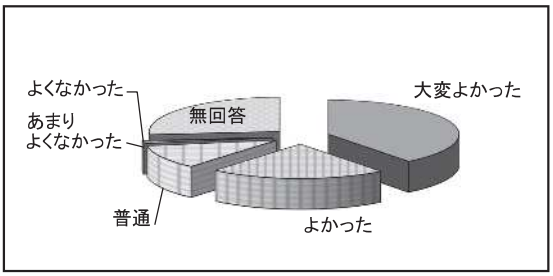
9. 企画展「巡回展　WHO ARE WE」はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
大変よかった	160	(39.5%)
よかった	88	(21.7%)
普通	45	(11.1%)
あまりよくなかった	3	(0.7%)
よくなかった	2	(0.5%)
無回答	107	(26.4%)



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大変よかった	201	(49.6%)
よかった	102	(25.2%)
普通	24	(5.9%)
あまりよくなかった	3	(0.7%)
よくなかった	4	(1.0%)
無回答	71	(17.5%)

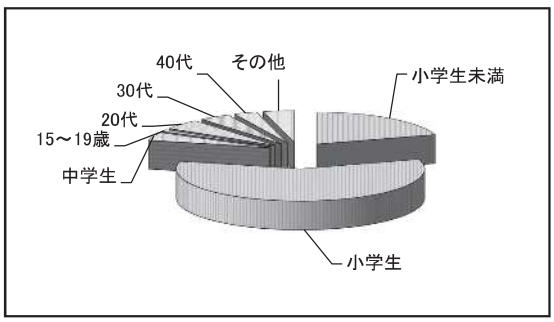


フェスタ来館者アンケート結果

企画展名：コマフェスタ
調査期間：令和７年 12 月 25 日～令和８年１月 12 日
回答者数：99 件
調査方法：配票調査法

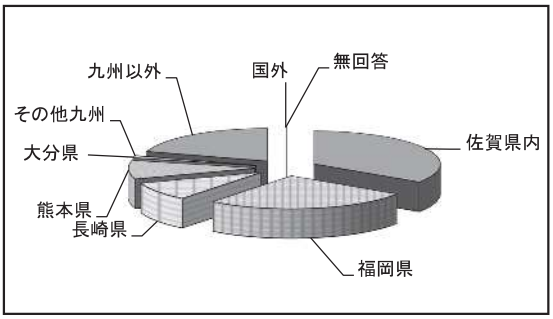
1. 年齢

	人数（人）	（割合）
小学生未満	20	(20.2%)
小学生	58	(58.6%)
中学生	4	(4.0%)
15～19歳	1	(1.0%)
20代	5	(5.1%)
30代	4	(4.0%)
40代	3	(3.0%)
50代	2	(2.0%)
60代	1	(1.0%)
70歳以上	1	(1.0%)
無回答	0	(0.0%)



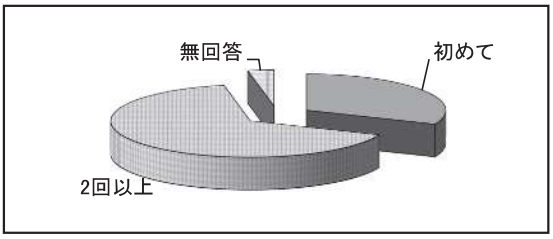
2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	34	(34.3%)
福岡県	26	(26.3%)
長崎県	9	(9.1%)
熊本県	9	(9.1%)
大分県	1	(1.0%)
宮崎県	0	(0.0%)
鹿児島県	0	(0.0%)
沖縄県	0	(0.0%)
九州以外（国内）	20	(20.2%)
国外	0	(0.0%)
無回答	0	(0.0%)



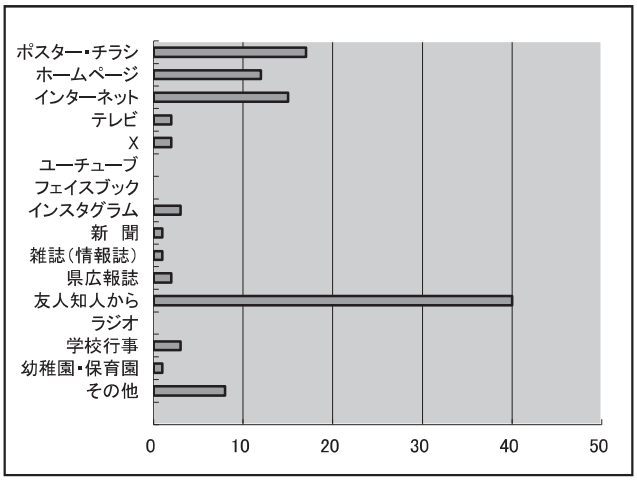
3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	31	(31.3%)
2回以上	65	(65.7%)
無回答	3	(3.0%)



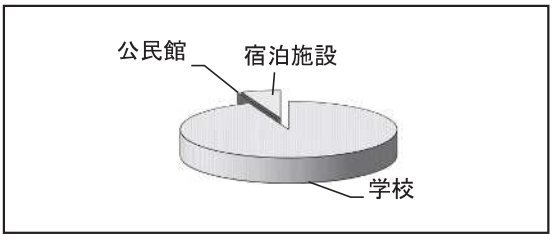
4. 情報入手先

	人数（人）	（割合）
ポスター・チラシ	17	(17.2%)
ホームページ	12	(12.1%)
インターネット	15	(15.2%)
テレビ	2	(2.0%)
X	2	(2.0%)
ユーチューブ	0	(0.0%)
フェイスブック	0	(0.0%)
インスタグラム	3	(3.0%)
新聞	1	(1.0%)
雑誌（情報誌）	1	(1.0%)
県広報誌	2	(2.0%)
友人知人から	40	(40.4%)
ラジオ	0	(0.0%)
学校行事	3	(3.0%)
幼稚園・保育園	1	(1.0%)
その他	8	(8.1%)



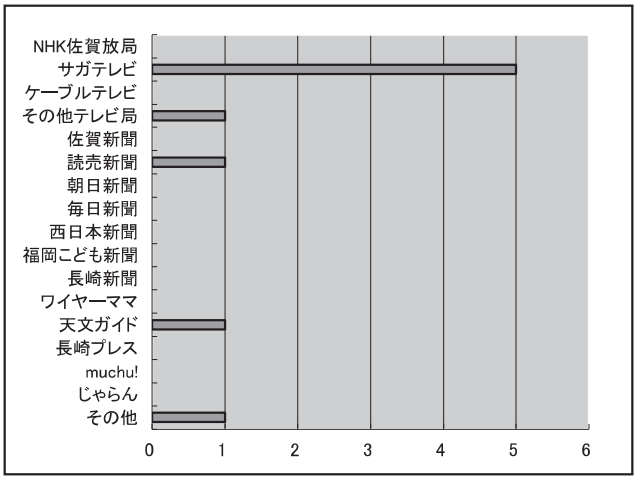
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	16	(16.2%)
公民館	0	(0.0%)
宿泊施設	1	(1.0%)
観光施設	4	(4.0%)



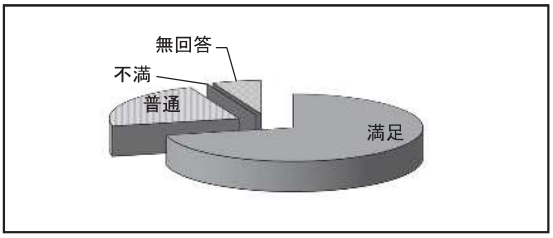
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数（人）	（割合）
NHK佐賀放送局	0	(0.0%)
サガテレビ	5	(5.1%)
ケーブルテレビ	0	(0.0%)
その他テレビ局	1	(1.0%)
佐賀新聞	0	(0.0%)
読売新聞	1	(1.0%)
朝日新聞	0	(0.0%)
毎日新聞	0	(0.0%)
西日本新聞	0	(0.0%)
福岡こども新聞	0	(0.0%)
長崎新聞	0	(0.0%)
ワイヤーママ	0	(0.0%)
天文ガイド	1	(1.0%)
長崎プレス	0	(0.0%)
muchu!	0	(0.0%)
じゃらん	0	(0.0%)
その他	1	(1.0%)



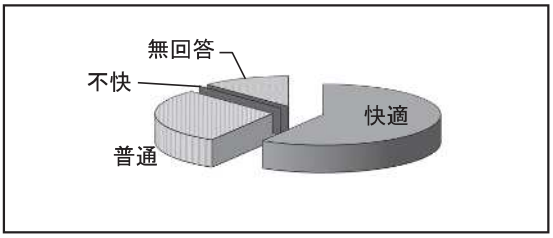
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
満足	70	(70.7%)
普通	22	(22.2%)
不満	0	(0.0%)
無回答	6	(6.1%)



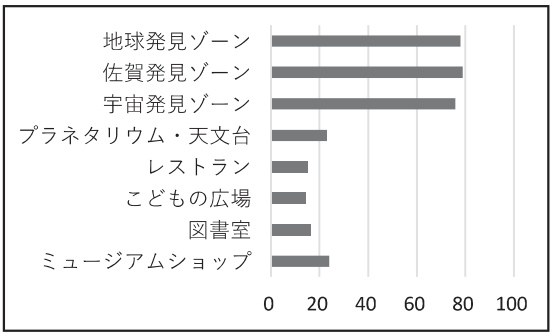
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
快適	58	(58.6%)
普通	29	(29.3%)
不快	0	(0.0%)
無回答	12	(12.1%)



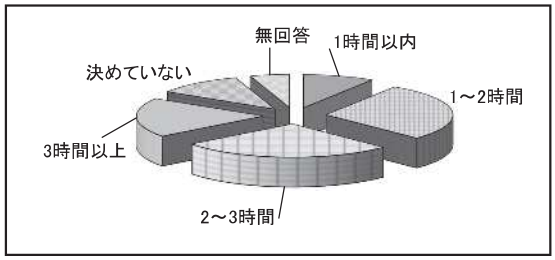
7. 当館での利用した施設について

	人数（人）	（割合）
地球発見ゾーン	78	(18.2%)
佐賀発見ゾーン	79	(18.4%)
宇宙発見ゾーン	76	(17.7%)
プラネタリウム・天文台	23	(5.4%)
レストラン	15	(6.4%)
こどもの広場	14	(6.0%)
図書室	16	(6.8%)
ミュージアムショップ	24	(10.2%)
無回答	5	(2.3%)



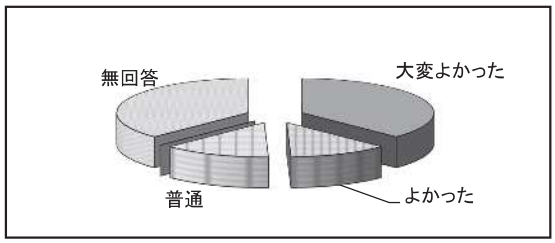
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1時間以内	9	（9.1%）
1～2時間	28	（28.3%）
2～3時間	27	（27.3%）
3時間以上	19	（19.2%）
決めていない	11	（11.1%）
無回答	5	（5.1%）



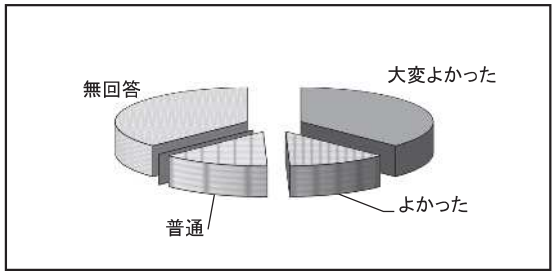
9.「コマフェスタ」はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
大変よかった	37	（37.4%）
よかった	12	（12.1%）
普通	13	（13.1%）
あまりよくなかった	0	（0.0%）
よくなかった	0	（0.0%）
無回答	37	（37.4%）



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大変よかった	52	（52.5%）
よかった	25	（25.3%）
普通	8	（8.1%）
あまりよくなかった	0	（0.0%）
よくなかった	0	（0.0%）
無回答	14	（14.1%）

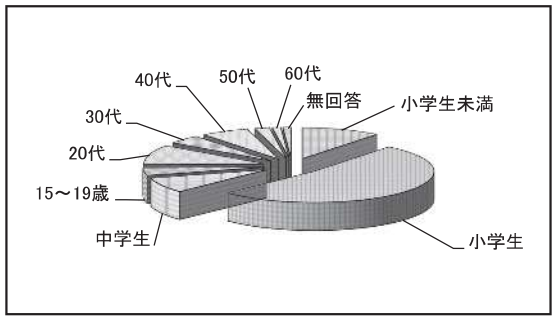


通常アンケート結果

企画展名：通常アンケート
調査期間：令和７年５月10日～令和８年３月13日
回答者数：356件
調査方法：配票調査法

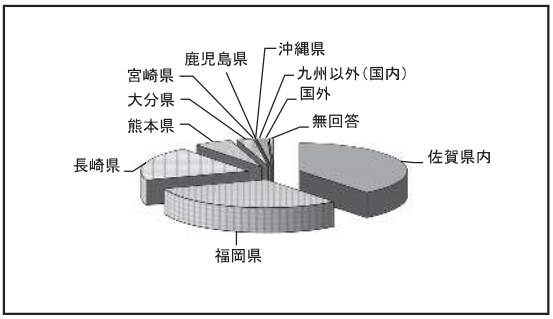
1. 年齢

	人数（人）	（割合）
小学生未満	38	（10.7%）
小学生	185	（52.0%）
中学生	28	（7.9%）
15～19歳	14	（3.9%）
20代	36	（10.1%）
30代	16	（4.5%）
40代	23	（6.5%）
50代	7	（2.0%）
60代	4	（1.1%）
70歳以上	4	（1.1%）
無回答	1	（0.3%）



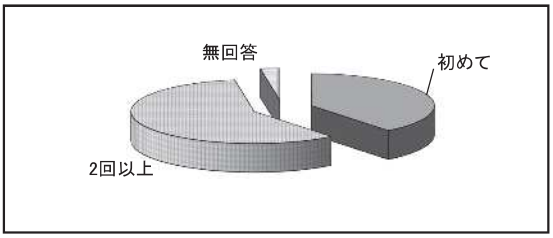
2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	125	（35.1%）
福岡県	97	（27.2%）
長崎県	63	（17.7%）
熊本県	18	（5.1%）
大分県	8	（2.2%）
宮崎県	0	（0.0%）
鹿児島県	4	（1.1%）
沖縄県	1	（0.3%）
九州以外（国内）	33	（9.3%）
国外	5	（1.4%）
無回答	2	（0.6%）



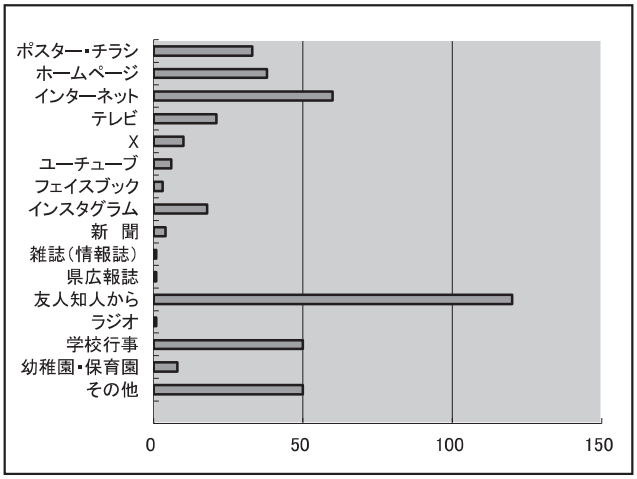
3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	139	（39.0%）
2回以上	206	（57.9%）
無回答	9	（2.5%）



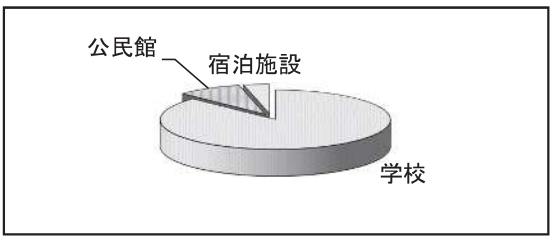
4. 情報入手先

	人数（人）	（割合）
ポスター・チラシ	33	（9.3%）
ホームページ	38	（10.7%）
インターネット	60	（16.9%）
テレビ	21	（5.9%）
X	10	（2.8%）
ユーチューブ	6	（1.7%）
フェイスブック	3	（0.8%）
インスタグラム	18	（5.1%）
新聞	4	（1.1%）
雑誌（情報誌）	1	（0.3%）
県広報誌	1	（0.3%）
友人知人から	120	（33.7%）
ラジオ	1	（0.3%）
学校行事	50	（14.0%）
幼稚園・保育園	8	（2.2%）
その他	50	（14.0%）



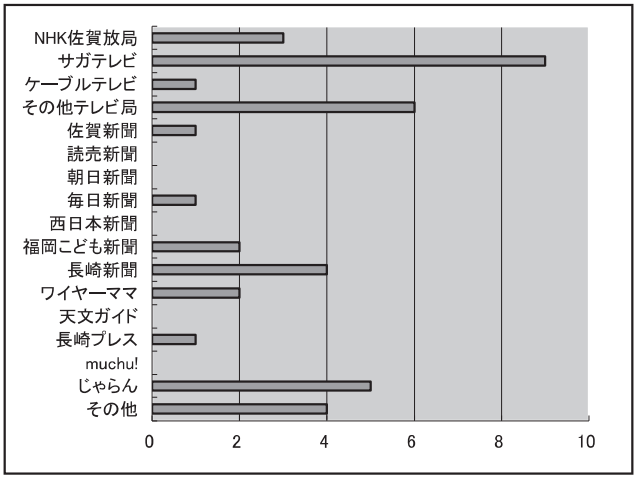
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	48	（13.5%）
公民館	5	（1.4%）
宿泊施設	2	（0.6%）
観光施設	2	（0.6%）



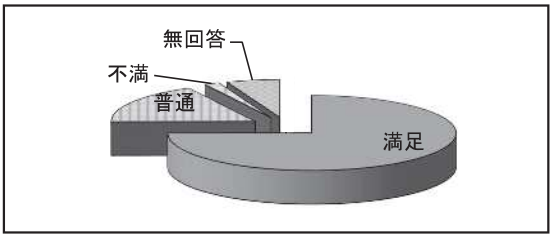
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数（人）	（割合）
NHK佐賀放送局	3	(0.8%)
サガテレビ	9	(2.5%)
ケーブルテレビ	1	(0.3%)
その他テレビ局	6	(1.7%)
佐賀新聞	1	(0.3%)
読売新聞	0	(0.0%)
朝日新聞	0	(0.0%)
毎日新聞	1	(0.3%)
西日本新聞	0	(0.0%)
福岡こども新聞	2	(0.6%)
長崎新聞	4	(1.1%)
ワイヤーママ	2	(0.6%)
天文ガイド	0	(0.0%)
長崎プレス	1	(0.3%)
muchu!	0	(0.0%)
じゃらん	5	(1.4%)
その他	4	(1.1%)



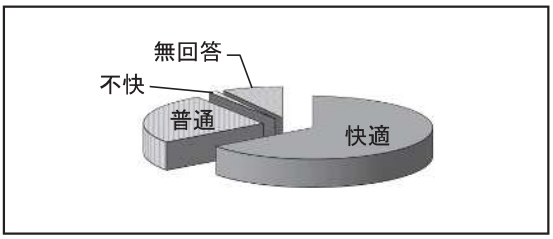
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
満足	265	(74.4%)
普通	62	(17.4%)
不満	6	(1.7%)
無回答	21	(5.9%)



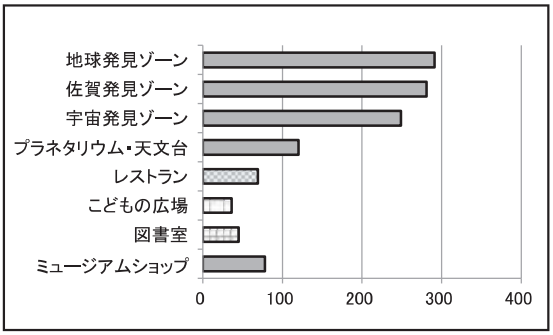
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
快適	231	(64.9%)
普通	92	(25.8%)
不快	4	(1.1%)
無回答	29	(8.1%)



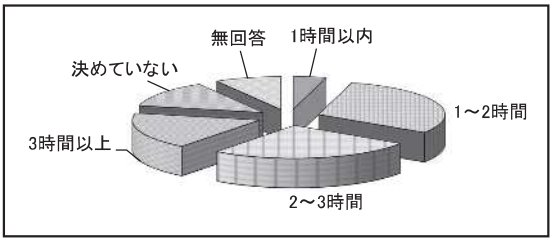
7. 当館での利用した施設について

	人数（人）	（割合）
地球発見ゾーン	291	(19.1%)
佐賀発見ゾーン	281	(18.4%)
宇宙発見ゾーン	249	(16.3%)
プラネタリウム・天文台	120	(7.9%)
レストラン	69	(7.1%)
こどもの広場	36	(3.7%)
図書室	45	(4.6%)
ミュージアムショップ	78	(8.1%)



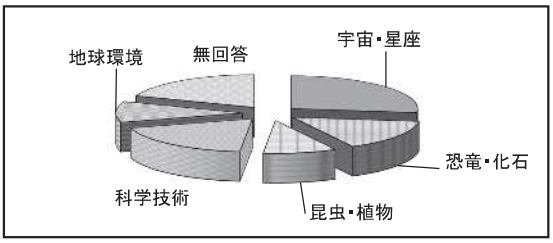
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1時間以内	15	（4.2%）
1～2時間	107	（30.1%）
2～3時間	93	（26.1%）
3時間以上	64	（18.0%）
決めていない	47	（13.2%）
無回答	30	（8.4%）



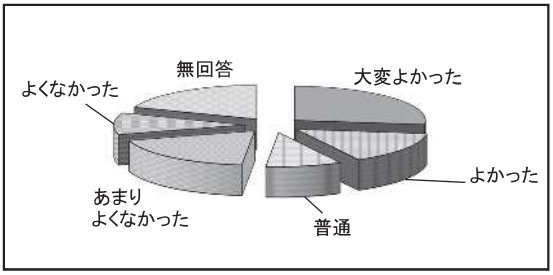
9. 今後どのような企画展をお望みですか

	人数（人）	（割合）
宇宙・星座	147	（41.3%）
恐竜・化石	83	（23.3%）
昆虫・植物	51	（14.3%）
科学技術	103	（28.9%）
地球環境	56	（15.7%）
動物・生きもの	105	（29.5%）
その他	12	（3.4%）
無回答	47	（13.2%）



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大変よかった	191	（53.7%）
よかった	78	（21.9%）
普通	28	（7.9%）
あまりよくなかった	0	（0.0%）
よくなかった	3	（0.8%）
無回答	56	（15.7%）



13. SPACE PARK（スペースパーク）管理運営業務

13-1. 管理運営の目的・方針・管理・保全の実施体制

（1）管理運営目的

九州佐賀国際空港に設置されたSPACE PARK（スペースパーク）は、子ども連れの家族などが楽しみながら休憩もできる居心地の良い空間である。当該スペースを佐賀県立宇宙科学館が管理運営を行うことにより、宇宙をテーマに、宇宙や科学への関心を高める契機になり、かつ子どもたちの夢や志を育むスペースとして活用していくことを目指す。

（2）管理運営方針

佐賀ターミナルビル株式会社との各種契約業務を含め、SPACE PARK（スペースパーク）を来訪された方が快適・安全に利用できるような管理・保全を行う。また、宇宙や佐賀に関する展示や教育普及のノウハウと、長年にわたるJAXAとの連携実績を活かし、県民、帰省客、観光客、ビジネスマンなどの空港利用者が気軽に立ち寄り、宇宙と佐賀への関心を高めることのできる場所づくりを通じ、魅力的な空間となるように取り組む。

（3）管理・保全の実施体制

日常的な展示の現状確認、物品の安全管理、衛生管理、その他管理保全に関する点検、清掃等については、空港を管理する佐賀ターミナルビル株式会社に再委託を行い実施した。スペースパーク利用者のモニタリング調査を実施するためのモニタリングカメラが設置されており、宇宙科学館の経営管理室から現地の様子をモニタリングが可能となっている。



13-2. イベント・展示内容

イベントや展示更新は、研究交流グループのスタッフと広報営業グループとが連携して実施した。県や JAXA の配布物および、宇宙科学館のリーフレット・チラシ類の配架・補充も適時行った。

イベントの実施方針

県と JAXA の連携協定を踏まえ、宇宙に対する子どもたちの関心を高める教育や人材育成に資するイベント・ワークショップを以下のような方向で検討し、魅力的な空間づくりにもつなげる。

●佐賀県と宇宙をつなぐテーマや、自然・環境・防災など、科学技術を身近に感じることができるプログラム
●宇宙科学館で実施する企画展のサテライト会場として、関連する展示やイベント
●県内の自治体や観光関係者、企業等と連携した展示やイベント

（1）令和７年度ワークショップ、特別コーナーの実施

	イベント	実施日
1	AR　12 星座フォトフレーム	4 月　1 日～ 1 月 11 日
2	SORA-Q 操作体験会、 SORA-Quiz（JAXAGA SCHOOL 協働）	5 月 10 日～ 11 日
3	ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス ゆめぎんがスタイル フランシュシュ 等身大パネル、 アクリルスタンドブース	11 月 27 日～ 1 月 13 日

（2）展示内容

展示更新の方針

展示内容が古くならないよう、発信情報を適時更新する。JAXA の宇宙技術や宇宙開発の進展状況、県と JAXA の連携事業の成果等に応じ、更新の必要な内容を検討して計画を立案し、県文化課と協議の上実施している。

（3）映像展示

宇宙への情熱と探求心を刺激し、佐賀県が宇宙開発との新たな結びつきを築く場所として設計されたスペースパークにて、佐賀県と宇宙開発の融合をテーマに、8 面マルチの大型スクリーンで映像展示を行っている。映像展示では、幅広い宇宙関連コンテンツを楽しむことができるように工夫し、最新の宇宙技術やミッションに関する情報の提供、宇宙に関する驚くべき映像の上映、宇宙科学の啓発的なプログラムなど、サテライトスペースを訪れる来場者にとって魅力的な空間にする。

第３章

資　　料

1 沿　革

昭和 60 年度	○ 佐賀天文協会からの「プラネタリウム建設に関する請願書」が県議会で採択
昭和 62 年度	○ 建設調査委員会（庁内委員会）を設置
平成元年度	○ 構想調査委員会を設置
平成 2 年度	○ 建設構想委員会の発足
平成 4 年度	○ 基本構想策定
平成 5 年度	○ 展示基本計画策定
平成 6 年度	○ 施設・活動運営計画策定
	○ 建設地を「武雄市保養村」に決定
平成 7 年度	○ 建築基本設計、展示基本設計完了
平成 8 年度	○ 建物及び建築実施設計完了
平成 9 年度	○ 建設用地造成完了（保養村造成事業／武雄市）
	○ 建設工事着工（H9.7.22）
平成 10 年度	○ 建設工事完了
	○ 愛称を「ゆめぎんが」に決定
平成 11 年度	○ 佐賀県立宇宙科学館設置（H11.4.1）
	○ 開館（H11.7.8）
平成 12 年度	○ 開館 1 周年特別企画展
	○「大集合！生きている世界のカブトムシ・クワガタ」（H12.7.8 ～ 8.31）
	○ ロボット犬アイボ　2 体導入（H12.8.4）
平成 13 年度	○ 平成 13 年度特別企画展「宇宙へのチャレンジ ～君も宇宙飛行士だ！～」（H13.7.7 ～ 9.2）
平成 14 年度	○ 平成 14 年度特別企画展「昆虫の科学」（H14.7.13 ～ 9.1）
	○ プラネタリウム観覧者 30 万人達成（H14.10.25）
	○ 入館者 100 万人達成（H14.10.30）
平成 15 年度	○ 平成 15 年度特別企画展「探検！おもちゃの国」（H15.7.8 ～ 8.31）
	○ 日本科学未来館館長の毛利衛氏来館（H16.1.21）
平成 16 年度	○ 平成 16 年度特別企画展「恐竜 ～今甦るゴビの大地から」（H16.7.13 ～ 8.31）
平成 17 年度	○ 平成 17 年度特別企画展「時間旅行」（H17.7.16 ～ 9.19）
	○ 18 年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化共同事業体が選定される（H17.11.11）
平成 18 年度	○ 4 月 1 日より指定管理者による運営開始
	○ GW 特別企画展「帰ってきた科学の子供たち ～バンダイコレクションのなつかしのおもちゃ展～」（H18.4.29 ～ 5.7）
	○ 夏の特別企画展「昆虫ワールド ～地球の小さな仲間たち～」（H18.7.12 ～ 9.3）
	○ 秋の特別企画展「小惑星探査機『はやぶさ』の挑戦！～星の王子さまへの旅～」（H18.9.16 ～ 11.26）
	○ 冬の特別企画展「もつれた糸を解きほぐせ！ ～科学捜査の世界～」（H18.12.23 ～ H19.2.25）
平成 19 年度	○ GW 特別イベント「3D の世界と 3D ハイビジョン～」（H19.4.28 ～ 5.6）
	○ 入館者 200 万人達成（H19.7.14）
	○ 夏の特別企画展「玄海と有明海 ～ふるさとを育んだふたつの海～」（H19.7.14 ～ 9.2）
	○ 秋の特別企画展「温室効果ガス ～急変する地球環境～」（H19.10.13 ～ 12.2）
	○ 冬の特別企画展「月 ～ 45 億年の絆～」（H19.12.15 ～ H20.2.17）
	○ 春の特別企画展「台風がやってきた！」（H20.3.5 ～ 4.8）
	○ レンズみがき教室開始（H20.3）
平成 20 年度	○ GW 特別企画展「驚異の植物『ラン』～アッと驚く生きるための戦略～」（H20.4.26 ～ 5.11）
	○ 夏の特別企画展「夏休みロボット村と安彦良和 原画展」（H20.7.19 ～ 8.31）

○ 秋の特別企画展「ディープ・シー ～極限のフロンティア～」（H20.10.4 ～ 11.24）
○ 冬の特別企画展「ニュートリノ ～地球をもすり抜けるユーレイ粒子を
つかまえろ！～」（H20.12.20 ～ H21.2.15）
○ 春の特別企画展「温泉 ～地球の恵みを科学するから」（H21.3.20 ～ 5.10）
○ 21 年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化共同
事業体が選定される（H20.12.18）

平成 21 年度
○ 開館 10 年記念行事（H21.7.8 ～ 7.12）
○ 小惑星 12746 を Yumeginga と命名（H21.7）
○ 夏の特別企画展「古今東西　宇宙へのあこがれ」（H21.7.18 ～ 9.13）
○ 秋冬の企画展「“TELE” ～経験を共有する技術～」（H21.10.24 ～ H22.1.31）
○ 春の特別展「方言で味わう佐賀の植物」（H22.2.14 ～ 3.14）
○ 春の企画展「川と海を旅する魚たち」（H22.3.20 ～ 5.9）

平成 22 年度
○ 夏の特別企画展「恐竜展 ～トリケラトプスの世界～」（H22.7.17 ～ 9.12）
○ 秋冬の企画展「飛ぶ ～空へ宇宙へ～」（H22.10.23 ～ H23.1.30）
○ 小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別公開（H22.11.27 ～ 11.30）
○ 春の企画展「ビー玉 コロコロ パラダイス ～ナニガオコルカナ～」
（H23.3.19 ～ 5.8）

平成 23 年度
○ 夏の特別企画展「恐竜展Ⅱ ～肉食恐竜の世界～」（H23.7.16 ～ 9.11）
○ 秋冬の企画展「『撮る』テクノロジー ～ありのままを記録する技術～」
（H23.10.22 ～ H24.1.29）
○ 総入館者 300 万人達成（H23.11.26）
○ 春の企画展「ビーコロ 2012」（H24.3.17 ～ 5.6）
○ 24 年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化共同
事業体が選定される（H23.12.23）

平成 24 年度
○ 夏の特別企画展「飛び出せ！宇宙へ！」（H24.7.14 ～ 9.17）
○ 秋冬の企画展「じしゃくのヒミツ ～磁石であそぼ！～」（H24.10.20 ～ H25.1.29）
○ 春の企画展「ビーコロ 2013」（H25.3.16 ～ 5.6）

平成 25 年度
○ 夏の特別企画展「ジャングル ～熱帯の森の生き物～」（H25.7.13 ～ 9.16）
○ 秋冬の企画展「人工衛星のふるさと九州 ～超小型衛星開発＠九州～」
（H25.11.23 ～ H26.2.2）
○ 春の企画展「ビーコロ 2014」（H26.3.15 ～ 5.6）

平成 26 年度
○ 夏の特別企画展「いつか月に住めるかも ～月探査のフロンティア～」
（H26.7.12 ～ 8.31）
○ 展示工作物の改修工事、大規模天井耐震工事並びに外壁改修工事のため
平成 26 年 9 月 1 日から平成 27 年 7 月 10 日まで臨時休館

平成 27 年度
○ リニューアルオープン（H27.7.11）
○ 夏の特別企画展「海王展 ～海の支配者たちの系譜～」（H27.7.11 ～ 9.27）
○ 冬の企画展「有田焼創業 400 年記念古くて新しい素材　セラミックス展」
（H27.12.5 ～ H28.2.14）
○ 春の企画展「ビーコロ 2016」（H28.3.19 ～ 5.8）

平成 28 年度
○ 夏の特別企画展「新世界の昆虫展 ～虫の秘密とバイオミメティクス～」
（H28.7.19 ～ 8.31）
○ 総入館者 400 万人達成（H28.8.12）
○ 冬の企画展「トリ年水族館 ～鳥にちなんだ海の生き物たち～」
（H28.12.10 ～ H29.2.26）
○ 春の企画展「ビーコロ 2017」（H29.3.18 ～ 5.7）
○ 29 年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化共同事業体が選定
される（H28.12.28）　指定期間／平成 29 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日（5 年間）

平成 29 年度
○ 夏の特別企画展「夏祭りの科学」（H29.7.15 ～ 9.3）
○ 秋冬の企画展「生き物たちの仮装パーティー ～擬態のふしぎ～」
（H29.10.21 ～ H30.1.8）
○ 春の企画展「ビーコロ 2018」（H30.3.17 ～ 5.6）

平成 30 年度
○ 夏の特別企画展「恐竜展Ⅲジュラ紀―大型恐竜や始祖鳥が出現した時代―」（H30.7.14 ～ 9.30）
○ 総入館者 450 万人達成（H30.7.14）
○ 冬の企画展「月をめざしたアポロ展」（H30.12.15 ～ H31.2.11）
○ 春の企画展「ビーコロ 2019」（H31.3.16 ～ 5.6）

令和元年度
○ 夏の特別企画展「カラクリ展」（R1.7.13 ～ 9.1）
○ 秋冬の企画展「元素展」（R1.10.26 ～ R2.1.13）
○ 春の企画展「ビーコロ 2020」開催延期

令和 2 年度
○ 総入館者数 500 万人達成記念セレモニー（R2.9.16）
○ 秋冬の企画展「佐賀の五大古生物の謎を追え ～不動寺康弘コレクションからみる佐賀の化石」（R2.10.31 ～ 12.27）
○ 春の企画展「ビーコロ 2021」（R3.3.25 ～ 5.30）
5 月 10 日以降は土日にのみ開催
○ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により令和 2 年 4 月 19 日～ 5 月 10 日まで臨時休館。夏の特別企画展開催中止、常設展示運営、天文台プラネタリウム、館内教育活動、アウトリーチ活動等いずれも、大きな影響を受けた。

令和 3 年度
○ 夏の特別企画展「翼王展 大空を支配した生き物たち」（R3.7.17 ～ 8.31）
○ 秋冬の企画展「オーロラを体感 ～オーロラメッセンジャー中垣哲也オーロラ展」（R3.12.18 ～ R4.2.13）
○ 春の企画展「ビーコロ 2022」（R4.3.19 ～ 5.8）
○ 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染症防止対策を徹底した環境づくりに努めた。
○ 4 年度からの指定管理者として、宇宙科学館活性化共同事業体 N & M が選定される（R3.12.15） 指定期間／令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日（5 年間）

令和 4 年度
○ 夏の企画展「振り子の博覧会」（R4.7.16 ～ 9.4）
○ 秋冬の企画展「Geo Travel ～西九州新幹線かもめが走る地下の旅～」（R4.10.15 ～ R5.1.9）
○ 春の企画展「ビーコロ 2023 ×錯視展」（R4.3.18 ～ 5.7）

令和 5 年度
○ 夏の企画展「ウーたんゲームス ―宇宙編―」（R5.7.15 ～ 9.3）
○ 秋冬の企画展「プラネタリウム 100 周年 宇宙（ソラ）を創（ツク）る」（R5.10.21 ～ R6.1.8）
○ 春の企画展「ビーコロ×スイッチ展」（R6.3.16 ～ 5.6）
○ 佐賀県立宇宙科学館開館 25 周年
宇宙発見ゾーン リニューアルオープン記念セレモニー（R6.3.20）
○ 宇宙発見ゾーン リニューアルオープン（R6.3.23）

令和 6 年度
○ 春・夏イベント「水フェスタ」（R6.6.8 ～ 6.23）
○ 夏の企画展「カラフル」色の不思議のサイエンス（R6.7.13 ～ 9.1）
○ プラネタリウム 100 周年記念事業公認企画「ソラフェスタ」（R6.9.7 ～ .23）
○ 秋の企画展「デジタル×スポーツ展」（R6.10.19 ～ 12.8）
○「電気フェスタ」（R6.12.21 ～ R7.1.13）
○ 春の企画展「ビーコロ×おもちゃ展」（R7.3.15 ～ 5.6）

令和 7 年度
○ 春・夏イベント「水フェスタ」（R7.6.7 ～ 6.29）
○ 夏の企画展「マグネット」（R7.7.12 ～ 8.31）
○ 秋イベント「ソラフェスタ」（R7.9.6 ～ 9.28）
○ 秋冬巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」 国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類 （R7.10.11 日～ 12.14）
○ 総入館者 600 万人達成（R7.10.24）
○ 冬イベント「コマフェスタ」（R7.12.25 ～ R8.1.12）
○ 冬の企画展「日本星景写真協会（ASPJ）第 5 回巡回展「星の風景」佐賀展」（R7. 12.20 ～ R8.2.1）
○ 春の企画展「ビーコロ×ゲーム展」（R8.3.14 ～ 5.10）

2　施設の目的

現代社会において、科学は、産業・経済面のみならず、医療・福祉・環境等、様々な面で我々の生活に密接に関わっており、極めて重要な位置を占めている。
その一方で、日々高度化・専門化していく科学は、多くの人々にとって難解なものとなっており、特に子供達の「理科離れ」といったことが指摘されている状況の中、21 世紀の豊かで活力ある地域社会を創造していくうえで、科学への夢と情熱を持った青少年を育成していくことは不可欠となっている。

こうした中、21 世紀を担う子供達の「科学する心」を育て、発見や創造のすばらしさを伝えるとともに、県民全般に科学知識の普及を図り、ひいては新しい郷土を創造する人材の育成に寄与することを目的とする。

さらに余暇時間の増大や生涯教育の時代の到来に対応し、健全な学習・知的レジャーの場を提供し本県の科学学習・科学活動の振興を図る。

3　施設の性格及び機能

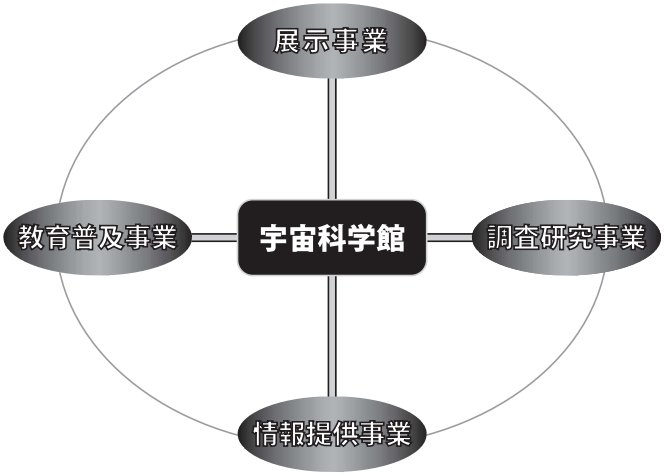
「宇宙」、「地球」、「佐賀」を総合的に理解させ、自分自身とそれらの関係についての発見・認識を促すため、「宇宙から地球・佐賀を発見する、佐賀から地球・宇宙を発見する」をテーマに、未来へ向けて“発見や創造の扉を開く”ことを目指す。

(1) 施設の性格

○本県の科学学習の拠点となる科学館
○発見創造をねらいとした体験型の科学館
○自然環境を積極的に活かした郊外型科学館
○県民のコミュニケーション・レクリエーションの場となる科学館

(2) 機　能

○展示を通じて科学や科学技術への
　夢とロマンを育み、心を養う機能
○科学教育・生涯学習の支援
　促進を図る機能
○科学に関する情報を広く
　県民に提供する機能
○調査研究や資料の収集保存
　製作活動を行う機能

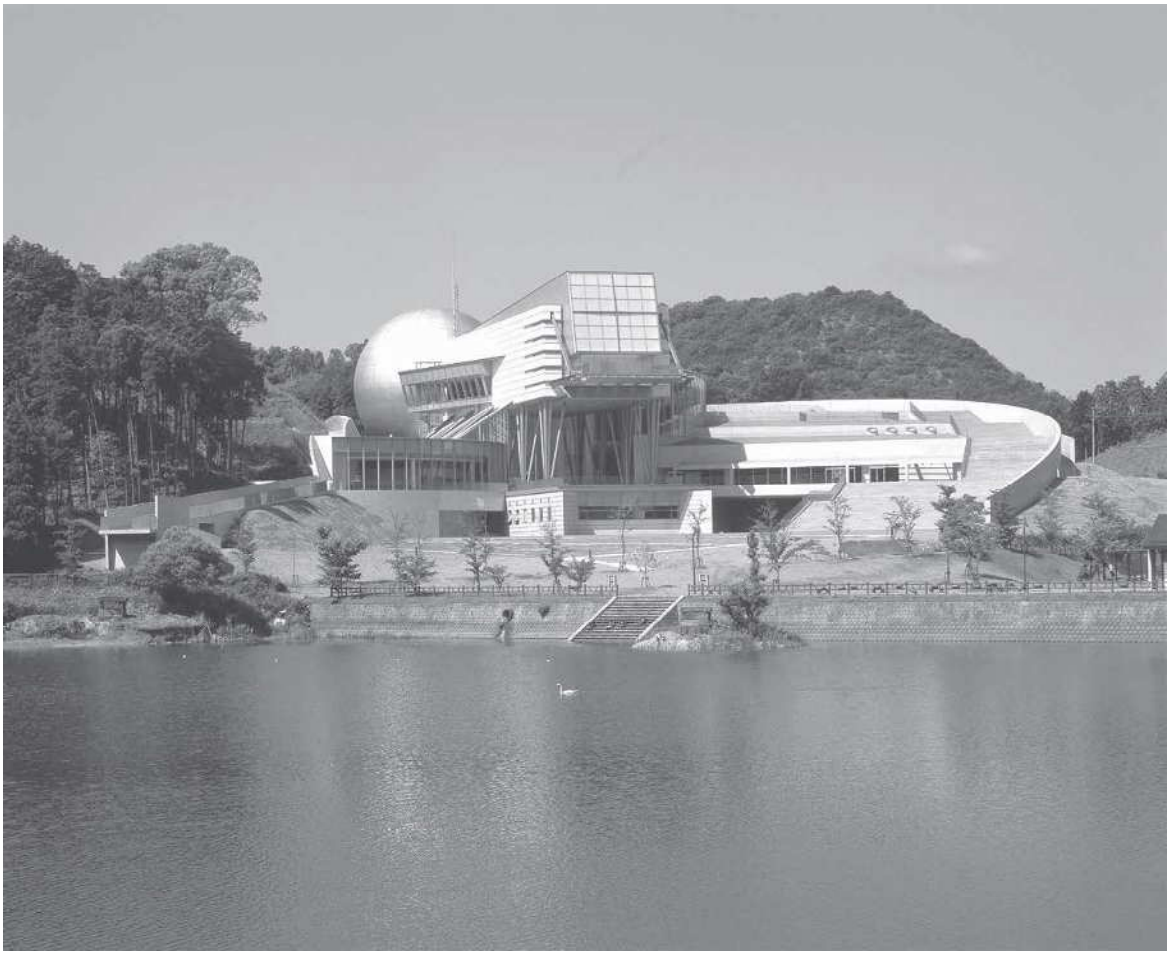


4　施設（建物）の概要

建築構造／鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 3 階、地下 1 階
建築面積／ 6,630㎡
延床面積／ 8,292㎡（うち展示面積 2,800㎡）
階層別構成

3階	1,751㎡	プラネタリウム、天文台、宇宙発見ゾーン
2階	790㎡	地球発見ゾーン、サイエンスサロン
1階	4,055㎡	地球発見ゾーン、佐賀発見ゾーン こどもの広場、科学実験室、科学工作室、 図書室、ガイダンス室、企画展示室 レストラン、ミュージアムショップ
地下1階	1,696㎡	事務室、調査研究室、収蔵庫　他

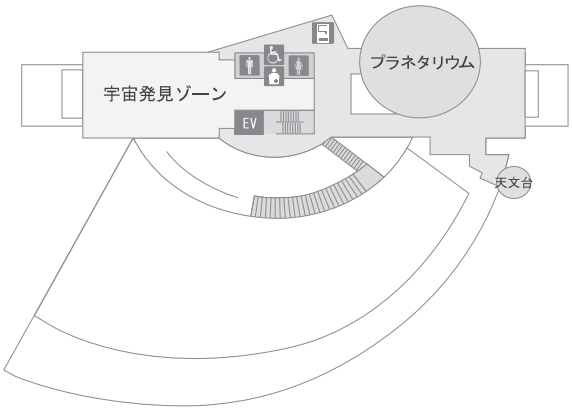
総事業費／ 79 億 9,200 万円（平成 7 年基本設計費から平成 10 年建設工費まで）
工事期間／平成 9 年 7 月から平成 11 年 3 月



フロアマップ

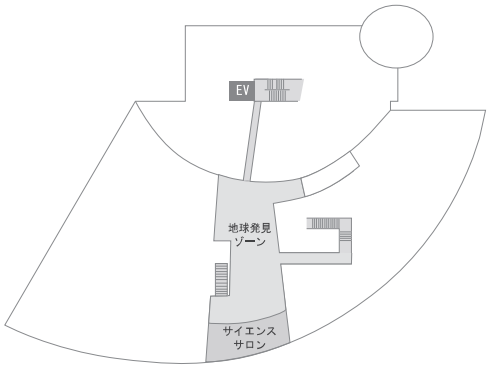
3F

天文台
プラネタリウム
宇宙発見ゾーン



2F

地球発見ゾーン
サイエンスサロン

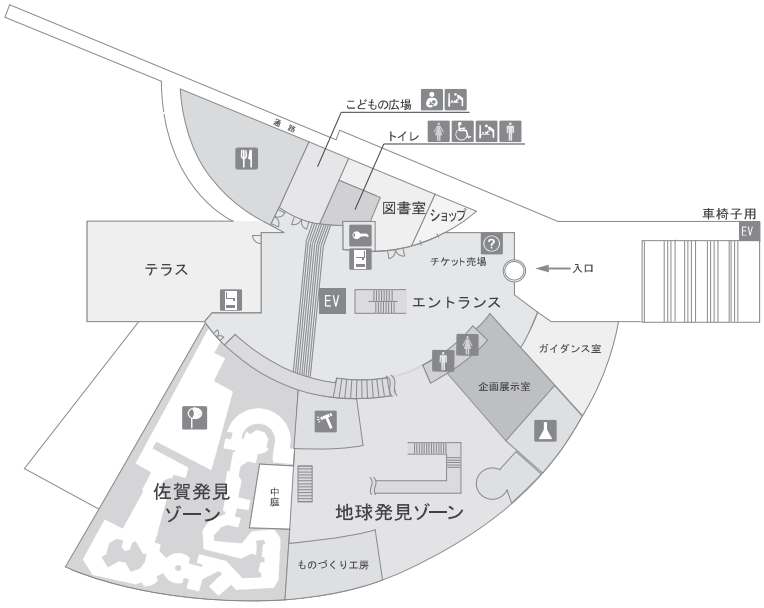


1F

地球発見ゾーン
科学実験室
科学工作室

佐賀発見ゾーン
佐賀発見プラザ

こどもの広場
図書室



B1F

館長室、事務室、調査研究室、会議室
電気室、機械室、収蔵庫

インフォメーション
EV エレベータ
トイレ
多目的トイレ
オストメイト
おむつ替えシート
授乳室
レストラン
自動販売機
コインロッカー

5　条例・規則等

佐賀県立宇宙科学館条例

平成 10 年 10 月 5 日
佐賀県条例第 39 号
改正　平成 17 年 3 月 24 日条例第 15 号
平成 24 年 3 月 23 日条例第 8 号

佐賀県立宇宙科学館条例をここに公布する。

（設　置）

第 1 条　天文をはじめとする科学に関する資料の収集、展示等を行い、県民の教養と創造性を育み、もって本県の教育及び文化の発展に寄与するため、佐賀県立宇宙科学館（以下「科学館」という。）を設置する。

（位　置）

第 2 条　科学館は、武雄市に置く。

（指定管理者）

第 3 条　知事は、科学館の管理を法人その他の団体に行わせることができる。

2　前項の規定に基づき法人その他の団体に行わせる管理の業務は、次に掲げる業務とする。

（1）　科学館の運営に関する業務

（2）　科学館の施設の利用に関する業務

（3）　科学館の施設の維持及び管理に関する業務

3　第 1 項の規定に基づき管理を行わせる者（以下「指定管理者」という。）の指定の手続は、規則で定める。

4　指定管理者は、規則で定める管理の基準に基づき、その管理の業務を行わなければならない。

（平 17 条例 15・全改、平 24 条例 8・一部改正）

（利用料金）

第 4 条　科学館の施設を利用する者は、利用の際、指定管理者に利用料金を納入しなければならない。

2　前項の利用料金は、科学館の施設の維持及び管理に必要な費用を、当該施設の利用予定者数で除して得た額を限度として、指定管理者が定める。

3　指定管理者は、前項の規定により利用料金を定めるときは、知事の承認を得なければならない。

（平 17 条例 15・全改、平 24 条例 8・一部改正）

（補　則）

第 5 条　この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

（平 17 条例 15・旧第 9 条繰上・一部改正、平 24 条例 8・一部改正）

附　則

この条例は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条から第 7 条まで並びに別表第 1 及び別表第 2 の規定は、規則で定める日から施行する。

（平成 11 年規則第 37 号で平成 11 年 7 月 8 日から施行）

附　則（平成17年条例第15号）抄

（施行期日）

1　この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、第2条、第4条、第6条、第8条、第15条、第19条、第21条、第26条、第30条、第32条、第35条及び次項の規定は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

3　この条例の施行の際現に地方自治法の一部を改正する法律（平成15 年法律第81号）による改正前の地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき管理を委託している公の施設については、この条例の施行の日から平成18年3月31日までの間は、なお従前の例による。

4　平成18年4月1日以後の公の施設の利用について、同日前に知事又は教育委員会が行った許可等（吉野ヶ里歴史公園及び県営住宅等に係るものを除く。）は、当該公の施設の指定管理者が行ったものとみなす。

附　則（平成24年条例第8号）

（施行期日）

1　この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

2　この条例の施行の際、この条例による改正前の佐賀県スポーツ振興審議会条例、市村記念体育館設置条例、佐賀県総合運動場条例、佐賀県総合体育館条例、佐賀県ヨットハーバー条例、佐賀県少年自然の家設置条例及び佐賀県立宇宙科学館条例の規定により、佐賀県教育委員会がした処分その他の行為で現に効力を有するもの又はこの条例の施行の日前に佐賀県教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、同日以後においてはこの条例による改正後のこれらの条例の規定により知事が管理し、及び執行することとなる事務に係るものは、同日以後における当該これらの条例の規定の適用については、知事がした処分その他の行為又は知事に対してなされた申請その他の行為とみなす。



佐賀県立宇宙科学館

〒843-0021 佐賀県武雄市武雄町永島16351
TEL 0954(20)1666　FAX 0954(20)1620
URL　https://www.yumeginga.jp

表 紙 写 真…入館者600万人達成記念式典
裏表紙写真…巡回展「WHO ARE WE」オープニング内覧



ゆめぎんが★ウーたん

本書は、環境に配慮した
紙を使用しています。

TOYO INK
nonVOC®